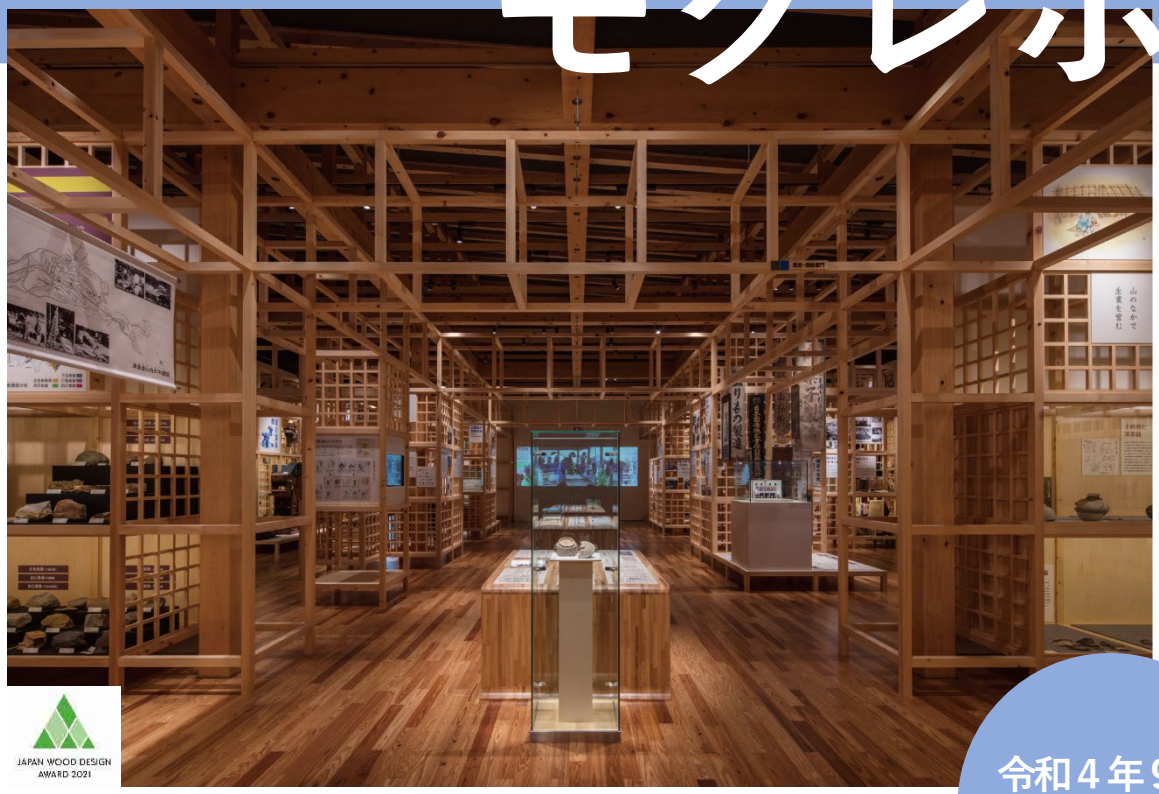
林産物に関するマンスリーレポート

モクレポ



○設楽町奥三河郷土館（愛知県設楽町）

令和４年９月

No.12

特集

- 林野庁令和５年度予算概算要求の概要
- 2022年木材利用促進月間の取組
- 令和３年特用林産物生産統計調査結果（確報）
- 「林業イノベーション現場実装推進プログラム」のアップデート
- APEC林業担当大臣会合

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】
1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の５営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

林野庁

CONTENTS　令和４年９月号

特集

1 林野庁令和５年度予算概算要求の概要　特集1
2 2022年木材利用促進月間の取組　特集2
3 令和３年特用林産物生産統計調査結果（確報）　特集3
4 「林業イノベーション現場実装推進プログラム」のアップデート　特集4
5 APEC林業担当大臣会合　特集5

01 基礎的指標

1 新設住宅着工戸数　基礎1
2 新設住宅着工床面積　＜参考＞非居住用建築物着工床面積　基礎4
3 木材産業の業況　基礎8
4 USドル及びユーロ為替相場　基礎9
5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃　基礎10
6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準　基礎11

02 木材価格情報

1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格　価格1
2 木材価格（農林水産統計）　価格3

03 木材需給情報

1 需要量、供給量、自給率の動向　需給1
2 地域の木材需給動向（各森林管理局からの報告）　需給4
3 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向　需給5
4 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向　需給6
5 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向　需給7
6 間伐材等由来の木質バイオマス燃料利用量、紙品種別生産高　需給8
7 素材生産量　需給9
8 木材生産の産出額　需給10

04 林産物輸出入情報

1 林産物輸出額　輸出入1
2 木材輸出額　輸出入2
3 木材輸入額　輸出入3
4 木材輸入量　輸出入4
5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価　輸出入10

05 特用林産情報

1 特用林産物の国内生産量　特産1
2 特用林産物の産出額　特産2
3 特用林産物の輸出入量　特産3
4 特用林産物の輸出額　特産4
5 きのこ類の卸売量・価格　特産7

06 セミナー・イベント情報

9月中旬以降の開催情報　ｲﾍﾞﾝﾄ1

特集-1 林野庁令和５年度予算概算要求の概要

- 農林水産省は、令和４年８月31日に令和５年度予算の概算要求を財務省に提出。
- 林野庁関係予算の概算要求総額は3,506億円（令和４年度当初予算額比118%）。このうち公共事業費は2,316億円（同117%）、非公共事業費は1,190億円（同118%）。
- 令和５年度の重点事項は下表のとおり。

■ 令和5年度 林野庁関係予算概算要求（総括表）

区 分	令和4年度 当初予算額（百万円）	令和5年度 概算要求額（百万円）	対前年度比 （%）
公共事業費	197,192	231,572	117.4
一般公共事業費	186,850	221,230	118.4
治山事業費	62,027	73,440	118.4
森林整備事業費	124,823	147,790	118.4
災害復旧等事業費	10,342	10,342	100.0
非公共事業費	100,522	119,021	118.4
合 計	297,714	350,593	117.8

注1：上記のほか、農山漁村地域整備交付金及び農山漁村振興交付金に、林野関係事業を措置している。
2：金額は、関係ベース。ただし、デジタル庁計上の政府情報システム予算を除く。
3：デジタル庁計上の政府情報システム予算は、令和5年度概算要求額782百万円（令和4年度当初予算額比102%）。
4：計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

※「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」に係る経費、「総合的なTPP等関連政策大綱」を踏まえた農林水産分野における経費、食料安全保障の強化に向けた対応に係る経費については、事項要求として提出し、予算編成過程で検討。

■ 令和5年度 林野庁関係予算概算要求の重点事項

①森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策等 【15,460（11,563）百万円】等	⑤花粉発生源対策推進事業 【161（109）百万円】
カーボンニュートラルを見据えた森林・林業・木材産業によるグリーン成長を実現するため、木材加工流通施設の整備、路網の整備、高性能林業機械の導入、間伐や再造林、都市部における木材利用の強化、輸出を含む新たな需要の創出、「新しい林業」経営モデルの構築、国民運動の展開等、川上から川下までの取組を総合的に支援。	花粉症対策苗木や広葉樹等への植替え、花粉飛散防止剤の実証、スギ雄花の着花状況等の調査の実施とヒノキ雄花の観測精度向上のための調査手法の開発のほか、これらの成果の普及啓発等を一体的に支援。
②林業デジタル・イノベーション総合対策 【3,153（-）百万円】	⑥森林整備事業＜公共＞ 【147,790（124,823）百万円】
林業機械の自動化・遠隔操作化や木質系新素材の開発・実証、森林資源情報のデジタル化、ICT等を活用した生産管理の効率化、地域一体となってデジタル技術をフル活用する戦略拠点の構築等を支援。	森林吸収量の確保・強化や国土強靭化、林業の持続的発展等のため、間伐の着実な実施に加え、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等を推進。
③林業・木材産業における「人への投資」総合対策 【5,737（4,810）百万円】等	⑦治山事業＜公共＞ 【73,440（62,027）百万円】
新規就業者等への体系的な研修、就業前の青年への給付金支給、高校生等の就業体験や女性の活躍、森林プランナーの育成、労働力のマッチング、外国人材の受け入れに向けた条件整備、労働安全対策、森林経営管理制度を担う技術者の育成等、多様な担い手の確保・育成の取組を推進。	激化する降水形態や活発化する地震及び火山活動に対応するため、機動的な事業実施等による復旧の加速化・効率化、危険度の高まった地域における事前防災力の向上等を推進。
④森林・山村地域振興対策 【1,501（1,363）百万円】	⑧農山漁村地域整備交付金＜公共＞ 【91,334（78,398）百万円】
森林の多面的機能の発揮と関係人口の拡大による山村地域の活性化を図るため、地域の活動組織が実施する森林の保全管理、森林資源の利用、新たな森林コンテンツの育成・普及に向けた取組等を支援。	地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付。

注１：⑧農山漁村地域整備交付金＜公共＞の予算概算要求額は、農林水産省全体の概算要求額。
２：各項目の（ ）内は、令和４年度当初予算額。

令和５年度予算概算要求の詳細は、次のURLをご覧ください。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/5gaisan.html

特集-2　2022年木材利用促進月間の取組

- 林野庁では、令和４年10月の「木材利用促進月間（※１）」において、木材利用の意義等の理解を促進する「木づかい運動」を展開し、イベントや情報発信等の取組を集中的に実施。
- 関係省庁、地方公共団体や、関係団体や民間企業等も様々なイベント等を行う予定であり、「ウッド・チェンジ（※２）」を合言葉に、木の良さや木材利用の意義への関心と理解を促す様々な取組を展開。

※１：令和３年10月に施行された「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」において規定。
※２：身近なものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなどの木材の利用を通じ、持続可能な社会にチェンジする行動。

ウッド・チェンジ
ロゴマーク

木づかいシンポジウム2022

【概要】
「木づかいで始まる脱炭素社会」をテーマに、中高層ビルを含む建築物等への国産材利用促進に関する基調講演や、ディベロッパー、ゼネコン、木材流通事業者、消費者等が、様々な角度から木材利用について議論する7つのパネルディスカッションを実施。

日時：令和４年10月7日（金）
場所：室町三井ホール＆カンファレンス
東京都中央区日本橋室町三丁目２番１号
主催：一般社団法人　全国木材組合連合会
株式会社 Spero
株式会社 GiveFirst

ウッド・チェンジ協議会会員企業による中高層ビル見学会等のイベントの実施

【概要】
ウッド・チェンジ協議会（※3）（会長：隅修三氏（東京海上日動火災保険株式会社相談役））の会員企業が、木材利用促進月間を中心に中高層ビル等建築物において、一般の方向けの見学会等を開催。

日時：９月～11月頃
主催・場所：調整中（下記サイトで随時更新予定）
事務局：林野庁木材利用課

※３：2021年９月に林野庁が立ち上げた川下から川上までの関係者が広く参画する官民協議会。民間建築物等における木材利用にあたっての課題や解決方法の検討、民間建築物等における木材利用の先進的な取組等の発信など、木材が利用しやすい環境づくりに取り組む。

木材利用優良施設等コンクール表彰式

【概要】
木材利用の促進につながる優れた木造施設等に対し、内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞等の授与を行うとともに、森林を支える人の輪と木材利用との繋がりに関する記念講演を実施。

日時：令和４年10月31日（月）
場所：木材会館
東京都江東区
主催：木材利用推進中央協議会
記念講演：株式会社モリアゲ
代表取締役社長　長野　麻子氏

令和３年度
内閣総理大臣賞受賞
「あわくら会館」
（岡山県）

※記念講演は、事前申込みの上オンラインでの聴講が可能

ウッドデザイン賞入賞作品の発表

【概要】
木の良さや価値を再発見させる建築物、製品、取組等を消費者目線で評価する顕彰事業である「ウッドデザイン賞」の入賞作品を発表。

主催：一般社団法人
日本ウッドデザイン協会

発表は次のサイトにて掲載予定

ウッドデザイン賞2021
最優秀賞
「URASHIMA　VILLAGE」
（香川県）

※上位賞（農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞等）は、11月上旬に発表予定。

木材利用促進本部構成員の関係イベントや地方公共団体のイベントは、次のURLをご覧ください。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/honbu.html

特集-3 令和３年特用林産物生産統計調査結果（確報）

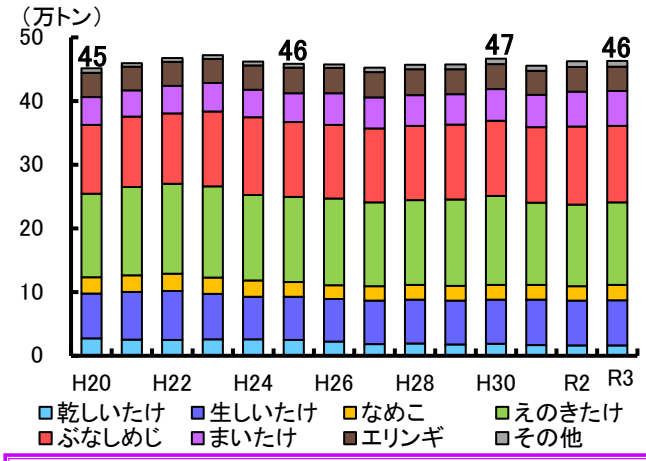
- 農林水産省は、令和４年８月31日に、令和３年特用林産物生産統計調査結果（確報）を公表。
- 令和３年特用林産物の生産額は、前年比91.9%で2,608億円。
- きのこ類の生産量は前年比99.9%で462,021ｔ、生産額は同91.1%で2,271億円。
- 非食用の生産額は、前年比111.3%で103億円。木炭の生産量は前年比91.2%で11,806ｔ、生産額は同91.9%で17億円。薪の生産量は前年比109.9%で91,791㎥、生産額は同123.2%で27億円。

区分			生産量（t）	対前年比	生産額（億円）	対前年比
食用	きのこ類	乾しいたけ	2,216 15,514	96.3%	88	103.3%
		生しいたけ	71,058	101.1%	645	96.0%
		うち原木栽培	4,981	92.3%	45	87.7%
		うち菌床栽培	66,078	101.8%	599	96.7%
		なめこ	24,063	105.4%	97	100.4%
		えのきたけ	129,587	101.3%	290	90.4%
		ひらたけ	4,463	116.7%	30	112.2%
		ぶなしめじ	119,545	97.3%	478	86.0%
		まいたけ	54,521	99.1%	396	83.9%
		エリンギ	38,344	99.6%	183	88.3%
		まつたけ	39	121.9%	16	232.0%
		きくらげ類	3,031	96.8%	33	96.8%
		その他	1,854	100.2%	15	100.1%
		小計	462,021	99.9%	2,271	91.1%
	くり		15,700	92.9%	108	97.4%
	たけのこ		19,917	75.3%	37	70.4%
	わさび		1,886	92.0%	29	98.0%
	その他（山菜、薬草）		10,744	92.7%	59	102.5%
	計		510,267	98.3%	2,505	91.3%

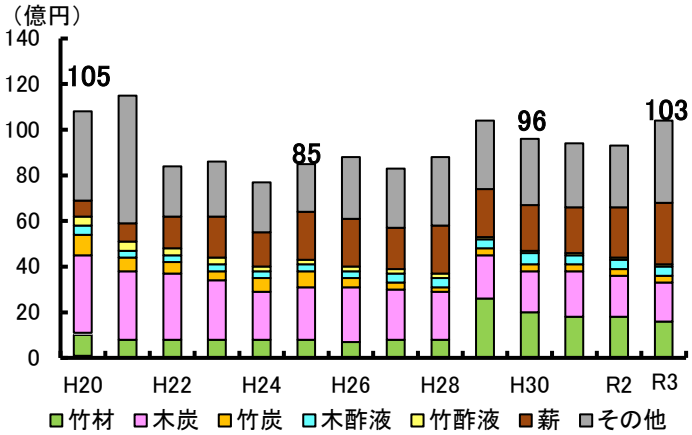
区分		生産量	対前年比	生産額（億円）	対前年比
非食用	うるし（kg）	2,036	99.3%	1	99.1%
	竹材（千束）	916	88.9%	16	90.3%
	桐材（㎥）	187	93.5%	0	93.8%
	木炭（t）	11,806	91.2%	17	91.9%
	竹炭（t）	459	101.8%	3	101.9%
	木酢液（kℓ）	1,708	83.5%	4	98.0%
	竹酢液（kℓ）	192	127.2%	1	126.3%
	薪（層積㎥）	91,791	109.9%	27	123.2%
	その他（竹皮、つばき油等）	3,049	116.8%	35	132.2%
	計			103	111.3%
合計				2,608	91.9%

注1：乾しいたけの生産量の下段は、生換算値であり、きのこ類の生産量小計は、この数値を用いる。
2：木炭の生産量は、白炭、黒炭、粉炭の合計である。
3：計が一致しない部分は、四捨五入によるものである。
4：生産量は、主に都道府県林務担当者からの報告の集計（集計期間：令和3年1月～12月）である。
5：生産額は、それぞれの生産量に東京都中央卸売市場等の卸売価格、都道府県の生産者出荷価格等を乗じた推計値である。

■ きのこ類の生産量の推移



■ 非食用特用林産物の生産額の推移



本件に関する情報や資料は、次のURLをご覧ください。
農林水産省HP：https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokuyo_rinsan/
林野庁HP：http://www.rinya.maff.go.jp/j/tokuyou/tokusan/index.html

特集-4 林業イノベーション現場実装推進プログラムのアップデート

- 林野庁では、令和元年12月に、林業現場への新技術の導入を加速化するため、イノベーションによる林業の将来像と技術開発の現状、普及に向けた課題等を整理した「林業イノベーション現場実装推進プログラム」を策定し、公表。
- その後、現場実装のさらなる加速化に向け、令和３年度に設置した異分野の技術探索や産学官の様々な知見者により先進技術方策の検討等を行う「林業イノベーションハブセンター（森ハブ）」において、本プログラムのアップデート内容を検討。
- 令和４年７月に、これまでの取組成果や森ハブでの検討、デジタル田園都市国家構想基本方針（令和４年６月７日閣議決定）等も踏まえ、本プログラムのアップデート版を公表。

林業イノベーション現場実装推進プログラムのアップデートの主なポイント

1. 林業の将来像 【アップデート版P4－7】

林業分野のイノベーションにおいて、通信技術の進展が重要になることから、(1)伐採・搬出、(2)造林、(3)新素材開発に、(4)通信の将来像を追加。

2. 林業イノベーションの展開方向/各技術のロードマップ 【アップデート版P8－19】

林業の課題を8分類35課題に整理し、課題に対応する異分野を含めた技術をリスト化し、技術熟度レベル(TRL)を8段階で整理。また、開発・実証・実用化・普及の4フェーズに分け、2025年までのタイムライン、現状や普及に向けた課題等を更新・整理。

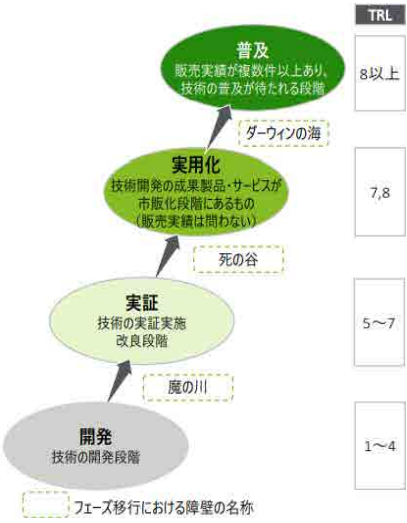
ロードマップ

（３）伐採・集材・運材・造林作業、路網設計・施工、生産管理

林業課題		技術（作業内容）	タイムライン（2019 / 2022 / 2025）	TRL	技術開発と普及の現状	普及等に向けた課題	通信機能	技術リスト
伐採・集材・運材	作業の自動化（車両系－集材・運材）	・電磁誘導線を敷いた道路の走行による自動運転	実証 → 実用化	5	・実際の導入環境において実証済。 ・市販フォワーダの改造により機構搭載が可能。	・電磁誘導線の整備、維持管理、車両の維持管理のコストが初期費用、運用保守費用として必要。	将来必要	17
		・木材運搬用トラックの自動運転システム	実証 → 実用化	5	・搬送用大型ダンプトラックの自動運転は、土木建設分野で実証実験段階。 ・海外では電動式自動運転木材運搬用トラックの開発が進行中。	・自己位置推定や障害物検知について技術的課題が存在。 ・ターゲットとする林道の環境レベル設定も必要（舗装・未舗装）。	必須	18 20
		・電動アクチュエータによるクローラーダンプ用の遠隔操作システム	実証 → 実用化	5	・実証実験段階。今後現場で生産性の向上に向けて導入が期待されている。	・遠隔操作には通信インフラが必要。	必須	19
		・レーザスキャナ/制御用PCの搭載による既存機械の自動運転化	実証 → 実用化	7	・土木建設分野においては実際の導入環境において実証済。	・GPS機能を利用するため、通信インフラが必要。	必須	21
	作業の自動化（架線系－集材・運材）	・架線集材－AI自動集材システム	実証 → 実用化	6	・フィールド実証済。今後、モニター販売が予定されている。 ・一つのラジコンで架線式グラップルと集材機を操作。	・架線の設置コストが必要。 ・AIによる伐倒木認識の精度向上が必要。	将来必要	22
	作業の自動化（検収）	・木材検収システム	普及	8	・木材検収ソフトの標準化を実施済。 ・AIによる画像認識や音声入力により、はい積の本数・直径・材積を自動計測・集計。	・検収情報を木材販売に活用するため、標準化した木材検収ソフトの普及を進める必要。	必須	23

TRL（Technology Readiness Level）:技術熟度レベル
１～８段階で技術の基礎研究～市場投入までを評価。レベルが上昇するにつれ、市場投入に近づく仕様。

フェーズ進展パターン



3. 技術実装の推進方策 【アップデート版P20－22】

本プログラムに掲げた技術の開発や普及を着実に進めるためのプラットフォームとして森ハブを位置づけ。また、新技術の現場実装に向け、森ハブからのコーディネーター派遣等により地域コンソーシアムの組成等を支援することについても記載。

参考(技術リスト)【アップデート版P23－50】

林業課題に対応する技術を異分野含めてリスト化(86技術)。技術リストは、単独で今後も更新。

技術リスト（令和4年3月31日時点）

アップデートの詳細や林業イノベーションハブセンター（森ハブ）については、次のURLをご覧ください。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/ken_sidou/220715.html
https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaihatu/morihub/morihub.html

林野庁プレスリリース「林業イノベーション現場実装推進プログラム」のアップデートについて

林野庁ウェブサイト「林業イノベーションハブセンター（森ハブ）」

特集-5　APEC林業担当大臣会合

- 令和4年8月23～25日にチェンマイ（タイ）において、第5回APEC林業担当大臣会合が開催。
- 日本からは、林野庁森次長が出席し、持続可能な森林経営の重要性や、持続可能な木材利用の促進に向けた国内の取組及び国際協力、脱炭素社会の実現に資する再生可能な資源である木材の循環的な利用の重要性についてスピーチを実施。

■ APEC林業担当大臣会合とは

- APECは、アジア太平洋地域の21の国と地域（エコノミー）が参加する経済協力の枠組み。
- APEC林業担当大臣会合は、APEC地域の森林・林業の持続可能な森林経営の達成に向けて、森林・林業政策について情報共有や意見交換を行う目的で開催。
- 2011年の第１回以降、隔年で開催されていたが、今回は第４回（2017年）以来５年ぶりの開催。

（会場の様子：タイの大臣による開会挨拶）

■ 会合の概要

〇会合のテーマ

今回の会合は、「あらゆる面でのバランス：森林資源の管理と合法的に収穫された林産物の取引を通じた持続可能性」を全体テーマとして、以下２つのセッションを開催。

・セッション１：林産物の管理を通じた持続可能性

・セッション２：合法的に収穫された林産物の取引

（森次長とタイ天然資源・環境大臣）

〇日本のスピーチ

日本は、タイ天然資源・環境大臣による指名で、セッション１の１番目にスピーチを行った。

森次長より、地域の平和と安定の重要性について強調した後、持続可能な森林経営の重要性や、持続可能な木材利用の促進に向けた国内の取組及び国際協力、脱炭素社会の実現に資する再生可能な資源である木材の循環的な利用の重要性について主張。

（森次長のスピーチの様子）

〇その他行事

主催者であるタイやNZなど他の参加者とバイ会談（２国間会談）を行い、カーボンニュートラルに向けた森林政策や今後の協力等について協議。

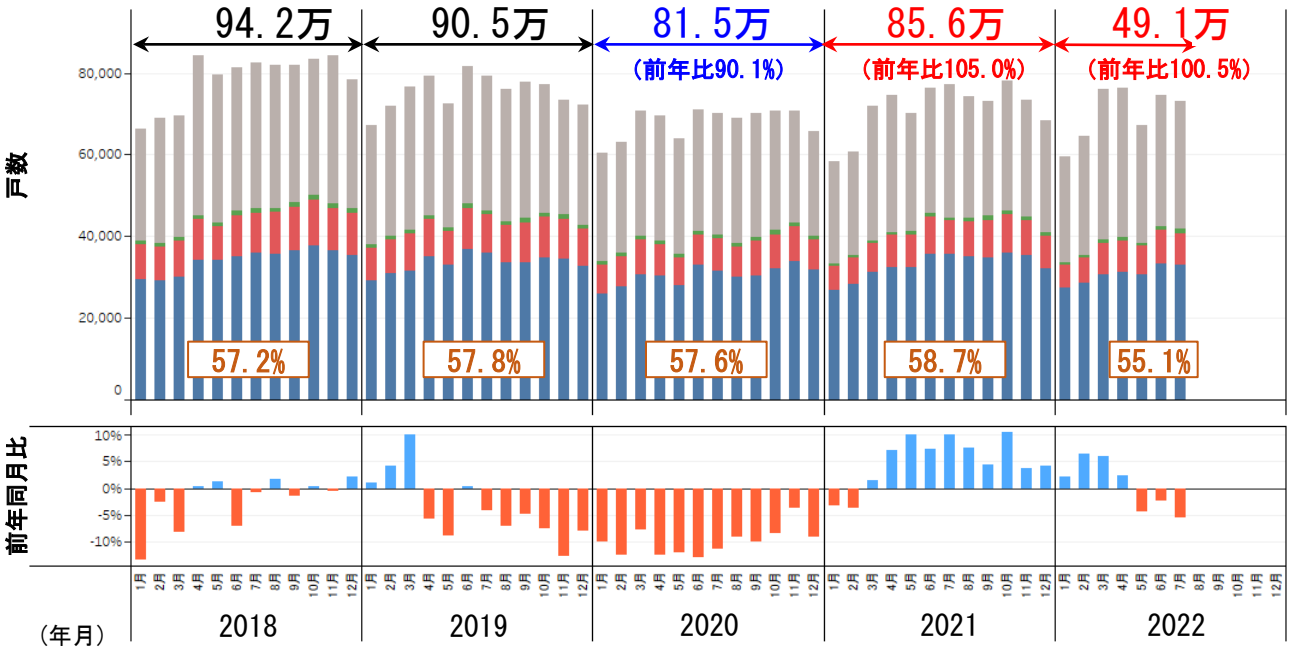
■ 会合の成果

- 今般の会合では、他の多くの会合と同様、国際情勢に関する機微な文言をめぐり事前の調整が難航。意見の対立により閣僚声明の合意には至らなかったが、会合の成果として、議長声明が発出。
- 議長声明の中で、日本の主張に沿って、持続可能な森林経営の重要性に加えて持続可能な木材利用の促進についても言及。

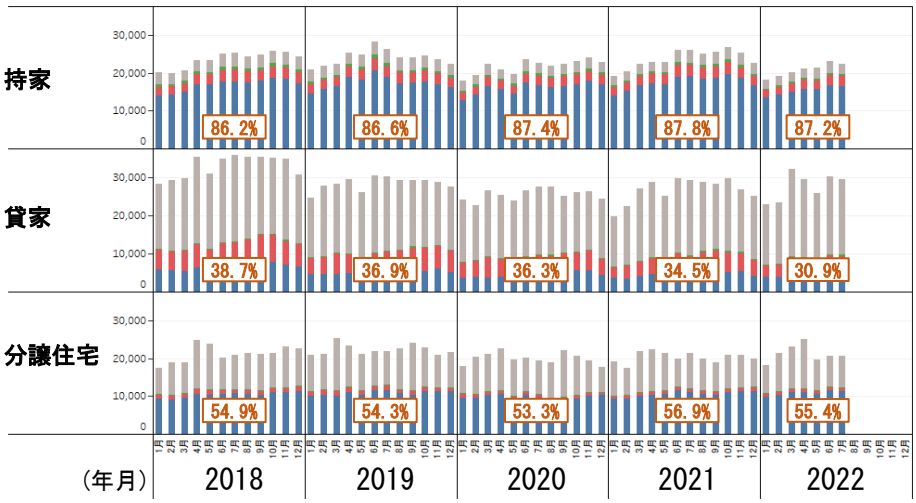
行事の詳細は、次のURLをご覧ください。
林野庁HP：https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/boutai/220901.html
APECのHP：https://www.apec.org/meeting-papers/sectoral-ministerial-meetings/forestry/chair-s-statement-of-the-5th-apec-meeting-of-ministers-responsible-for-forestry

基礎的指標-１　新設住宅着工戸数

- 2021年の新設住宅着工戸数は、85.6万戸（前年比105.0%）、このうち木造住宅は50.2万戸（同107.0%）
- 2022年１～７月の新設住宅着工戸数は、49.1万戸（前年同期比100.5%）、このうち木造住宅は27.1万戸（同96.5%）。



構造別の着工戸数	2022年 １～７月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	491,488	489,192	100.5%	468,927	104.8%
非木造	220,923	208,715	105.8%	202,964	108.8%
木造	270,565	280,477	96.5%	265,963	101.7%
木造プレハブ	5,462	5,567	98.1%	6,075	89.9%
２×４	50,600	52,430	96.5%	52,576	96.2%
在来軸組	214,503	222,480	96.4%	207,312	103.5%
木造率	55.1%	57.3%		56.7%	



資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工戸数（構造別）

（単位：千戸、%）

年・月		合計	前年比	木造 計	前年比	在来軸組	前年比	2×4	前年比	プレハブ	前年比	非木造	前年比	木造率	戸数 年率季節調整値	前年比
2018年	1	66	87	39	100	29	99	8.6	103	0.9	86	27	73	58.7	856	86
	2	69	97	38	97	29	97	8.3	97	1.0	96	31	98	55.5	926	99
	3	70	92	40	96	30	96	8.7	96	0.9	96	30	87	57.1	895	91
	4	84	100	45	100	34	100	10.2	101	0.9	82	39	101	53.7	992	99
	5	80	101	43	97	34	100	8.5	88	0.9	82	36	107	54.6	996	100
	6	81	93	46	97	35	98	10.1	93	1.2	93	35	88	56.9	915	91
	7	83	99	47	98	36	99	9.8	95	1.1	104	36	100	56.8	958	98
	8	82	102	47	100	36	100	10.2	101	1.0	99	35	104	57.4	957	102
	9	82	99	48	100	37	102	10.6	95	1.1	93	33	96	59.1	943	99
	10	83	100	50	102	38	103	11.3	100	1.3	108	33	97	60.3	950	100
	11	84	99	48	96	37	96	10.3	96	1.1	94	36	104	57.1	957	100
	12	78	102	47	103	35	103	10.4	104	1.1	98	32	101	59.7	961	103
2019年	1	67	101	38	98	29	99	7.9	91	1.0	105	29	106	56.8	872	102
	2	72	104	40	104	31	106	8.3	100	0.9	85	32	104	55.6	967	104
	3	77	110	41	104	31	104	9.1	105	0.9	95	35	118	54.1	989	110
	4	79	94	45	100	35	103	9.0	88	1.1	120	34	88	56.9	931	94
	5	73	91	42	97	33	97	8.2	97	1.0	115	30	84	58.2	900	90
	6	82	100	48	104	37	105	10.0	99	1.2	104	33	96	59.0	922	101
	7	79	96	46	99	36	100	9.4	96	1.1	95	33	92	58.5	910	95
	8	76	93	44	93	34	94	9.0	88	1.0	92	32	93	57.4	891	93
	9	78	95	44	92	34	91	9.9	93	1.0	95	33	100	57.0	897	95
	10	77	93	46	91	35	92	9.9	87	1.1	82	31	95	59.3	879	93
	11	74	87	45	94	34	94	9.8	95	1.1	93	28	78	61.6	834	87
	12	72	92	43	91	33	92	9.2	89	1.0	89	29	93	59.3	852	89
2020年	1	60	90	34	89	26	89	7.0	89	0.8	82	26	91	56.1	813	93
	2	63	88	36	90	28	90	7.3	88	0.8	88	27	85	56.8	871	90
	3	71	92	40	97	31	97	8.7	95	0.9	102	31	87	56.8	905	92
	4	70	88	39	86	30	86	7.7	86	0.8	75	31	90	55.8	801	86
	5	64	88	36	84	28	85	6.8	83	0.9	96	28	93	55.8	809	90
	6	71	87	41	86	33	90	7.3	73	1.0	79	30	89	58.0	790	86
	7	70	89	40	87	32	88	7.8	84	0.9	89	30	91	57.6	828	91
	8	69	91	38	88	30	89	7.5	83	1.0	102	31	95	55.6	819	92
	9	70	90	40	90	30	91	8.6	87	1.0	92	30	90	56.9	815	91
	10	71	92	41	91	32	93	8.2	84	0.9	89	29	93	58.6	802	91
	11	71	96	43	96	34	98	8.6	87	1.0	92	27	97	61.3	820	98
	12	66	91	40	94	32	97	7.6	82	0.9	92	25	87	61.3	784	92
2021年	1	58	97	33	99	27	103	5.9	85	0.6	82	25	95	57.1	801	99
	2	61	96	35	99	28	101	6.6	90	0.7	93	25	93	58.3	808	93
	3	72	101	39	97	31	102	7.0	81	0.8	93	33	107	54.3	880	97
	4	75	107	41	106	32	107	7.8	101	0.8	96	33	109	55.1	883	110
	5	70	110	41	115	33	116	7.9	116	0.8	80	29	103	58.6	875	108
	6	76	107	46	111	36	109	8.9	122	1.1	111	31	102	60.0	866	110
	7	77	110	45	110	36	112	8.3	106	0.8	86	33	109	57.9	926	112
	8	74	108	45	116	35	117	8.7	116	1.0	98	30	97	60.0	855	104
	9	73	104	45	113	35	115	9.2	108	1.1	117	28	93	61.7	845	104
	10	78	110	46	112	36	112	9.4	114	1.1	114	32	108	59.5	892	111
	11	73	104	45	103	35	104	8.5	100	1.0	101	29	104	61.1	848	103
	12	68	104	41	102	32	102	7.8	103	0.8	91	28	108	59.7	838	107
2022年	1	60	102	34	101	27	102	5.9	99	0.6	87	26	104	56.5	820	102
	2	65	106	35	100	29	101	6.2	94	0.7	100	29	115	54.8	872	108
	3	76	106	39	101	31	98	7.9	113	0.8	95	37	113	51.5	927	105
	4	76	102	40	97	31	96	7.6	98	0.8	107	37	109	52.0	885	100
	5	67	96	38	93	31	94	7.2	91	0.7	93	29	99	57.2	828	95
	6	75	98	42	93	33	93	8.1	92	0.9	89	32	105	56.8	845	98
	7	73	95	42	93	33	93	7.6	92	0.9	116	31	96	57.2	825	89
2018年計		942	98	539	99	410	99	117	97	13	94	403	96	57.2	942	97
2019年計		905	96	523	97	402	98	110	94	12	97	382	95	57.8	904	96
2020年計		815	90	469	90	365	91	93	85	11	89	346	91	57.6	821	91
2021年計		856	105	502	107	396	108	96	103	11	97	354	102	58.7	860	105
2018年	第1四半期	205	92	117	97	89	97	26	99	2.8	93	88	85	57.1	892	92
	第2四半期	245	98	135	98	103	100	29	94	2.9	86	110	98	55.1	968	97
	第3四半期	246	100	142	100	108	100	31	97	3.3	98	104	100	57.8	953	100
	第4四半期	246	101	145	100	110	101	32	100	3.5	100	101	101	59.0	956	101
2019年	第1四半期	216	105	120	102	92	103	25	99	2.7	94	96	109	55.4	942	106
	第2四半期	234	95	135	100	105	102	27	95	3.3	112	98	89	58.0	918	95
	第3四半期	233	95	134	94	103	95	28	92	3.1	94	99	95	57.7	899	94
	第4四半期	223	91	134	92	102	93	29	90	3.1	88	89	88	60.1	855	89
2020年	第1四半期	194	90	110	92	84	92	23	91	2.4	90	84	88	56.6	863	92
	第2四半期	205	88	116	85	91	87	22	80	2.7	83	89	91	56.6	800	87
	第3四半期	210	90	119	88	92	89	24	85	2.9	94	91	92	56.7	821	91
	第4四半期	207	93	125	93	98	96	24	84	2.8	91	82	92	60.4	802	94
2021年	第1四半期	191	98	108	98	86	102	20	85	2.2	89	83	99	56.5	830	96
	第2四半期	221	108	128	111	101	110	25	113	2.6	95	93	105	57.9	875	109
	第3四半期	225	107	134	113	105	114	26	110	2.9	100	90	99	59.8	876	107
	第4四半期	220	106	132	106	104	106	26	105	2.9	102	88	107	60.1	859	107
2022年	第1四半期	200	105	108	100	86	100	20	102	2.0	94	92	111	54.1	873	105
	第2四半期	218	99	120	94	95	94	23	94	2.5	96	98	105	55.2	852	97

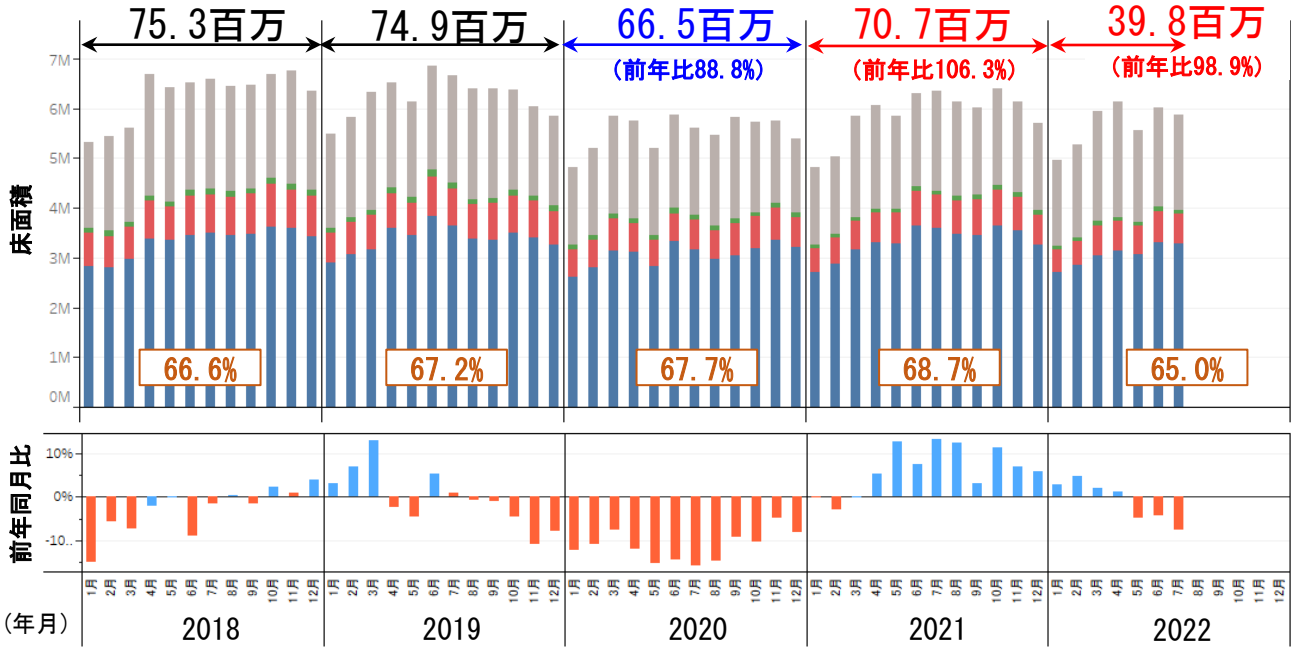
○新設住宅着工戸数（利用関係別・資金別）

（単位：千戸、%）

年・月		合計	前年比	利用関係別 持家	前年比	貸家	前年比	給与	前年比	分譲	前年比	一戸建	前年比	共同住宅	前年比	資金別 民間	前年比	公的	前年比
2018年	1	66	87	20	100	28	89	0.4	78	17	73	11	99	7	51	59	85	7	99
	2	69	97	20	94	29	95	0.6	176	19	103	11	99	8	109	62	98	8	94
	3	70	92	21	96	30	88	0.3	36	19	96	11	99	8	93	63	92	7	89
	4	84	100	23	98	35	98	0.6	180	25	105	12	107	13	103	75	99	9	108
	5	80	101	23	98	31	94	1.2	359	24	112	12	106	12	121	72	102	7	95
	6	81	93	25	97	35	97	1.0	202	20	81	12	101	8	64	72	93	9	93
	7	83	99	25	100	36	99	0.4	94	21	99	12	103	9	95	73	98	9	109
	8	82	102	24	100	35	101	0.7	135	21	103	12	104	9	101	73	101	9	111
	9	82	99	25	100	35	94	0.6	118	21	104	12	105	9	104	74	98	8	105
	10	83	100	26	105	35	93	0.8	118	21	109	13	106	9	114	74	100	9	101
	11	84	99	26	103	35	93	0.6	138	23	106	13	100	11	114	75	98	9	109
	12	78	102	24	105	31	92	0.4	83	23	116	13	108	10	129	70	101	8	114
2019年	1	67	101	21	103	25	88	0.5	118	21	120	11	104	10	145	60	102	7	95
	2	72	104	22	110	28	95	0.9	140	21	111	12	112	9	110	64	104	8	105
	3	77	110	22	109	28	96	0.4	162	25	133	12	107	14	169	69	110	8	110
	4	79	94	25	109	30	83	1.0	176	23	94	13	103	11	85	71	95	8	88
	5	73	91	25	106	26	84	0.4	31	21	89	12	100	9	77	64	89	8	112
	6	82	100	28	113	31	88	0.6	66	22	108	13	110	9	105	73	102	8	91
	7	79	96	26	103	30	85	0.6	143	22	105	13	109	9	100	71	97	8	86
	8	76	93	24	98	29	83	0.2	36	23	106	12	102	10	110	68	93	8	91
	9	78	95	24	97	29	83	0.5	75	24	114	12	100	12	133	70	95	8	97
	10	77	93	24	94	29	84	0.3	41	23	107	13	101	10	116	69	93	8	90
	11	74	87	24	93	29	82	0.3	48	21	90	13	101	8	76	65	87	8	93
	12	72	92	22	91	28	90	0.7	167	22	95	12	96	9	94	65	92	8	90
2020年	1	60	90	18	86	24	97	0.3	63	18	85	11	97	7	72	54	89	7	98
	2	63	88	20	89	23	81	0.5	63	20	96	11	92	9	102	56	88	7	86
	3	71	92	22	100	27	93	0.6	145	21	84	12	99	10	71	63	91	8	105
	4	70	88	21	83	25	86	0.6	60	23	96	12	92	11	102	62	88	7	86
	5	64	88	20	79	24	92	0.3	92	20	93	10	87	9	101	58	90	6	70
	6	71	87	24	83	27	87	0.6	94	20	92	12	89	8	97	64	88	7	82
	7	70	89	23	86	28	91	0.5	77	19	88	11	83	8	96	63	89	7	88
	8	69	91	22	91	28	95	0.6	248	19	84	9	77	9	92	63	92	6	81
	9	70	90	22	93	25	85	0.6	137	22	92	10	84	12	100	64	92	6	73
	10	71	92	23	94	26	89	0.9	293	21	90	11	84	10	98	64	93	6	78
	11	71	96	24	102	26	92	0.8	292	20	94	11	90	8	101	64	98	7	83
	12	66	91	23	102	24	88	0.8	115	18	82	11	91	6	69	59	91	7	87
2021年	1	58	97	19	106	20	82	0.4	121	19	107	10	94	9	128	53	99	5	80
	2	61	96	20	104	23	100	0.4	77	17	85	10	96	7	73	55	97	6	88
	3	72	101	22	100	27	103	0.4	59	22	103	11	97	10	110	65	104	7	81
	4	75	107	23	109	29	114	0.3	55	22	100	12	99	11	100	68	109	7	93
	5	70	110	23	116	25	104	0.8	230	21	108	12	114	10	103	63	109	7	119
	6	76	107	26	111	30	112	0.5	81	20	98	13	109	7	84	70	109	7	96
	7	77	110	26	115	29	106	0.4	83	21	111	12	113	9	108	70	111	7	96
	8	74	108	25	115	29	104	0.5	92	20	105	12	125	8	86	67	107	7	113
	9	73	104	26	115	28	113	0.4	64	19	85	12	115	7	61	67	104	6	104
	10	78	110	27	117	30	115	0.5	55	21	101	12	115	9	85	71	110	7	112
	11	73	104	25	105	27	101	0.5	57	21	106	13	110	8	102	67	105	6	91
	12	68	104	23	100	25	103	0.5	66	20	113	13	112	7	114	63	106	6	88
2022年	1	60	102	18	94	23	117	0.3	88	18	95	11	108	7	80	55	103	5	92
	2	65	106	19	94	24	105	0.3	76	21	123	12	111	10	142	59	108	5	87
	3	76	106	20	91	32	119	0.4	112	23	106	12	110	11	102	70	107	7	100
	4	76	102	21	92	30	102	0.5	155	25	112	12	107	13	117	70	104	6	88
	5	67	96	21	93	26	103	0.3	44	20	91	12	101	8	80	62	98	6	79
	6	75	98	23	89	30	102	0.4	90	21	104	13	100	8	111	68	98	6	98
	7	73	95	22	86	30	101	0.3	74	21	96	12	102	8	88	66	94	7	102
2018年計		942	98	283	100	396	95	7.5	129	255	100	142	103	112	96	842	97	100	102
2019年計		905	96	289	102	342	86	6.4	86	268	105	148	104	119	106	810	96	95	95
2020年計		815	90	261	90	307	90	7.2	113	240	90	131	89	109	91	735	91	80	84
2021年計		856	105	286	109	321	105	5.6	77	244	102	141	108	102	94	779	106	77	96
2018年	第1四半期	205	92	61	97	87	91	1.3	79	55	89	32	99	23	78	183	92	22	94
	第2四半期	245	98	72	97	101	96	2.7	242	69	99	36	105	33	93	219	98	26	98
	第3四半期	246	100	75	100	107	98	1.7	116	63	102	36	104	27	100	220	99	26	109
	第4四半期	246	101	76	104	101	93	1.7	112	67	110	38	105	29	119	220	100	26	108
2019年	第1四半期	216	105	65	107	81	93	1.8	138	67	121	35	108	32	140	193	105	23	104
	第2四半期	234	95	79	110	86	85	2.0	74	66	96	38	104	29	87	209	95	25	96
	第3四半期	233	95	74	99	89	83	1.3	77	68	108	37	104	31	114	209	95	24	91
	第4四半期	223	91	70	93	86	85	1.3	73	65	97	38	99	27	94	199	91	24	91
2020年	第1四半期	194	90	60	92	73	90	1.5	84	59	88	33	96	26	80	172	89	22	96
	第2四半期	205	88	64	82	76	88	1.6	76	63	94	34	89	29	100	185	89	20	79
	第3四半期	210	90	67	90	80	90	1.7	128	60	88	30	81	30	96	190	91	19	80
	第4四半期	207	93	70	99	77	90	2.5	198	58	89	33	88	24	89	187	94	20	83
2021年	第1四半期	191	98	62	103	70	95	1.2	78	58	98	32	96	26	101	173	100	18	83
	第2四半期	221	108	72	112	84	110	1.6	104	64	102	36	107	28	96	201	109	20	102
	第3四半期	225	107	77	115	86	107	1.3	79	60	100	36	117	25	82	205	108	20	104
	第4四半期	220	106	75	107	82	106	1.5	59	62	106	38	113	24	98	201	107	19	97
2022年	第1四半期	200	105	58	93	79	113	1.1	92	63	108	35	109	28	105	184	106	17	93
	第2四半期	218	99	66	91	86	102	1.3	81	65	103	37	103	28	102	200	100	18	88

基礎的指標-２ 新設住宅着工床面積

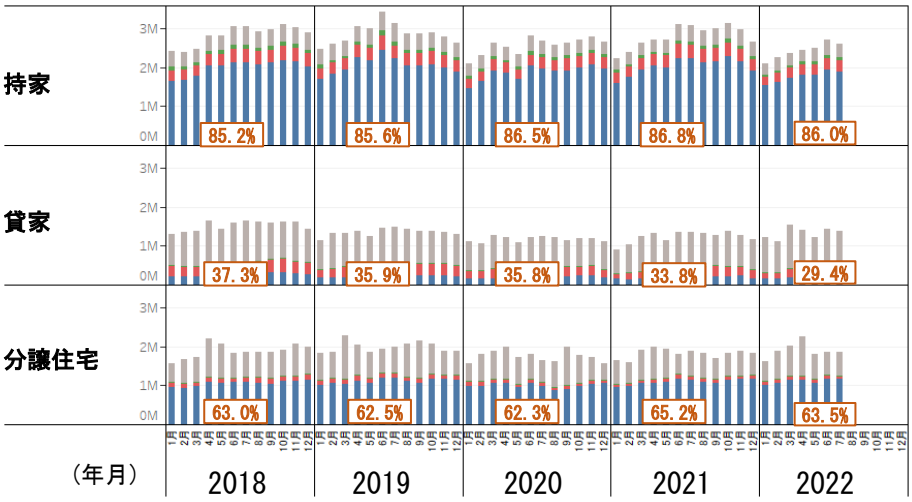
- 2021年の新設住宅着工床面積は、70.7百万m2（前年比106.3%）、このうち木造住宅は48.6百万m2（同107.9%）。
- 2022年１～７月の新設住宅着工床面積は、39.8百万m2（前年同期比98.9%）、このうち木造住宅は25.9百万m2（同94.8%）。



（単位：千m2）

構造別の着工床面積	2022年 1～7月	前年同期	前年同期比	前々年同期	前々年同期比
合計	39,809	40,271	98.9%	38,294	104.0%
非木造	13,917	12,951	107.5%	12,644	110.1%
木造	25,893	27,320	94.8%	25,650	100.9%
木造プレハブ	552	576	95.7%	632	87.3%
２×４	3,935	4,165	94.5%	4,038	97.4%
在来軸組	21,406	22,579	94.8%	20,979	102.0%
口木造率	65.0%	67.8%		67.0%	

（参考）利用関係別の着工床面積（ただし、「給与住宅」を除く。）



資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工床面積（構造別）

（単位：千m^2、%）

年・月		合計	前年比	木造 計	前年比	木造 在来軸組	前年比	木造 2×4	前年比	木造 プレハブ	前年比	非木造	前年比	木造率	木造1戸当りの床面積（m2/戸）
2018年	1	5,325	85	3,594	99	2,833	99	660	104	101	89	1,731	66	67.5	92.2
	2	5,444	94	3,542	96	2,809	95	624	98	110	93	1,903	92	65.1	92.4
	3	5,600	93	3,718	96	2,968	95	652	97	99	95	1,882	88	66.4	93.6
	4	6,696	98	4,240	101	3,373	101	766	102	101	92	2,456	94	63.3	93.8
	5	6,415	100	4,122	99	3,347	101	677	91	98	86	2,292	103	64.3	95.0
	6	6,510	91	4,362	97	3,463	98	774	94	125	93	2,147	81	67.0	94.3
	7	6,590	98	4,379	99	3,497	100	759	95	123	102	2,211	97	66.4	93.3
	8	6,450	101	4,338	101	3,443	101	781	103	114	100	2,113	100	67.2	92.3
	9	6,478	98	4,397	100	3,481	100	799	99	117	96	2,080	96	67.9	90.8
	10	6,690	102	4,607	103	3,624	103	852	103	131	109	2,083	100	68.9	91.8
	11	6,768	101	4,491	100	3,584	100	790	98	117	95	2,277	103	66.4	93.4
	12	6,343	104	4,353	104	3,438	104	795	105	120	102	1,990	103	68.6	93.0
2019年	1	5,484	103	3,607	100	2,892	102	611	93	105	104	1,877	108	65.8	94.6
	2	5,828	107	3,818	108	3,077	110	645	103	95	87	2,011	106	65.5	95.4
	3	6,320	113	3,954	106	3,169	107	690	106	95	96	2,366	126	62.6	95.4
	4	6,532	98	4,413	104	3,592	106	708	92	112	112	2,119	86	67.6	97.7
	5	6,126	95	4,210	102	3,441	103	666	98	103	105	1,916	84	68.7	99.7
	6	6,849	105	4,760	109	3,840	111	787	102	133	106	2,089	97	69.5	99.0
	7	6,656	101	4,508	103	3,652	104	738	97	118	95	2,148	97	67.7	97.3
	8	6,397	99	4,175	96	3,378	98	696	89	102	89	2,221	105	65.3	95.6
	9	6,412	99	4,204	96	3,359	96	740	93	104	89	2,208	106	65.6	92.6
	10	6,386	95	4,357	95	3,505	97	743	87	109	83	2,030	97	68.2	93.2
	11	6,036	89	4,253	95	3,411	95	735	93	108	92	1,783	78	70.5	93.8
	12	5,850	92	4,040	93	3,258	95	683	86	99	83	1,810	91	69.1	94.3
2020年	1	4,821	88	3,249	90	2,620	91	547	90	81	78	1,572	84	67.4	96.0
	2	5,194	89	3,442	90	2,796	91	563	87	83	87	1,752	87	66.3	96.1
	3	5,848	93	3,886	98	3,142	99	653	95	92	96	1,962	83	66.4	96.8
	4	5,758	88	3,779	86	3,111	87	584	82	83	74	1,980	93	65.6	97.3
	5	5,195	85	3,441	82	2,833	82	516	77	92	89	1,754	92	66.2	96.6
	6	5,861	86	3,997	84	3,325	87	569	72	104	78	1,864	89	68.2	97.0
	7	5,616	84	3,857	86	3,153	86	606	82	97	83	1,760	82	68.7	95.3
	8	5,466	85	3,643	87	2,982	88	567	81	94	93	1,823	82	66.6	94.8
	9	5,825	91	3,784	90	3,040	90	647	87	97	93	2,040	92	65.0	94.8
	10	5,735	90	3,919	90	3,200	91	627	84	92	85	1,816	89	68.3	94.6
	11	5,750	95	4,097	96	3,351	98	645	88	101	94	1,653	93	71.3	94.4
	12	5,385	92	3,899	96	3,218	99	588	86	93	93	1,486	82	72.4	97.0
2021年	1	4,825	100	3,266	101	2,705	103	492	90	69	85	1,559	99	67.7	97.8
	2	5,045	97	3,473	101	2,881	103	522	93	70	84	1,572	90	68.8	98.0
	3	5,838	100	3,818	98	3,176	101	558	85	85	93	2,020	103	65.4	97.9
	4	6,064	105	3,990	106	3,297	106	610	104	83	100	2,074	105	65.8	97.2
	5	5,852	113	3,983	116	3,282	116	623	121	78	85	1,869	107	68.1	96.8
	6	6,295	107	4,445	111	3,635	109	703	124	107	103	1,849	99	70.6	97.2
	7	6,352	113	4,344	113	3,603	114	656	108	85	87	2,008	114	68.4	97.3
	8	6,147	112	4,251	117	3,476	117	675	119	100	106	1,897	104	69.1	95.3
	9	6,012	103	4,267	113	3,463	114	700	108	104	107	1,746	86	71.0	94.6
	10	6,390	111	4,464	114	3,641	114	716	114	108	116	1,925	106	69.9	96.2
	11	6,143	107	4,310	105	3,556	106	656	102	98	97	1,833	111	70.2	96.0
	12	5,702	106	3,953	101	3,258	101	611	104	84	91	1,749	118	69.3	96.7
2022年	1	4,968	103	3,232	99	2,710	100	464	94	58	84	1,736	111	65.1	95.9
	2	5,282	105	3,416	98	2,851	99	493	94	72	103	1,867	119	64.7	96.5
	3	5,953	102	3,728	98	3,053	96	595	107	80	94	2,225	110	62.6	95.0
	4	6,133	101	3,811	96	3,133	95	595	98	83	100	2,322	112	62.1	96.0
	5	5,564	95	3,712	93	3,074	94	563	90	75	96	1,852	99	66.7	96.6
	6	6,027	96	4,034	91	3,311	91	627	89	96	90	1,993	108	66.9	95.2
	7	5,881	93	3,961	91	3,275	91	598	91	88	103	1,921	96	67.3	94.9
2018年計		75,309	97	50,144	100	39,860	100	8,929	99	1,356	96	25,165	93	66.6	93.0
2019年計		74,876	99	50,298	100	40,571	102	8,443	95	1,284	95	24,578	98	67.2	95.7
2020年計		66,454	89	44,991	89	36,770	91	7,111	84	1,110	86	21,463	87	67.7	95.9
2021年計		70,666	106	48,564	108	39,972	109	7,523	106	1,070	96	22,102	103	68.7	96.7
2018年	第1四半期	16,369	91	10,854	97	8,609	96	1,935	100	309	92	5,515	80	66.3	92.7
	第2四半期	19,621	96	12,725	99	10,184	100	2,217	96	324	90	6,896	92	64.9	94.3
	第3四半期	19,518	99	13,114	100	10,421	100	2,339	99	354	100	6,404	97	67.2	92.1
	第4四半期	19,802	102	13,452	102	10,646	103	2,438	102	368	102	6,350	102	67.9	92.7
2019年	第1四半期	17,632	108	11,378	105	9,137	106	1,947	101	295	95	6,254	113	64.5	95.2
	第2四半期	19,507	99	13,383	105	10,873	107	2,161	97	349	108	6,124	89	68.6	98.8
	第3四半期	19,465	100	12,887	98	10,388	100	2,175	93	324	91	6,578	103	66.2	95.2
	第4四半期	18,272	92	12,650	94	10,173	96	2,161	89	316	86	5,622	89	69.2	93.8
2020年	第1四半期	15,863	90	10,577	93	8,558	94	1,763	91	256	87	5,286	85	66.7	96.3
	第2四半期	16,815	86	11,216	84	9,269	85	1,669	77	279	80	5,598	91	66.7	96.9
	第3四半期	16,907	87	11,283	88	9,175	88	1,820	84	289	89	5,623	85	66.7	95.0
	第4四半期	16,870	92	11,915	94	9,769	96	1,859	86	286	91	4,955	88	70.6	95.3
2021年	第1四半期	15,708	99	10,557	100	8,761	102	1,572	89	224	87	5,152	97	67.2	97.9
	第2四半期	18,211	108	12,419	111	10,215	110	1,936	116	268	96	5,792	103	68.2	97.1
	第3四半期	18,512	109	12,862	114	10,541	115	2,031	112	289	100	5,651	100	69.5	95.7
	第4四半期	18,235	108	12,727	107	10,454	107	1,983	107	289	101	5,508	111	69.8	96.3
2022年	第1四半期	16,203	103	10,375	98	8,614	98	1,552	99	209	94	5,828	113	64.0	95.8
	第2四半期	17,725	97	11,557	93	9,518	93	1,785	92	254	95	6,168	106	65.2	95.9

○新設住宅着工床面積（利用関係別・資金別）

（単位：千m²、%）

年・月		合計	前年比	利用関係別 持家	前年比	貸家	前年比	給与	前年比	分譲	前年比	一戸建	前年比	資金別 民間	前年比	公的	前年比
2018年	1	5,325	85	2,412	100	1,304	87	35	103	1,573	68	1,111	98	4,684	84	640	95
	2	5,444	94	2,387	93	1,343	92	53	163	1,662	97	1,096	98	4,757	95	687	91
	3	5,600	93	2,475	94	1,386	87	21	60	1,717	96	1,129	98	4,970	94	630	86
	4	6,696	98	2,821	97	1,635	95	35	134	2,205	100	1,273	106	5,905	98	791	100
	5	6,415	100	2,824	97	1,435	94	81	360	2,075	106	1,230	105	5,724	101	691	95
	6	6,510	91	3,042	96	1,603	95	45	138	1,821	80	1,230	100	5,722	91	788	90
	7	6,590	98	3,063	100	1,642	97	24	68	1,860	98	1,239	102	5,783	97	807	106
	8	6,450	101	2,934	100	1,617	101	38	116	1,862	101	1,239	104	5,729	100	721	103
	9	6,478	98	2,980	99	1,597	90	34	80	1,867	106	1,228	105	5,754	98	723	100
	10	6,690	102	3,098	104	1,630	93	51	128	1,911	109	1,295	105	5,895	102	795	103
	11	6,768	101	3,041	102	1,629	95	37	133	2,061	104	1,299	100	6,000	100	768	106
	12	6,343	104	2,889	104	1,424	93	25	79	2,005	114	1,346	108	5,601	103	742	110
2019年	1	5,484	103	2,477	103	1,144	88	32	92	1,831	116	1,154	104	4,871	104	613	96
	2	5,828	107	2,603	109	1,317	98	53	100	1,855	112	1,229	112	5,139	108	689	100
	3	6,320	113	2,675	108	1,326	96	29	135	2,290	133	1,218	108	5,629	113	692	110
	4	6,532	98	3,052	108	1,392	85	48	140	2,040	93	1,316	103	5,799	98	733	93
	5	6,126	95	2,991	106	1,255	87	32	40	1,848	89	1,238	101	5,392	94	734	106
	6	6,849	105	3,415	112	1,458	91	43	95	1,934	106	1,359	111	6,084	106	765	97
	7	6,656	101	3,147	103	1,482	90	39	162	1,988	107	1,356	110	5,884	102	772	96
	8	6,397	99	2,868	98	1,447	89	20	53	2,062	111	1,271	103	5,691	99	706	98
	9	6,412	99	2,857	96	1,377	86	32	95	2,146	115	1,237	101	5,690	99	722	100
	10	6,386	95	2,894	93	1,385	85	23	46	2,084	109	1,331	103	5,657	96	729	92
	11	6,036	89	2,791	92	1,349	83	23	61	1,873	91	1,323	102	5,331	89	705	92
	12	5,850	92	2,619	91	1,295	91	46	183	1,889	94	1,296	96	5,179	92	671	90
2020年	1	4,821	88	2,110	85	1,127	99	17	52	1,567	86	1,135	98	4,254	87	566	92
	2	5,194	89	2,299	88	1,057	80	31	58	1,807	97	1,133	92	4,601	90	593	86
	3	5,848	93	2,640	99	1,276	96	54	187	1,878	82	1,207	99	5,135	91	714	103
	4	5,758	88	2,512	82	1,214	87	34	70	1,998	98	1,210	92	5,108	88	650	89
	5	5,195	85	2,343	78	1,092	87	29	91	1,732	94	1,082	87	4,644	86	551	75
	6	5,861	86	2,816	82	1,212	83	36	84	1,797	93	1,208	89	5,239	86	622	81
	7	5,616	84	2,694	86	1,253	85	28	71	1,642	83	1,121	83	5,005	85	611	79
	8	5,466	85	2,589	90	1,220	84	33	166	1,624	79	984	77	4,911	86	555	79
	9	5,825	91	2,631	92	1,152	84	50	154	1,992	93	1,042	84	5,288	93	537	74
	10	5,735	90	2,707	94	1,189	86	48	207	1,791	86	1,104	83	5,160	91	575	79
	11	5,750	95	2,801	100	1,198	89	36	160	1,715	92	1,180	89	5,159	97	591	84
	12	5,385	92	2,661	102	1,111	86	39	85	1,574	83	1,180	91	4,811	93	574	86
2021年	1	4,825	100	2,234	106	911	81	23	136	1,656	106	1,064	94	4,332	102	493	87
	2	5,045	97	2,388	104	1,031	97	29	94	1,598	88	1,089	96	4,467	97	579	98
	3	5,838	100	2,634	100	1,261	99	26	49	1,917	102	1,177	97	5,241	102	597	84
	4	6,064	105	2,709	108	1,339	110	24	70	1,992	100	1,202	99	5,477	107	587	90
	5	5,852	113	2,714	116	1,151	105	37	128	1,950	113	1,224	113	5,249	113	603	110
	6	6,295	107	3,104	110	1,351	111	31	88	1,808	101	1,317	109	5,687	109	608	98
	7	6,352	113	3,082	114	1,358	108	25	89	1,888	115	1,275	114	5,748	115	604	99
	8	6,147	112	2,941	114	1,323	108	38	114	1,846	114	1,228	125	5,518	112	629	113
	9	6,012	103	3,000	114	1,285	112	32	65	1,695	85	1,197	115	5,454	103	558	104
	10	6,390	111	3,141	116	1,384	116	35	72	1,829	102	1,278	116	5,763	112	627	109
	11	6,143	107	2,965	106	1,269	106	28	79	1,881	110	1,298	110	5,565	108	578	98
	12	5,702	106	2,647	99	1,175	106	36	92	1,844	117	1,316	112	5,177	108	525	91
2022年	1	4,968	103	2,108	94	1,216	133	23	101	1,620	98	1,135	107	4,513	104	454	92
	2	5,282	105	2,250	94	1,115	108	26	90	1,892	118	1,200	110	4,801	107	481	83
	3	5,953	102	2,371	90	1,531	121	28	108	2,023	106	1,285	109	5,403	103	550	92
	4	6,133	101	2,455	91	1,399	104	32	133	2,248	113	1,286	107	5,617	103	517	88
	5	5,564	95	2,504	92	1,227	107	30	81	1,804	92	1,230	100	5,059	96	506	84
	6	6,027	96	2,713	87	1,422	105	35	112	1,856	103	1,305	99	5,469	96	559	92
	7	5,881	93	2,610	85	1,394	103	27	111	1,850	98	1,284	101	5,283	92	598	99
2018年計		75,309	97	33,967	99	18,245	93	477	122	22,619	97	14,714	103	66,523	97	8,786	98
2019年計		74,876	99	34,388	101	16,228	89	420	88	23,840	105	15,329	104	66,346	100	8,530	97
2020年計		66,454	89	30,803	90	14,101	87	434	103	21,116	89	13,585	89	59,315	89	7,139	84
2021年計		70,666	106	33,558	109	14,839	105	364	84	21,906	104	14,664	108	63,679	107	6,988	98
2018年	第1四半期	16,369	91	7,275	96	4,033	89	109	107	4,952	85	3,336	98	14,411	91	1,958	91
	第2四半期	19,621	96	8,687	97	4,673	95	160	198	6,101	95	3,732	104	17,351	96	2,270	95
	第3四半期	19,518	99	8,977	100	4,856	96	95	87	5,589	101	3,705	104	17,266	99	2,252	103
	第4四半期	19,802	102	9,028	103	4,683	94	113	114	5,977	109	3,940	104	17,496	102	2,306	106
2019年	第1四半期	17,632	108	7,756	107	3,787	94	114	104	5,976	121	3,602	108	15,638	109	1,994	102
	第2四半期	19,507	99	9,457	109	4,104	88	123	77	5,822	95	3,913	105	17,275	100	2,232	98
	第3四半期	19,465	100	8,872	99	4,306	89	91	96	6,196	111	3,865	104	17,266	100	2,199	98
	第4四半期	18,272	92	8,304	92	4,030	86	92	81	5,846	98	3,950	100	16,166	92	2,106	91
2020年	第1四半期	15,863	90	7,049	91	3,460	91	102	89	5,252	88	3,476	96	13,990	89	1,873	94
	第2四半期	16,815	86	7,671	81	3,518	86	99	80	5,527	95	3,499	89	14,992	87	1,823	82
	第3四半期	16,907	87	7,914	89	3,625	84	110	121	5,258	85	3,147	81	15,204	88	1,703	77
	第4四半期	16,870	92	8,169	98	3,498	87	123	135	5,080	87	3,463	88	15,130	94	1,740	83
2021年	第1四半期	15,708	99	7,256	103	3,204	93	78	77	5,171	98	3,330	96	14,040	100	1,668	89
	第2四半期	18,211	108	8,526	111	3,841	109	93	94	5,751	104	3,743	107	16,413	109	1,798	99
	第3四半期	18,512	109	9,023	114	3,966	109	95	86	5,429	103	3,700	118	16,720	110	1,792	105
	第4四半期	18,235	108	8,753	107	3,828	109	99	80	5,554	109	3,891	112	16,505	109	1,730	99
2022年	第1四半期	16,203	103	6,730	93	3,861	121	77	99	5,535	107	3,620	109	14,717	105	1,486	89
	第2四半期	17,725	97	7,672	90	4,048	105	97	105	5,908	103	3,820	102	16,144	98	1,581	88

＜参考＞非居住用建築物着工床面積

（単位：千m2、%）

年次	月	合計		構造別			
				木造		非木造	
			前年比		前年比		前年比
2019年	1	3,970	101	259	84	3,711	102
	2	3,700	85	243	96	3,457	84
	3	3,334	81	294	105	3,040	79
	4	4,440	96	354	105	4,085	95
	5	4,170	99	327	103	3,844	99
	6	4,641	102	377	102	4,264	102
	7	4,980	100	452	122	4,527	99
	8	3,987	95	479	131	3,508	91
	9	3,609	82	431	96	3,179	80
	10	3,922	85	409	99	3,513	84
	11	3,750	90	386	102	3,364	89
	12	4,184	97	330	92	3,854	98
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,866	116	285	82	4,581	119
	5	3,919	92	318	104	3,601	91
	6	4,787	112	349	107	4,438	112
	7	4,981	122	346	101	4,636	124
2019年計		48,687	93	4,341	103	44,346	92
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2019年	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,572	106	952	97	12,620	107

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

基礎的指標-3　木材産業の業況

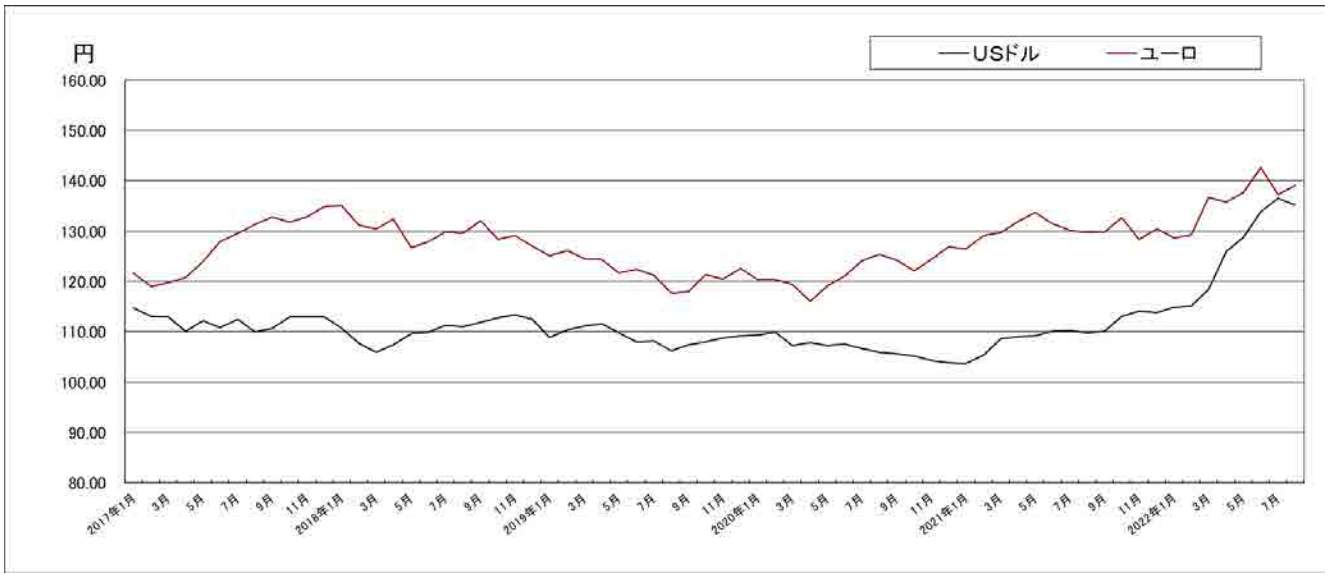
- 2021年は、木材産業の倒産件数が19件（前年比70.3%）、負債金額が4,313百万円（同112.0%）。
- 2022年１～７月は、木材産業の倒産件数が８件（前年同期比53.3%）、負債金額が5,103百万円（同128.4%）。

年・月		企業倒産状況							
		全　企　業				木材・木製品業			
		件数		負債金額		件数		負債金額	
		（件）	前年比(%)	（百万円）	前年比(%)	（件）	前年比(%)	（百万円）	前年比(%)
2019年	1	666	105	168,374	161	0	－	0	－
	2	589	95	195,534	217	1	100	10	2
	3	662	84	97,114	73	1	33	532	51
	4	645	99	106,916	112	2	50	797	111
	5	695	91	107,465	103	3	100	795	313
	6	734	106	86,957	40	1	25	59	8
	7	802	114	93,400	83	5	500	347	694
	8	678	98	87,149	72	3	300	278	150
	9	702	113	112,985	61	6	300	959	3,197
	10	780	107	88,578	75	2	100	91	1
	11	727	101	122,452	101	2	200	470	904
	12	704	113	156,864	192	4	200	543	32
2020年	1	773	116	124,734	74	0	－	0	－
	2	651	111	71,283	36	0	－	0	－
	3	740	112	105,949	109	1	100	300	56
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280	161
	5	314	45	81,336	76	2	67	320	40
	6	780	106	128,816	148	4	400	444	753
	7	789	98	100,821	108	1	20	89	26
	8	667	98	72,416	83	2	67	150	54
	9	565	80	70,740	63	1	17	637	66
	10	624	80	78,342	88	2	100	57	63
	11	569	78	102,101	83	3	150	550	117
	12	558	79	138,518	88	1	25	25	5
2021年	1	474	61	81,388	65	2	－	180	－
	2	446	69	67,490	95	0	－	0	－
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	－	0	－
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	－	0	－
	11	510	90	94,101	92	0	－	0	－
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	－	0	－
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010	615
	4	486	102	81,253	97	2	50	2,900	5,800
	5	524	111	87,380	52	1	100	180	150
	6	546	101	1,232,583	1,798	0	－	0	－
	7	494	104	84,570	118	0	－	0	－
2019年計		8,384	102	1,423,788	96	30	115	4,881	40
2020年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2019年	第1四半期	1,917	94	461,022	141	2	33	542	33
	第2四半期	2,074	98	301,338	72	6	55	1,651	99
	第3四半期	2,182	108	293,534	70	14	350	1,584	598
	第4四半期	2,211	107	367,894	115	8	160	1,104	13
2020年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023	399
	第2四半期	1,556	104	1,401,216	436	3	30	3,080	89

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

基礎的指標-4　USドル及びユーロ為替相場

- 2022年８月の為替相場は、１ドル135.24円、１ユーロ139.03円。



年月	USドル	ユーロ
2017年1月	114.73	121.75
2月	113.06	118.98
3月	113.01	119.79
4月	110.06	120.85
5月	112.21	123.95
6月	110.91	127.97
7月	112.44	129.65
8月	109.91	131.34
9月	110.68	132.85
10月	112.96	131.76
11月	112.92	132.81
12月	112.97	134.94
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54

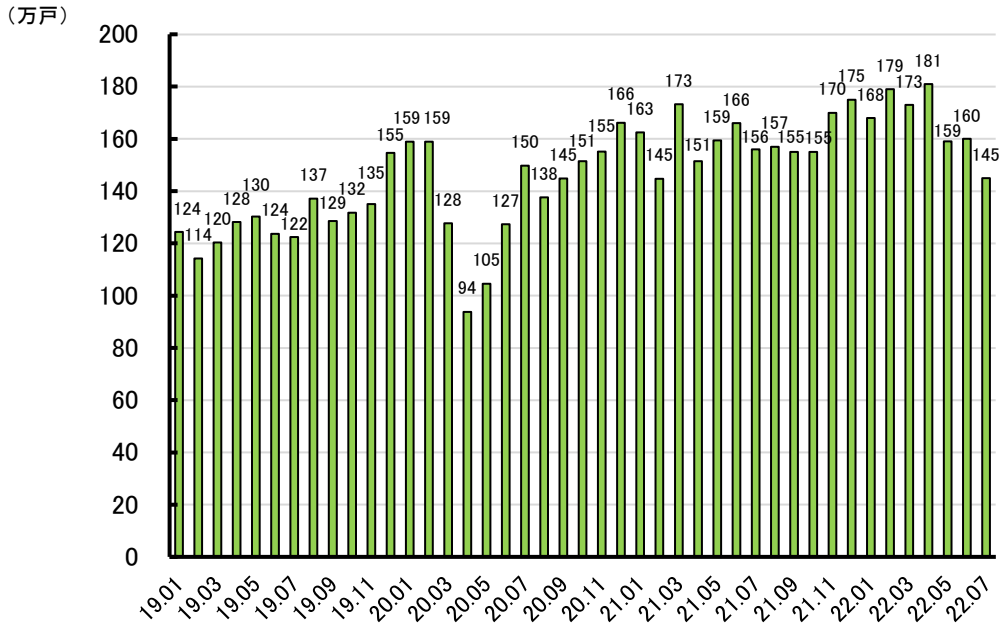
年月	USドル	ユーロ
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83
5月	128.78	137.76
6月	133.86	142.67
7月	136.63	137.25
8月	135.24	139.03

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、
ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

基礎的指標-5　米国民間新設住宅着工戸数、コンテナ運賃

- 米国の住宅着工戸数（戸建て計）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年４月に急落した。その後、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年５月から増加傾向が続き、2022年４月には181万戸（年率換算）を記録。2022年５月からは、住宅ローン金利が急騰したことにより、下落傾向。2022年７月は前月比91％の145万戸。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2020年11月頃から急上昇し、その後は欧州発、米国発ともに高値を維持。

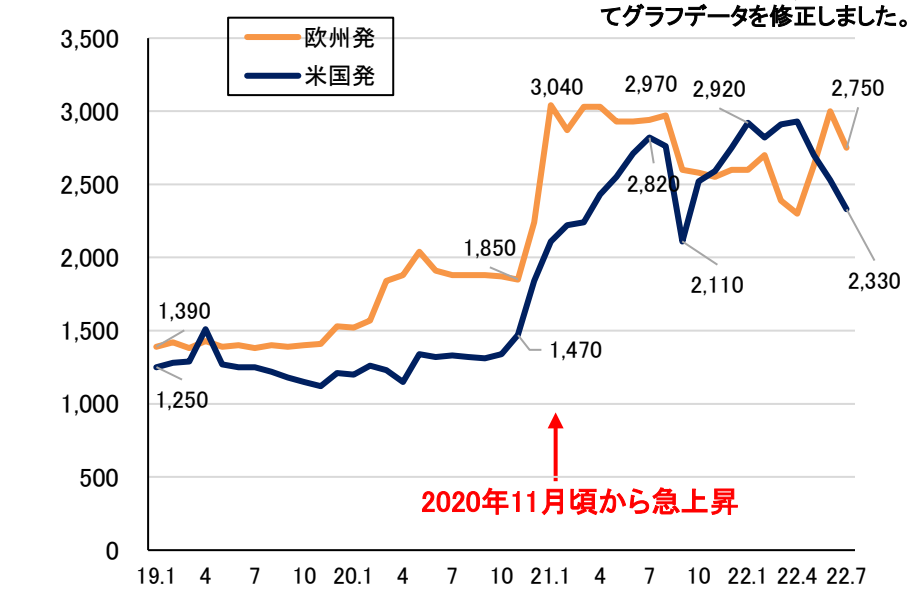
○米国における住宅着工戸数



資料：（住宅着工戸数）米国商務省「住宅着工統計」（季節調整済み、年率換算、戸建て計）

○日本向けコンテナ運賃の推移

※2022年6月に出典元のDrewry社集計データの一部（欧州発コンテナ運賃）が修正されたため、それに併せてグラフデータを修正しました。



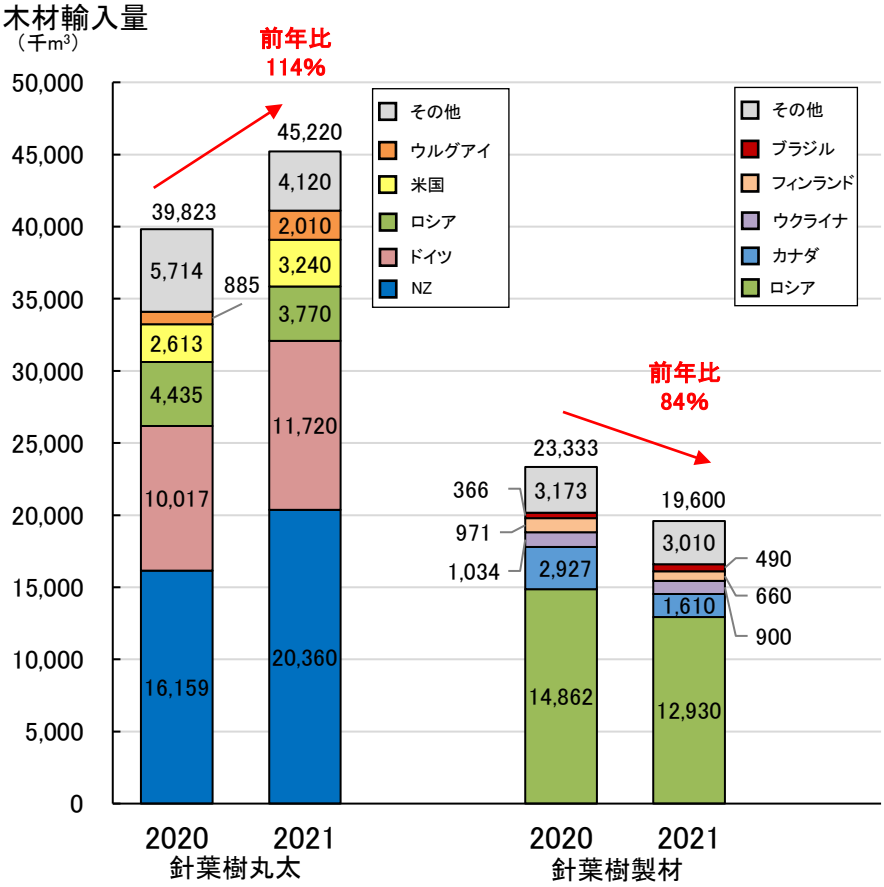
資料：　日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

（注）　40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。
（出典）Drewry「Container Freight Rate Insight」

基礎的指標-6　中国の木材輸入量、 EUにおける建設活動水準

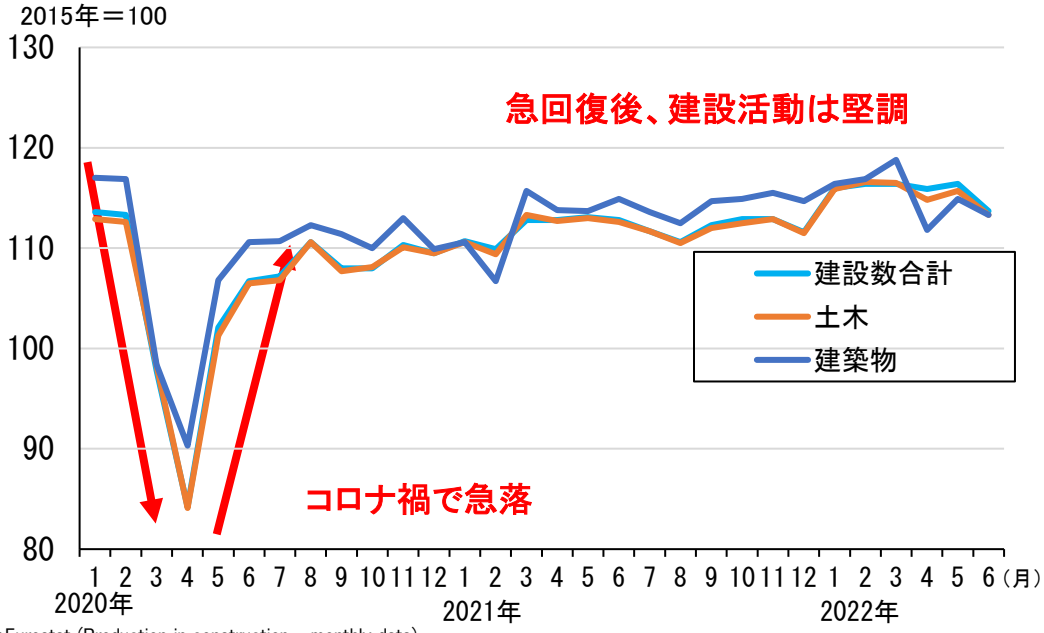
- 中国では、木材需要が継続して増加。2021年の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比114%の4,522万m³。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比84%の1,960万m³ 。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、一昨年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。

○中国の木材輸入量



資料:ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5))

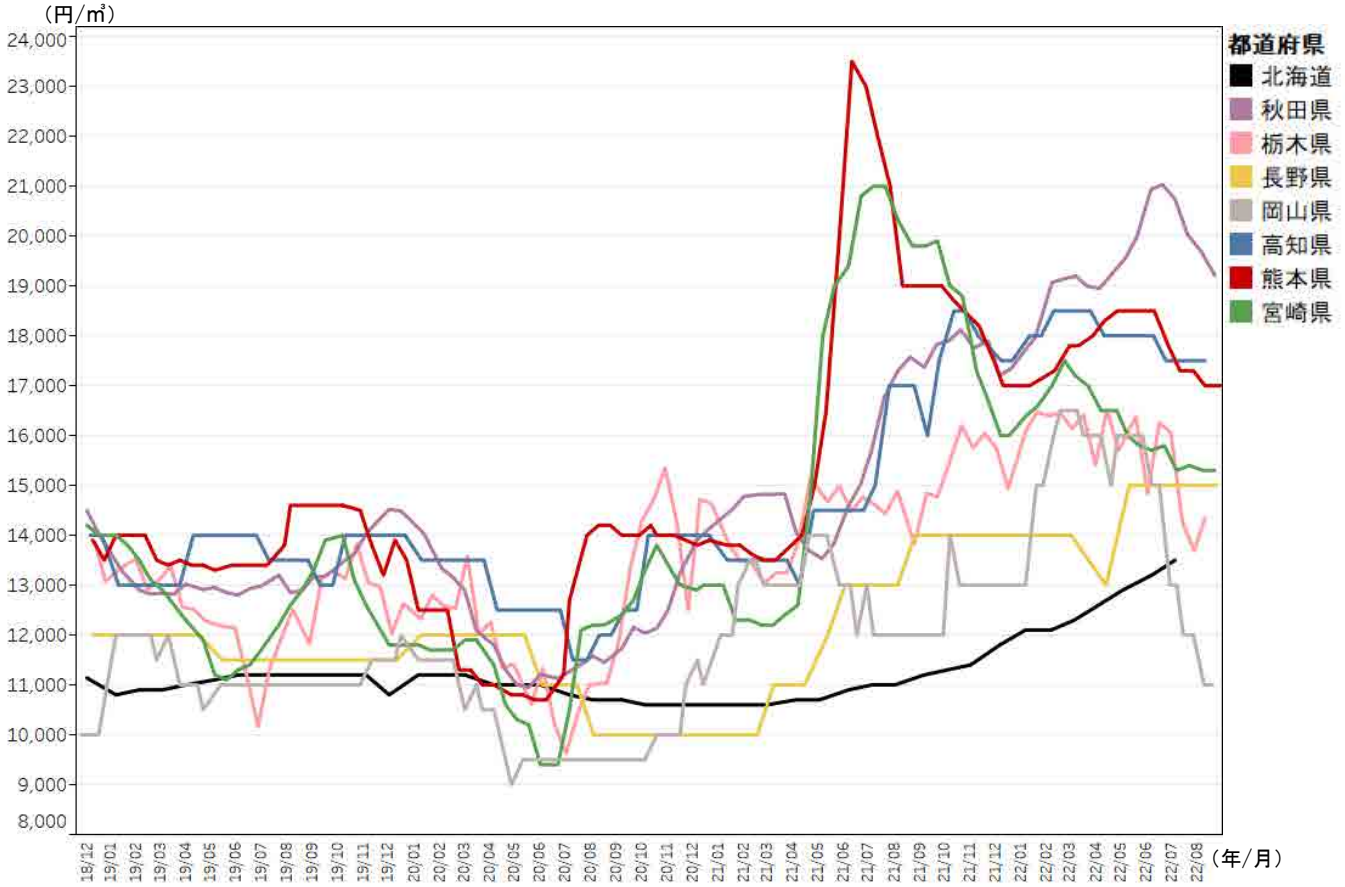
○EUにおける建設活動水準（2015年比）



資料:Eurostat (Production in construction - monthly data)

木材価格情報-１　スギ原木の主要市場価格

- 2021年４月以降、いわゆるウッドショックにより価格が大きく上昇し、その後一部の地域で下落したが、全般的には、2021年３月以前と比較すると高い水準で推移。
- 直近のスギ原木価格は、11,000円～19,210円/㎥となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ
注１：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注２：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。
注３：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

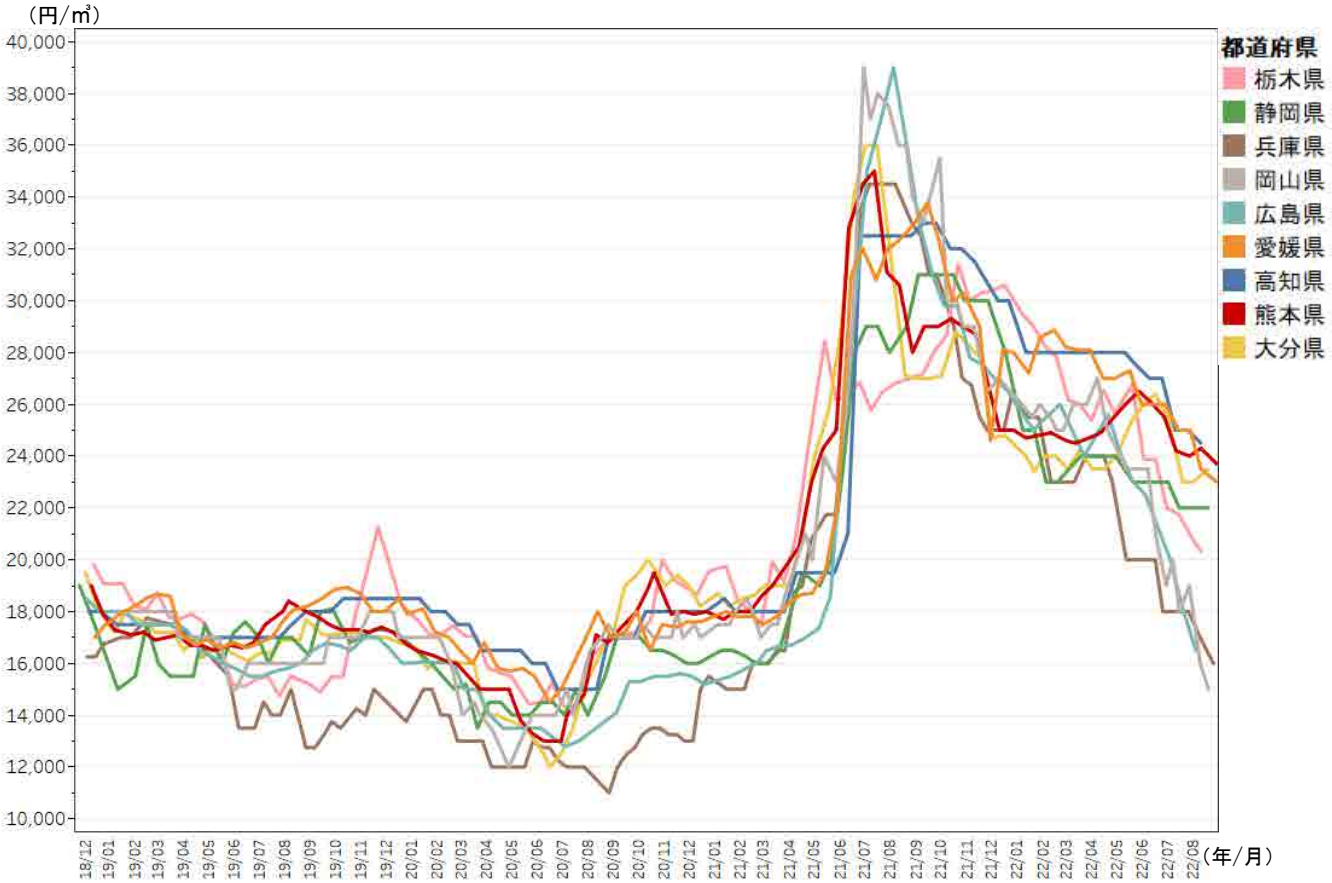
（単位：円）

都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,500	11,000	123%
秋田県	19,210	17,570	109%
栃木県	14,340	14,880	96%
長野県	15,000	14,000	107%
岡山県	11,000	12,000	92%
高知県	17,500	17,000	103%
熊本県	17,000	19,000	89%
宮崎県	15,300	19,800	77%

※北海道については７月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については８月の値を使用。

木材価格情報- 1　ヒノキ原木の主要市場価格

- ヒノキにおいてもスギと同様に、2021年４月以降、価格が大きく上昇。その後下落傾向に転じているが、2021年３月以前と比較すると全般的に高い水準で推移。
- 直近のヒノキ原木価格は、15,000円～24,500円/㎥となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ
注１；径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）
注２：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

（単位：円）

都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	20,320	26,800	76%
静岡県	22,000	29,000	76%
兵庫県	16,000	33,000	48%
岡山県	15,000	36,000	42%
広島県	16,500	39,000	42%
愛媛県	23,000	33,000	70%
高知県	24,500	32,500	75%
熊本県	23,700	28,000	85%
大分県	23,500	27,100	87%

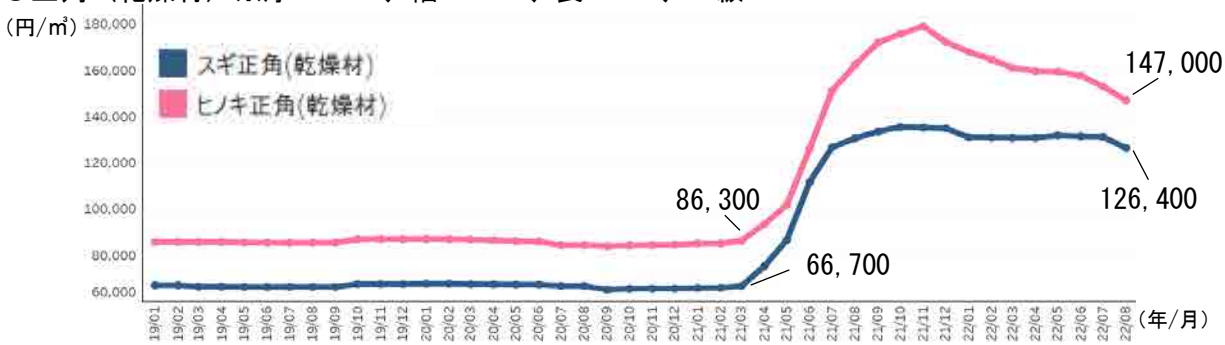
※各県８月の値を使用。

木材価格情報-２ 木材価格（農林水産統計）

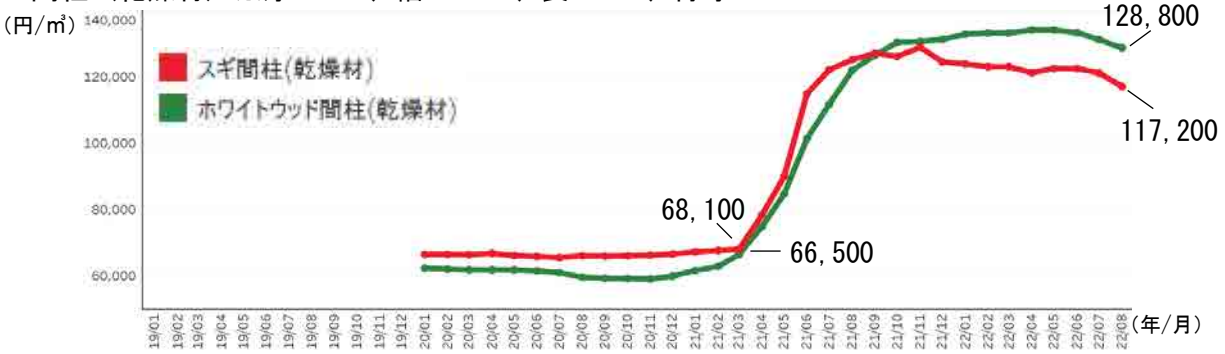
- 主な製材品及び針葉樹合板の全国平均価格は、いわゆるウッドショック以前（2021年３月以前）と比較すると、引き続き高い水準で推移。
- 2022年８月の正角（乾燥材）の価格は、スギは126,400円/㎥（前年同期比97%）、ヒノキは147,000円/㎥（同91%）。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは117,200円/㎥（前年同期比94%）、ホワイトウッドは128,800円/㎥（同106%）。
- 同年６月の針葉樹合板の価格は、2,300円/枚（前年同期比178%）。

■主な製材品等の価格推移(全国平均価格)

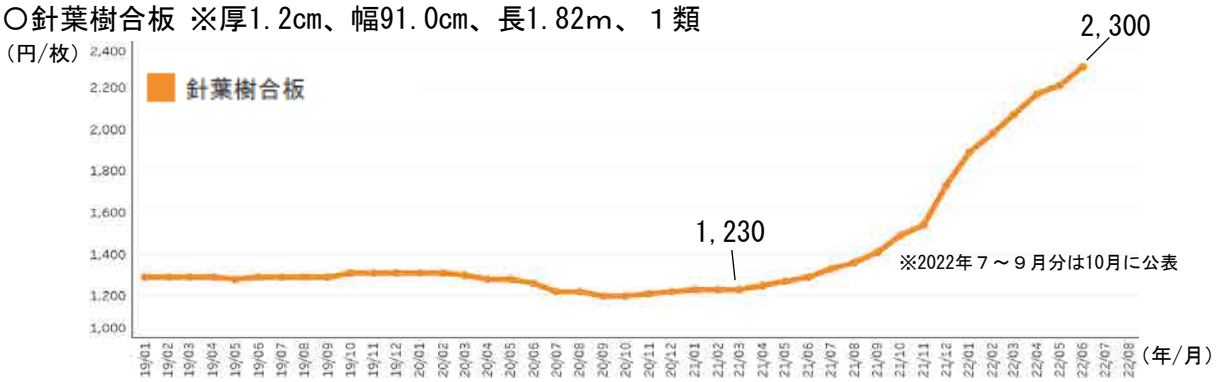
○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、２級



○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、１類



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：１　針葉樹合板は、2022年１月より、四半期ごとの公表となった（４月に１～３月分、７月に４～６月分、10月に７～９月分、翌１月に10～12月分を公表）。

２　製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。

３　2022年は「木材価格」に拠る速報値、2021年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

（1）全国平均価格

年次	月	丸太 スギ 中丸太(製材用) 14-22cm 3.65-4m (円/m³)	対前年比(%)	丸太 ヒノキ 中丸太(製材用) 14-22cm 3.65-4m (円/m³)	対前年比(%)	丸太 カラマツ 中丸太(製材用) 14-28cm 3.65-4m (円/m³)	対前年比(%)	丸太 スギ 丸太(合板用) 18cm上	対前年比(%)	製材品 スギ 正角 10.5cm角、3.0m (円/m³)	対前年比(%)	製材品 スギ 正角(乾燥材) 10.5cm角、3.0m (円/m³)	対前年比(%)	製材品 ヒノキ 正角 10.5cm角、3.0m (円/m³)	対前年比(%)	製材品 ヒノキ 正角(乾燥材) 10.5cm角、3.0m (円/m³)	対前年比(%)	製材品 米ツガ 正角(防腐処理材) 10.5cm角、4.0m (円/m³)	対前年比(%)	製材品 スギ 間柱(乾燥材) 3.0×10.5cm、3.0m (円/m³)	対前年比(%)	製材品 ホワイトウッド 間柱(乾燥材) 3.0×10.5cm、3.0m (円/m³)	対前年比(%)
2019年	1	14,100	100	19,000	109	12,100	105	11,300	104	61,600	101	67,000	101	76,500	100	85,700	100						
	2	13,900	101	18,800	106	12,100	105	11,300	104	61,600	101	67,000	101	76,500	100	85,700	100						
	3	13,700	101	18,600	101	12,400	108	11,300	103	61,600	101	66,400	100	76,500	100	85,700	100						
	4	13,400	102	18,200	99	12,100	104	11,300	103	61,600	101	66,400	100	76,500	100	85,700	100						
	5	13,200	102	17,800	97	12,200	103	11,300	103	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,500	100						
	6	12,900	100	17,400	97	12,300	104	11,300	104	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100						
	7	12,900	98	17,500	97	12,300	104	11,200	102	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100						
	8	13,200	99	17,400	96	12,600	107	11,200	102	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100						
	9	13,400	98	17,500	95	12,600	107	11,200	102	61,600	101	66,300	99	76,500	100	85,400	100						
	10	13,700	98	18,100	95	12,800	108	11,400	103	62,700	103	67,500	101	77,900	102	87,000	102						
	11	13,600	96	18,700	96	12,800	106	11,400	103	62,700	102	67,500	101	78,100	102	87,000	102						
	12	13,500	96	18,700	96	12,800	106	11,400	101	62,700	102	67,500	101	78,100	102	87,000	102						
2020年	1	13,000	92	18,700	98	12,700	105	11,400	101	62,700	102	67,700	101	79,000	103	87,000	102	79,900		66,600		62,400	
	2	13,100	94	18,500	98	12,800	106	11,400	101	62,700	102	67,700	101	79,000	103	87,000	102	79,800		66,600		62,100	
	3	12,800	93	17,800	96	12,700	102	11,300	100	62,700	102	67,500	102	79,000	103	86,800	101	79,800		66,500		61,900	
	4	12,300	92	16,800	92	12,700	105	11,200	99	62,700	102	67,400	102	77,400	101	86,600	101	79,800		66,900		61,900	
	5	12,000	91	16,200	91	12,600	103	11,200	99	62,500	101	67,300	102	77,400	101	86,100	101	79,700		66,200		61,900	
	6	11,600	90	15,900	91	12,500	102	11,100	98	62,500	101	67,300	102	78,600	103	85,900	101	79,600		65,900		61,600	
	7	11,900	92	15,400	88	12,400	101	11,000	98	62,200	101	66,700	101	77,200	101	84,400	99	79,500		65,600		61,000	
	8	12,800	97	16,000	92	12,400	98	10,800	96	62,200	101	66,700	101	76,700	100	84,400	99	79,500		66,100		59,700	
	9	12,800	96	17,000	97	12,500	99	10,700	96	62,200	101	65,100	98	76,700	100	84,000	98	79,300		66,000		59,300	
	10	13,100	96	17,500	97	12,400	97	10,800	95	62,200	99	65,500	97	76,700	98	84,300	97	79,300		66,100		59,200	
	11	13,400	99	18,200	97	12,400	97	10,900	96	62,200	99	65,600	97	76,700	98	84,400	97	79,300		66,300		59,100	
	12	13,400	99	18,300	98	12,400	97	10,900	96	62,200	99	65,600	97	77,200	99	84,500	97	79,300		66,700		60,000	
2021年	1	13,500	104	18,100	97	12,400	98	10,900	96	62,200	99	65,800	97	77,400	98	85,100	98	79,600	100	67,300	101	61,700	99
	2	13,300	102	18,700	101	12,500	98	11,000	96	62,200	99	65,900	97	77,400	98	85,100	98	79,800	100	67,700	102	62,900	101
	3	13,400	105	18,900	106	12,400	98	11,100	98	62,500	100	66,700	99	79,200	100	86,300	99	81,300	102	68,100	102	66,500	107
	4	13,600	111	19,800	118	12,400	98	11,300	101	64,500	103	75,300	112	79,400	103	93,500	108	87,500	110	78,400	117	74,900	121
	5	15,500	129	21,400	132	12,500	99	11,400	102	65,400	105	86,600	129	83,700	108	101,800	118	94,300	118	90,000	136	84,700	137
	6	17,500	151	25,200	158	13,100	105	11,900	107	70,100	112	111,800	166	87,900	112	126,100	147	103,600	130	115,000	175	101,500	165
	7	17,800	150	30,100	195	13,400	108	12,000	109	71,400	115	126,700	190	98,000	127	151,200	179	118,200	149	122,200	186	111,800	183
	8	18,100	141	32,100	201	13,500	109	12,300	114	注1) 68,900	注2) –	130,600	196	注1) 93,700	注2) –	162,300	192	126,700	159	125,200	189	122,000	204
	9	18,100	141	32,300	190	13,800	110	12,400	116	68,900	–	133,500	205	99,700	–	172,000	205	135,300	171	127,200	193	126,600	213
	10	18,000	137	33,000	189	13,900	112	12,700	118	69,000	–	135,500	207	96,200	–	175,700	208	136,600	172	126,200	191	130,500	220
	11	17,500	131	32,000	176	14,000	113	13,400	123	68,900	–	135,300	206	96,200	–	179,000	212	136,100	172	129,000	195	130,700	221
	12	17,200	128	29,100	159	14,000	113	13,900	128	67,800	–	134,900	206	95,500	–	172,300	204	136,100	172	124,600	187	131,400	219
2022年	1	16,900	125	29,100	161	14,400	116	14,200	130	注3) 67,600	–	131,000	199	注3) 94,800	–	168,000	197	注3) 139,200	175	123,900	184	132,900	215
	2	17,600	132	27,900	149	14,500	116	15,500	141	65,800	–	130,900	199	94,100	–	164,600	193	139,300	175	123,100	182	133,300	212
	3	17,800	133	27,600	146	14,800	119	15,700	141	65,800	–	130,800	196	93,400	–	161,100	187	139,300	171	123,100	181	133,300	200
	4	17,500	129	27,200	137	15,000	121	16,000	142	65,900	–	130,800	174	93,800	–	159,600	171	141,400	162	121,300	155	134,200	179
	5	17,900	115	26,500	124	16,000	128	16,100	141	65,900	–	131,800	152	93,400	–	159,400	157	142,100	151	122,600	136	134,200	158
	6	17,800	102	25,900	103	17,300	132	16,100	135	65,900	–	131,400	118	92,000	–	157,700	125	143,100	138	122,600	107	133,400	131
	7	17,500	98	25,300	84	17,000	127	16,200	135			131,200	104			153,000	101			121,200	99	131,300	117
	8	17,400	96	24,000	75	17,000	126	15,900	129			126,400	97			147,000	91			117,200	94	128,800	106
2019年		13,500	99	18,100	98	12,400	105	11,300	103	61,900	101	66,700	100	76,900	100	85,900	100						
2020年		12,700	94	17,200	95	12,500	101	11,100	98	62,400	101	66,700	100	77,600	101	85,500	100	79,600		66,300		60,800	
2021年		16,100	127	25,900	151	13,200	106	12,000	108	注2) –	注2) –	105,700	158	注2) –	注2) –	132,500	155	109,600	138	103,400	156	100,400	165
2019年	第1四半期	13,900	101	18,800	105	12,200	106	11,300	104	61,600	101	66,800	101	76,500	100	85,700	100						
	第2四半期	13,200	102	17,800	98	12,200	104	11,300	103	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,500	100						
	第3四半期	13,200	99	17,500	96	12,500	106	11,200	102	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100						
	第4四半期	13,600	96	18,500	96	12,800	107	11,400	102	62,700	102	67,500	101	78,000	102	87,000	102						
2020年	第1四半期	13,000	94	18,300	97	12,700	104	11,400	101	62,700	102	67,600	101	79,000	103	86,900	101	79,800		66,600		62,100	
	第2四半期	12,000	91	16,300	92	12,600	103	11,200	99	62,600	102	67,300	102	77,800	102	86,200	101	79,700		66,300		61,800	
	第3四半期	12,500	95	16,100	92	12,400	99	10,800	96	62,200	101	66,200	100	76,900	101	84,300	99	79,400		65,900		60,000	
	第4四半期	13,300	98	18,000	97	12,400	97	10,900	96	62,200	99	65,600	97	76,900	99	84,400	97	79,300		66,400		59,400	
2021年	第1四半期	13,400	103	18,600	102	12,400	98	11,000	96	62,300	99	66,100	98	78,000	99	85,500	98	80,200	101	67,700	102	63,700	103
	第2四半期	15,500	129	22,100	136	12,700	101	11,500	103	66,700	107	91,200	136	83,700	108	107,100	124	95,100	119	94,500	143	87,000	141
	第3四半期	18,000	144	31,500	196	13,600	110	12,200	113	注2) –	注2) –	130,300	197	注2) –	注2) –	161,800	192	126,700	160	124,900	190	120,100	200
	第4四半期	17,600	132	31,400	174	14,000	113	13,300	122	68,600	–	135,200	206	96,000	–	175,700	208	136,300	172	126,600	191	130,900	220
2022年	第1四半期	17,400	130	28,200	152	14,600	118	15,100	137	66,400	–	130,900	198	94,100	–	164,600	193	139,300	174	123,400	182	133,200	209
	第2四半期	17,700	114	26,500	120	16,100	127	16,100	140	65,900	–	131,300	144	93,100	–	158,900	148	142,200	150	122,200	129	133,900	154

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：１　「木材価格」における調査対象が2021年８月より変更になったことから、2021年７月及び８月のスギ及びヒノキ正角の数値は接続しない。

２　「木材価格」における調査対象が2021年８月より変更になったことから、対前年同月比（2021年８月以降）、年平均価格（2021年）、対前年比（2021年）、第３四半期平均価格（2021年）及び対前年同期比（2021年第３四半期及び第４四半期）は算出できないため、「－」と表示している。

３　2022年１月より、四半期ごとの公表となった（４月に１～３月分、７月に４～６月分、10月に７～９月分、翌１月に10～12月分を公表）。

４　丸太価格のうち、製材用丸太価格は製材工場、合板用丸太価格は合単板工場における工場着購入価格である。

５　製材品価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。

６　2022年は「木材価格」に拠る速報値、2021年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

年次	月	構造用集成材 スギ集成管柱 国産、無化粧 10.5角×2.98～3m JAS (円/m³)	(円/本)	対前年比(%)	構造用集成材 ホワイトウッド集成管柱 国産、無化粧 10.5角×2.98～3m JAS (円/m³)	(円/本)	対前年比(%)	合板 針葉樹合板 1.2×91.0cm、1.82m (円/枚)	対前年比(%)	チップ チップ用素材(丸太) 針葉樹 (円/m³)	対前年比(%)	広葉樹 (円/m³)	対前年比(%)	木材チップ 針葉樹 (円/t)	対前年比(%)	広葉樹 (円/t)	対前年比(%)
2019年	1							1,290	102	6,200	103	9,200	101	14,200	102	19,000	102
	2							1,290	102	6,200	103	9,300	101	14,200	102	19,000	102
	3							1,290	100	6,200	102	9,300	101	14,200	101	19,000	102
	4							1,290	100	6,200	103	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	5							1,280	99	6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	6							1,290	100	6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	7							1,290	100	6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	8							1,290	100	6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	9							1,290	100	6,300	103	9,300	101	14,500	103	19,000	101
	10							1,310	102	6,400	103	9,500	103	14,700	104	19,300	103
	11							1,310	102	6,500	105	9,500	103	14,800	104	19,300	102
	12							1,310	102	6,500	105	9,500	102	14,800	103	19,300	102
2020年	1	60,469	2,000		60,469	2,000		1,310	102	6,500	105	9,500	103	14,900	105	19,400	102
	2	60,469	2,000		60,469	2,000		1,310	102	6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102
	3	63,492	2,100		60,469	2,000		1,300	101	6,500	105	9,400	101	14,900	105	19,400	102
	4	60,469	2,000		60,469	2,000		1,280	99	6,500	105	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	5	60,469	2,000		60,469	2,000		1,280	100	6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	6	60,469	2,000		60,469	2,000		1,260	98	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	7	63,492	2,100		60,469	2,000		1,220	95	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	8	63,492	2,100		60,469	2,000		1,220	95	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	9	63,492	2,100		60,469	2,000		1,200	93	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	10	60,469	2,000		60,469	2,000		1,200	92	6,500	102	9,500	100	14,800	101	19,300	100
	11	60,469	2,000		60,469	2,000		1,210	92	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
	12	60,469	2,000		57,445	1,900		1,220	93	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
2021年	1	63,492	2,100	105	57,445	1,900	95	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,800	99	19,400	100
	2	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	3	60,469	2,000	95	60,469	2,000	100	1,230	95	6,500	100	9,500	101	14,600	98	19,300	99
	4	63,492	2,100	105	66,515	2,200	110	1,250	98	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	5	66,515	2,200	110	72,562	2,400	120	1,270	99	6,700	103	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	6	72,562	2,400	120	84,656	2,800	140	1,290	102	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	7	75,586	2,500	119	96,750	3,200	160	1,330	109	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	8	90,703	3,000	143	117,914	3,900	195	1,360	111	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	9	96,750	3,200	152	142,101	4,700	235	1,410	118	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	10	105,820	3,500	175	154,195	5,100	255	1,490	124	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
	11	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	1,540	127	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	101
	12	111,867	3,700	185	154,195	5,100	268	1,730	142	6,700	103	9,500	100	14,600	99	19,400	101
2022年	1	111,867	3,700	176	157,218	5,200	274	注1) 1,890	154	6,700	103	9,500	100	15,000	101	19,400	100
	2	114,890	3,800	190	157,218	5,200	274	1,980	161	6,700	103	9,600	101	15,000	103	19,400	101
	3	111,867	3,700	185	154,195	5,100	255	2,070	168	6,800	105	9,600	101	15,100	103	19,400	101
	4	114,890	3,800	181	154,195	5,100	232	2,170	174	6,900	106	9,700	102	15,200	104	19,600	102
	5	114,890	3,800	173	154,195	5,100	213	2,210	174	7,000	104	9,700	102	15,300	105	19,800	103
	6	114,890	3,800	158	154,195	5,100	182	2,300	178	7,000	104	9,800	103	15,300	104	19,800	103
	7	111,867	3,700	148	142,101	4,700	147			7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,800	103
	8	111,867	3,700	123	139,078	4,600	118			7,100	106	9,800	103	15,300	104	19,900	103
2019年								1,290	100	6,300	103	9,300	101	14,500	103	19,100	102
2020年		60,469	2,000		60,469	2,000		1,250	97	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
2021年		81,633	2,700	135	102,797	3,400	170	1,360	109	6,600	102	9,500	100	14,700	99	19,300	99
2019年	第1四半期							1,290	101	6,200	103	9,300	101	14,200	102	19,000	102
	第2四半期							1,290	100	6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	第3四半期							1,290	100	6,300	105	9,300	101	14,500	103	19,000	101
	第4四半期							1,310	102	6,500	105	9,500	103	14,800	104	19,300	102
2020年	第1四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		1,310	102	6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102
	第2四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		1,270	98	6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	第3四半期	63,492	2,100		60,469	2,000		1,210	94	6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	第4四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		1,210	92	6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
2021年	第1四半期	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	1,230	94	6,500	100	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	第2四半期	66,515	2,200	110	75,586	2,500	125	1,270	100	6,600	102	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	第3四半期	87,680	2,900	138	117,914	3,900	195	1,370	113	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	第4四半期	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	1,590	131	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
2022年	第1四半期	111,867	3,700	185	157,218	5,200	274	1,980	161	6,700	103	9,600	101	15,000	102	19,400	101
	第2四半期	114,890	3,800	173	154,195	5,100	204	2,230	176	7,000	106	9,700	102	15,300	105	19,700	102

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：１ 2022年１月より、四半期ごとの公表となった（４月に１～３月分、７月に４～６月分、10月に７～９月分、翌１月に10～12月分を公表）。

２ 構造用集成材価格、木材チップ用丸太価格及び木材チップ価格は、それぞれ集成管柱工場から販売先への出荷時の販売価格、木材チップ工場における工場着購入価格、パルプ向けチップ工場における工場渡し価格である。

３ 合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。

４ 構造用集成材のm3当たりの価格は、１本を0.033075m3に換算して算出した。

５ 2022年は「木材価格」に拠る速報値、2021年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

(2)都道府県別価格

○スギ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2021年

単位：円／m³

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
青森	10,500	10,500	10,500	10,500	11,600	11,600	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
岩手	11,800	11,700	11,800	12,600	13,000	13,400	13,800	13,800	14,100	14,400	14,800	15,100
宮城	11,300	11,500	11,700	11,900	12,100	12,700	12,700	12,300	12,400	12,400	13,400	14,100
秋田	11,100	11,400	11,500	11,500	11,600	11,700	11,900	12,800	13,100	13,600	13,500	13,500
山形	11,200	11,200	11,200	11,500	11,900	11,900	14,200	14,300	14,400	16,300	16,300	16,300
福島	12,800	12,100	12,100	11,400	12,600	12,700	13,000	12,400	13,000	13,000	13,600	14,200
栃木	13,800	13,800	13,800	13,800	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	16,500
岐阜	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	15,000	15,000	16,100	16,100	16,600	16,600	16,600
静岡	13,600	13,600	13,800	14,100	14,700	16,100	17,200	17,500	17,900	17,900	18,300	18,000
三重	12,700	12,500	12,900	13,300	14,300	15,300	15,800	16,100	17,100	17,100	17,200	17,200
奈良	11,600	12,600	12,600	13,100	13,200	15,200	15,200	15,200	15,200	15,300	15,300	15,300
岡山	11,100	11,500	12,100	13,200	13,200	13,700	14,300	14,300	13,900	13,900	13,900	14,300
徳島	14,500	14,500	14,500	14,800	14,800	16,600	16,600	17,200	17,200	17,600	17,600	17,600
愛媛	15,900	15,900	15,400	15,900	15,900	18,100	19,900	20,000	20,000	19,900	19,800	18,600
佐賀	13,800	14,100	14,100	14,600	15,400	17,600	23,100	23,100	21,400	19,800	19,200	17,600
熊本	14,900	14,900	14,900	14,900	18,300	21,900	18,000	21,800	21,700	21,700	21,400	21,000
大分	15,000	14,400	14,400	14,900	16,000	20,700	21,800	19,900	18,700	18,300	18,500	18,800
宮崎	14,000	13,600	13,700	13,800	17,400	19,800	20,600	20,500	20,900	20,600	18,700	17,900
鹿児島	13,900	13,600	13,400	13,900	18,700	21,200	22,200	22,200	21,500	21,500	21,000	19,900

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月
青森	12,100	12,100	14,300	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
岩手	15,400	16,100	16,400	16,700	17,400	17,900	17,800	17,800
宮城	15,400	15,600	16,200	17,000	17,000	15,900	14,800	14,800
秋田	13,500	14,600	14,700	14,900	15,100	15,100	15,100	15,200
山形	17,100	17,200	17,200	18,100	18,400	18,400	19,400	19,400
福島	14,600	14,600	14,600	13,400	13,200	13,500	14,100	13,400
栃木	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	15,400	15,400	15,400
岐阜	16,600	16,600	16,600	17,700	18,300	18,300	18,300	18,300
静岡	18,200	18,500	18,800	18,900	19,300	19,300	18,900	18,300
三重	17,100	17,300	17,400	18,100	18,600	18,200	17,400	16,600
奈良	16,800	16,800	16,800	17,900	17,900	17,900	17,400	16,900
岡山	13,800	13,800	13,800	13,800	15,300	15,300	14,300	14,000
徳島	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600
愛媛	18,600	20,800	22,900	23,000	22,900	22,900	20,800	20,800
佐賀	17,000	17,000	17,600	17,600	17,600	17,600	17,100	17,100
熊本	19,400	21,400	21,400	19,000	21,300	21,700	21,400	21,600
大分	18,800	19,500	18,600	17,800	18,000	17,700	17,500	17,900
宮崎	17,200	17,800	18,000	17,700	17,700	17,700	17,500	16,800
鹿児島	18,800	18,300	18,300	18,300	18,800	18,700	18,700	18,500

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2021年

単位：円／m³

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
福島	22,900	20,500	20,800	26,000	30,200	30,600	30,900	30,900	31,300	33,000	34,800	35,800
茨城	21,200	20,400	20,400	21,700	25,600	26,100	26,500	26,500	27,300	29,000	29,600	29,600
栃木	20,100	20,100	20,000	20,300	24,700	28,900	28,900	28,800	28,800	28,900	29,100	30,100
岐阜	17,700	17,700	18,100	17,700	18,400	27,000	27,900	30,800	31,200	31,700	32,600	29,100
静岡	20,000	19,900	20,300	21,000	21,600	27,000	31,500	36,700	38,600	40,800	40,300	39,300
三重	13,700	13,900	14,100	14,500	15,800	20,600	21,800	25,200	26,500	27,200	25,500	24,800
兵庫	20,700	20,700	22,900	24,000	24,100	30,700	35,500	33,100	32,900	32,900	33,000	33,000
奈良	14,700	15,800	15,800	16,400	16,400	20,000	20,000	22,000	27,000	30,000	30,000	28,800
和歌山	15,900	15,900	15,900	16,800	19,600	21,600	21,600	21,900	21,900	27,000	27,700	27,700
岡山	21,400	21,500	21,700	22,600	23,500	24,500	31,700	30,800	30,600	30,100	29,600	27,200
愛媛	21,100	21,100	21,100	21,900	22,400	26,100	39,100	42,700	44,300	45,700	39,700	31,400
高知	17,500	19,100	19,000	19,100	20,400	21,900	26,200	33,800	31,600	31,300	32,700	28,800
熊本	20,800	21,100	21,100	21,900	27,300	33,500	37,500	36,700	33,000	33,600	35,700	28,700
大分	12,100	14,300	15,300	17,200	17,900	24,400	29,200	30,800	30,600	29,200	28,900	28,600
宮崎	19,300	19,100	18,600	19,800	22,000	27,500	31,900	37,300	34,100	34,100	33,200	32,400

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月
福島	35,500	34,900	34,400	32,800	32,800	30,600	27,400	25,100
茨城	29,400	28,300	28,000	28,000	27,800	26,800	24,500	21,900
栃木	31,100	31,000	30,000	29,700	29,700	28,700	28,700	26,400
岐阜	30,500	28,900	28,900	28,900	27,600	27,000	26,600	25,600
静岡	33,300	31,000	29,400	29,400	28,900	28,500	27,600	27,500
三重	25,600	26,900	27,000	27,200	26,200	24,500	22,800	22,300
兵庫	33,000	32,900	30,700	30,600	30,600	30,500	27,200	27,200
奈良	29,900	29,900	30,000	28,900	27,800	26,800	23,800	21,800
和歌山	25,900	25,900	25,900	25,900	25,500	25,500	23,700	22,900
岡山	22,300	22,000	26,200	27,900	24,900	24,400	23,900	22,500
広島	35,900	28,900	28,600	28,200	27,300	26,700	26,800	26,200
愛媛	30,100	29,000	28,200	27,200	28,100	28,200	27,700	24,900
高知	29,900	29,100	27,200	27,400	27,200	26,400	26,800	26,500
熊本	30,300	27,600	27,500	27,100	28,100	28,200	26,800	25,400
大分	27,300	25,100	23,400	19,800	17,600	15,400	19,000	18,700
宮崎	31,200	30,100	27,500	25,300	24,800	25,000	23,900	22,100

資料：農林水産省「木材価格」

注１：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注２：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）

・2021年

単位：円／m³

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
北海道	11,900	12,000	11,900	11,900	11,900	12,500	12,700	12,800	13,100	13,200	13,300	13,300
岩手	17,600	17,600	17,600	17,700	18,300	18,800	20,100	20,100	20,800	20,900	21,000	21,100

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月
北海道	13,700	13,600	13,800	14,000	14,500	15,800	15,500	15,700
岩手	21,200	23,900	25,300	25,500	31,500	32,000	32,200	30,500

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2021年

単位：円／m³

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
岩手	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,900	10,600	11,300	11,700	12,400
宮城	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900	11,100	11,100	11,100	11,600	11,900	13,300	14,400
秋田	10,300	10,300	10,300	10,600	10,500	10,600	10,600	11,200	11,400	11,500	12,900	13,300
島根	11,900	12,700	12,800	12,800	12,900	13,000	13,200	13,800	14,300	14,800	14,900	14,900

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月
岩手	12,600	13,300	14,100	14,100	14,100	15,100	14,500	13,800
宮城	15,300	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
秋田	14,100	16,700	17,200	17,900	17,800	17,800	18,100	17,800
島根	14,300	14,900	15,000	15,300	15,600	15,500	15,700	15,400

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、２級）

・2021年

単位：円／m³

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
千葉	52,900	52,900	52,900	66,800	72,000	98,700	98,700	98,700	98,700	98,700	98,500	88,000
東京	x	x	x	x	66,000	66,000	66,000	61,200	61,200	61,200	61,200	61,200
大阪	55,000	55,000	58,100	61,900	65,000	80,500	92,900	105,800	105,800	105,800	105,800	105,800
福岡	38,900	38,900	38,900	41,800	44,000	53,600	56,900	57,200	57,200	59,300	58,600	58,600

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月
千葉			88,000			88,000
東京			58,800			58,800
大阪			103,100			103,100
福岡			58,600			60,500

※2022年１月より四半期ごとの公表（４月に３月分、７月に６月分、10月に９月分、翌１月に12月分を公表）。次回公表は10月。

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、２級）

・2021年

単位：円／m³

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
埼玉	60,900	61,000	64,100	86,000	97,800	132,500	137,600	138,800	143,200	143,000	142,700	142,300
千葉	69,100	69,400	70,100	86,300	99,000	125,500	147,100	152,300	153,100	153,100	146,900	142,900
東京	71,400	71,400	71,400	71,500	85,900	115,400	142,600	142,900	148,300	148,300	148,300	148,300
神奈川	66,300	68,100	68,500	77,400	79,400	111,200	131,700	152,000	153,000	153,100	153,100	153,100
愛知	71,300	71,300	71,300	80,700	89,100	107,500	121,800	121,800	121,800	121,800	121,600	116,100
大阪	70,600	70,600	70,900	76,800	82,500	99,000	111,200	111,200	111,200	112,500	112,500	112,500
兵庫	70,200	70,200	71,500	79,300	91,500	113,300	128,000	142,700	142,700	142,700	142,700	142,700
福岡	62,000	62,000	62,000	67,400	77,800	93,100	103,900	112,900	113,600	120,400	120,400	120,400

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月
埼玉	125,700	125,200	125,200	125,500	125,500	124,400	123,700	112,200
千葉	146,100	146,100	146,100	140,800	140,800	140,800	140,800	135,500
東京	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,800	148,800
神奈川	153,100	153,000	153,000	153,000	153,000	152,300	151,600	151,500
愛知	116,100	116,100	114,800	114,800	120,100	120,100	120,100	117,300
大阪	111,900	111,900	111,900	112,500	122,300	121,700	121,700	111,900
兵庫	142,900	142,900	142,900	142,900	146,000	143,700	143,700	134,300
福岡	120,400	120,400	120,400	120,400	120,400	120,300	120,300	117,600

資料：農林水産省「木材価格」
注１：2021年８月より、東京都の調査対象が変更になったことから、2021年７月及び８月の東京都のスギ正角の数値は接続しない。
注２：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。
注３：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。
注４：スギ正角の価格は、2022年１月より四半期ごとの公表となった（４月に３月分、７月に６月分、10月に９月分、翌１月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、２級）

・2021年

単位：円／m³

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
千葉	71,900	71,900	71,900	73,900	84,800	86,000	98,200	98,200	98,200	98,200	98,200	98,200
東京	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
愛知	85,400	85,400	85,400	86,700	88,000	92,500	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100
大阪	62,400	62,400	71,300	67,900	72,000	83,200	108,700	118,200	145,700	129,000	129,000	125,800
兵庫	66,800	66,800	67,200	69,500	76,400	79,600	87,400	99,300	120,700	120,400	120,400	116,100
福岡	50,300	50,300	50,300	50,300	55,800	66,000	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月
千葉			98,200			98,100
東京			x			x
愛知			94,800			94,800
大阪			119,700			112,100
兵庫			116,300			114,300
福岡			82,500			86,600

※2022年１月より四半期ごとの公表（４月に３月分、７月に６月分、10月に９月分、翌１月に12月分を公表）。次回公表は10月。

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、２級）

・2021年

単位：円／m³

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
埼玉	78,200	78,200	79,000	91,400	100,900	138,900	147,000	148,000	164,300	168,700	167,900	160,200
千葉	94,000	94,900	95,800	105,500	114,200	131,500	149,300	161,300	161,300	165,900	163,800	164,900
東京	98,900	98,900	98,900	98,900	104,500	121,000	142,900	143,100	159,500	175,800	175,800	175,800
神奈川	78,700	79,000	84,100	94,800	110,500	146,200	178,800	184,700	186,300	187,400	187,400	187,400
愛知	94,700	94,700	94,700	97,500	102,900	113,500	128,100	129,400	142,400	142,900	165,700	161,900
大阪	80,100	80,100	82,800	90,600	98,000	128,900	169,100	192,900	193,800	193,800	193,800	181,100
兵庫	78,900	78,900	79,700	88,600	101,800	113,800	152,600	179,600	188,800	188,400	188,400	180,800

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月
埼玉	145,600	142,500	142,500	142,500	142,500	141,800	139,800	128,600
千葉	171,400	169,100	169,100	164,800	164,800	164,800	164,800	158,100
東京	175,500	175,400	175,400	175,500	175,500	175,500	175,200	175,200
神奈川	187,400	185,300	185,300	185,300	185,300	181,900	178,600	173,300
愛知	159,400	159,400	151,900	149,700	149,700	149,700	137,000	131,600
大阪	176,400	169,900	163,600	162,600	161,700	159,800	154,400	152,600
兵庫	184,800	178,400	173,900	168,100	168,100	161,200	156,600	143,000

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、２級）

・2021年

単位：円／m³

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
埼玉	78,900	78,900	79,900	85,600	98,600	104,600	116,100	129,300	139,300	139,300	141,300	141,300
千葉	78,200	78,500	78,500	85,600	91,900	100,300	119,100	129,800	139,400	139,400	139,400	138,500
神奈川	81,000	82,000	84,500	86,500	95,700	105,600	117,700	133,300	137,400	139,700	139,700	142,200
愛知	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	145,500	136,900
大阪	79,200	79,200	84,200	93,500	96,200	104,500	121,000	121,000	121,000	121,000	121,000	121,000
兵庫	79,200	79,200	80,500	88,000	93,500	103,300	107,700	114,300	121,000	121,000	121,000	121,000

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月
北海道			135,700			138,000
埼玉			144,700			148,800
千葉			139,800			142,400
東京			154,400			154,400
神奈川			142,200			143,100
愛知			158,300			158,300
大阪			121,000			132,000
兵庫			138,500			141,800

※2022年１月より四半期ごとの公表（４月に３月分、７月に６月分、10月に９月分、翌１月に12月分を公表）。次回公表は10月。

資料：農林水産省「木材価格」
注１：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。
注２：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。
注３：ヒノキ正角、米ツガ正角・防腐処理材の価格は、2022年１月より四半期ごとの公表となった
（４月に３月分、７月に６月分、10月に９月分、翌１月に12月分を公表）。

○スギ間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2021年

単位：円／m^3

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
埼玉	60,200	60,900	62,800	78,900	94,600	130,900	133,100	133,100	138,900	136,000	131,200	122,300
千葉	65,300	65,800	66,600	77,100	93,600	136,600	140,900	141,800	142,100	137,500	124,700	119,300
東京	x	x	66,800	71,700	97,200	109,400	112,400	132,000	133,800	133,800	133,800	124,000
神奈川	67,100	67,600	69,800	81,300	88,500	116,900	135,100	140,500	141,600	141,900	141,200	136,800
愛知	68,300	68,300	68,300	79,300	85,400	99,800	112,300	119,200	119,800	119,800	119,300	119,300
大阪	62,700	63,100	63,800	74,800	82,500	89,100	110,000	118,800	121,000	121,000	121,000	112,200
兵庫	68,300	69,400	70,500	77,200	88,300	104,900	131,500	136,800	137,300	137,300	137,100	137,000
広島	85,500	85,800	85,800	95,000	95,000	96,200	97,400	97,400	101,000	101,000	167,200	167,200
福岡	65,700	65,700	65,700	71,700	80,500	101,300	104,800	105,500	105,500	108,900	108,900	107,100

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月
埼玉	115,400	113,300	113,300	116,600	120,600	120,100	116,900	111,200
千葉	120,300	120,300	120,300	120,200	120,200	120,200	120,200	115,200
東京	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	122,200	122,200
神奈川	134,400	132,900	132,900	132,900	132,900	131,800	131,300	128,900
愛知	121,800	119,300	119,300	119,300	120,500	120,500	120,500	113,700
大阪	112,200	112,200	112,200	112,200	121,000	118,800	118,800	110,000
兵庫	137,000	137,000	137,000	137,200	142,400	142,400	137,200	131,900
広島	167,200	167,200	167,200	141,900	138,100	140,800	140,800	140,800
福岡	107,100	107,100	107,100	107,100	106,900	106,900	106,900	105,900

○ホワイトウッド間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2021年

単位：円／m^3

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
埼玉	56,800	58,100	65,400	75,900	89,000	99,200	107,000	116,400	118,700	120,200	120,200	120,200
千葉	75,500	76,800	79,600	93,300	103,500	123,500	131,500	138,700	141,500	147,700	147,700	148,000
東京	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
神奈川	58,900	60,200	66,700	79,500	90,600	107,000	115,900	127,400	132,300	136,900	136,900	139,200
愛知	63,200	63,800	66,300	69,100	78,200	92,900	102,500	112,800	118,400	123,100	125,600	126,900
大阪	x	x	x	x	x	97,700	109,400	119,700	121,000	122,300	127,100	127,100
兵庫	56,700	57,800	59,900	73,500	84,500	99,200	114,300	133,200	133,200	140,600	128,800	128,800
広島	72,200	75,300	78,200	78,800	79,000	91,500	102,100	102,400	124,900	125,200	126,300	126,300

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月
埼玉	111,300	111,300	111,300	121,000	122,400	122,400	119,000	114,700
千葉	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	145,600
東京	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300
神奈川	139,200	137,800	137,800	137,800	138,500	139,000	136,700	136,000
愛知	126,900	128,100	128,100	127,900	127,900	127,200	126,900	126,500
大阪	132,000	132,000	132,000	132,000	132,000	126,900	121,600	115,500
兵庫	140,400	143,200	143,200	143,200	143,200	143,200	140,400	137,500
広島	126,300	126,300	126,300	125,600	121,500	125,600	125,400	124,300

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、１等）

・2021年

単位：円／本

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
宮崎	1,800	1,900	1,900	2,000	2,200	2,700	2,900	3,000	3,200	3,800	4,400	4,400

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月
秋田	x	4,700	4,400	4,400	4,300	4,200	4,000	4,000
宮崎	4,200	4,300	4,300	4,300	4,300	4,400	4,400	4,400

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、１等）

・2021年

単位：円／本

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
岡山	2,000	2,000	2,100	2,300	2,300	2,800	2,900	3,500	4,400	5,100	5,100	5,100

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月
岡山	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	4,900	4,700

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、１類）

・2021年

単位：円／枚

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
埼玉	1,180	1,180	1,190	1,190	1,260	1,320	1,360	1,390	1,510	1,520	1,590	1,760
東京	1,360	1,360	1,360	1,360	1,390	1,410	1,440	1,460	1,510	1,580	1,640	1,760
大阪	1,030	1,030	1,030	1,030	1,060	1,060	1,110	1,150	1,170	1,290	1,330	1,660

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月
埼玉			2,220			2,420
東京			2,140			2,420
大阪			1,840			1,990

※2022年１月より四半期ごとの公表（４月に３月分、７月に６月分、10月に９月分、翌１月に12月分を公表）。次回公表は10月。

資料：農林水産省「木材価格」

注１：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注２：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注３：針葉樹合板の価格は、2022年１月より四半期ごとの公表となった
（４月に３月分、７月に６月分、10月に９月分、翌１月に12月分を公表）。

○チップ用丸太（針葉樹）

・2021年

単位：円／m³

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
北海道	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	7,000
青森	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100
宮城	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
秋田	6,600	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	6,700	6,900	6,700	6,500	6,200	6,000	6,100	6,100	6,200	5,900	6,100	5,900
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,700	5,700	5,700	5,900	6,400	6,500
長野	6,000	6,000	6,000	6,000	6,100	6,200	6,400	6,400	6,400	6,400	6,500	6,800
京都	7,900	8,000	8,000	8,000	8,100	8,300	8,300	8,400	8,400	8,600	8,600	8,600
兵庫	6,300	6,300	6,800	6,800	6,300	6,400	6,500	6,500	6,500	6,600	6,600	6,600
島根	9,200	8,000	9,200	9,300	9,700	9,700	9,700	9,500	9,900	9,600	9,900	9,200
広島	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
高知	5,600	5,700	5,500	5,500	5,700	5,800	5,900	5,600	5,500	5,400	5,300	5,500
熊本	6,200	6,800	6,400	6,300	6,600	6,300	6,600	6,400	7,200	6,500	6,600	6,900
宮崎	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,000	7,900	7,800	7,700
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月
北海道	7,000	7,000	7,000	7,100	7,100	7,300	7,200	7,300
青森	6,500	6,500	6,500	6,800	6,800	6,800	7,000	7,000
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,300	7,300	7,300	7,300
宮城	5,600	5,600	5,600	5,700	5,800	5,800	5,800	5,800
秋田	6,700	6,700	6,700	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	5,400	5,400	6,100	6,200	6,200	6,100	6,100	5,900
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	6,800	6,600	7,000	7,100	6,900	7,200	7,300	7,700
長野	6,800	6,700	6,700	6,700	6,800	6,800	6,800	6,800
京都	8,600	8,600	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
兵庫	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	7,200	7,200
島根	9,700	9,200	9,200	9,700	9,600	9,700	10,100	10,100
広島	5,000	5,000	5,000	5,600	6,000	6,300	6,400	6,500
高知	5,400	5,600	5,500	5,700	5,800	5,400	5,700	5,600
熊本	7,300	7,100	7,000	7,000	7,000	7,800	7,000	6,800
宮崎	7,400	7,400	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,200	8,200

○チップ用丸太（広葉樹）

・2021年

単位：円／m³

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月	9　月	10　月	11　月	12　月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
青森	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
岩手	10,700	10,700	10,500	10,600	10,700	10,700	10,700	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700
秋田	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,900	8,900	8,800	8,900	8,900	8,900	8,800	8,900	8,800	8,800	8,800	8,900
山梨	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	6,000	6,000	6,000	6,200	6,400	6,500
島根	10,600	10,400	10,500	10,500	10,700	10,600	10,500	10,400	10,400	10,300	10,200	10,400
広島	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900
熊本	8,000	8,400	8,300	8,300	8,600	8,800	8,700	8,600	8,700	8,300	8,500	8,300
宮崎	8,600	8,300	8,600	8,400	8,400	8,400	8,500	8,600	8,500	8,400	8,400	8,200
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

・2022年

都道府県	1　月	2　月	3　月	4　月	5　月	6　月	7　月	8　月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,700	9,700	9,900	9,900	9,900
青森	11,600	11,600	11,600	11,900	11,900	11,900	12,100	12,100
岩手	11,000	11,000	11,000	11,100	11,200	11,200	11,200	11,200
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,900	8,900	8,900	8,900
秋田	11,800	11,800	11,800	12,000	12,000	12,400	12,500	12,500
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,700	8,900	8,900	8,900	8,800	8,800	8,800	8,800
山梨	6,600	6,600	6,500	6,500	6,800	6,800	7,000	7,500
島根	10,500	10,300	10,400	10,600	10,600	10,500	10,700	10,800
広島	6,000	6,100	6,100	6,100	6,200	6,200	6,200	6,200
熊本	8,200	8,500	8,400	8,800	9,100	9,000	8,800	8,900
宮崎	8,200	8,200	8,200	8,100	8,500	8,500	8,300	8,300
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

資料：農林水産省「木材価格」
注１：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。
注２：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○木材チップ（針葉樹）

・2021年

単位：円／ｔ

都道府県	１　月	２　月	３　月	４　月	５　月	６　月	７　月	８　月	９　月	10　月	11　月	12　月
北海道	14,700	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900
青森	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600
岩手	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800
宮城	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
秋田	16,100	15,900	16,000	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	16,200	16,200	15,900	15,900
福島	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,100
茨城	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	24,600	22,400	20,900	20,900	20,900
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900
京都	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	18,100	18,100	19,200	19,200	19,200	19,200	19,200
兵庫	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100
岡山	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
広島	13,400	11,500	11,400	11,500	11,500	11,600	11,600	11,600	11,700	11,700	11,600	11,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,100	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100

・2022年

都道府県	１　月	２　月	３　月	４　月	５　月	６　月	７　月	８　月
北海道	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	15,000	15,000
青森	15,600	15,600	15,600	16,200	16,300	16,300	16,700	16,700
岩手	15,800	15,800	15,800	15,900	16,200	16,200	16,200	16,200
宮城	18,600	18,600	18,600	18,800	19,000	19,000	19,000	19,000
秋田	15,900	16,400	16,400	16,500	16,700	16,800	16,800	16,300
福島	18,100	18,100	18,100	18,100	18,400	18,400	18,400	18,400
茨城	7,200	7,200	7,200	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100	18,100
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900
京都	19,200	19,500	19,700	19,700	19,700	19,700	19,900	19,900
兵庫	17,100	17,100	17,100	18,700	18,800	18,800	19,300	19,300
岡山	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,500	14,500	14,600
広島	15,300	15,300	15,600	15,600	15,600	15,800	15,900	15,900
徳島	20,900	20,900	20,900	20,900	21,300	21,300	21,300	21,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,300	19,300	19,300	19,200	19,500	19,500	19,700	19,700
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
鹿児島	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000

○木材チップ（広葉樹）

・2021年

単位：円／ｔ

都道府県	１　月	２　月	３　月	４　月	５　月	６　月	７　月	８　月	９　月	10　月	11　月	12　月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400
青森	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500
岩手	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600
秋田	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,700	20,700	20,700	20,300	20,300
福島	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,100
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	16,000	16,000
島根	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800
広島	20,800	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500
熊本	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000
宮崎	19,700	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

・2022年

都道府県	１　月	２　月	３　月	４　月	５　月	６　月	７　月	８　月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,700	20,700	20,700	20,800	20,800
青森	18,500	18,500	18,500	18,800	18,800	18,800	19,100	19,100
岩手	18,600	18,600	18,600	18,700	19,000	19,000	19,000	19,000
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,800	19,800	19,800	19,800
秋田	20,300	20,300	20,300	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
福島	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100	20,100
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,200	15,600	15,600	15,600	15,900	15,900	16,000	17,400
島根	20,800	20,800	20,800	21,700	22,400	22,400	22,400	22,400
広島	19,700	19,800	19,800	19,700	19,700	19,700	19,700	19,800
熊本	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,600	21,600
宮崎	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,500
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

資料：農林水産省「木材価格」
注１：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。
注２：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

木材需給情報-1　木材需要の動向（2020年木材需給表）

- 木材の総需要量は、74,439千㎥で前年に比べ7,466千㎥（9.1%）減少。用材は、61,392千㎥で前年に比べ9,877千㎥（13.9%）減少。しいたけ原木も242千㎥で前年に比べ9千㎥（3.6%）減少。燃料材は、12,805千㎥で前年に比べ2,419千㎥（23.3%）増加。
- 国内消費量は、71,430千㎥で前年に比べ7,760千㎥（9.8%）減少。この中で、前年に比べて増加したのは、燃料材の2,418千㎥（23.3%）であり、その他は減少。
- 輸出量は、3,009千㎥で前年に比べ294千㎥（10.8%）増加。この中で、前年に比べて増加したのは、丸太の254千㎥（22.5%）、製材品の39千㎥（16.5%）、木材パルプ・チップ等（用材）の18千㎥（1.6%）、燃料材の1千㎥（25.0%）。

木　材　需　要　の　動　向

区分			2020年 数量（千m³）	2020年 構成比（%）	2019年 数量（千m³）	2019年 構成比（%）	対前年増減量（千m³）	対前年増減率（%）
総需要量	用材	製材用材	24,597	33.0	27,619	33.7	△ 3,022	△ 10.9
		パルプ・チップ用材	26,064	35.0	31,579	38.6	△ 5,515	△ 17.5
		合板用材	8,919	12.0	10,474	12.8	△ 1,555	△ 14.8
		その他用材	1,812	2.4	1,597	1.9	215	13.5
		小計	61,392	82.5	71,269	87.0	△ 9,877	△ 13.9
	しいたけ原木		242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6
	燃料材		12,805	17.2	10,386	12.7	2,419	23.3
	計		74,439	100.0	81,905	100.0	△ 7,466	△ 9.1
国内消費	用材	製材用材	24,321	34.0	27,383	34.6	△ 3,062	△ 11.2
		パルプ・チップ用材	24,900	34.9	30,433	38.4	△ 5,533	△ 18.2
		合板用材	8,741	12.2	10,280	13.0	△ 1,539	△ 15.0
		その他用材	426	0.6	462	0.6	△ 36	△ 7.8
		小計	58,387	81.7	68,558	86.6	△ 10,171	△ 14.8
	しいたけ原木		242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6
	燃料材		12,800	17.9	10,382	13.1	2,418	23.3
	計		71,430	100.0	79,190	100.0	△ 7,760	△ 9.8
輸出	用材	丸太	1,384	46.0	1,130	41.6	254	22.5
		製材品等	275	9.2	236	8.7	39	16.5
		木材パルプ・チップ等	1,164	38.7	1,146	42.2	18	1.6
		合板等	179	5.9	194	7.2	△ 15	△ 7.7
		その他	3	0.1	4	0.2	△ 1	△ 25.0
		小計	3,005	99.8	2,711	99.8	294	10.8
	燃料材		5	0.2	4	0.2	1	25.0
	計		3,009	100.0	2,715	100.0	294	10.8

資料：林野庁「木材需給表」
注：１）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。
　　２）輸出の用材の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。
　　３）輸出の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。
　　４）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。
※　2020年から、「用材」の内訳について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材用材」（輸出は「製材品等」）に、再生木材の数量は「パルプ・チップ用材」（輸出は「木材パルプ・チップ等」）に計上することとした。なお、比較のため2019年の数値についても同様の再集計を行った（従来はいずれも「その他用材」（輸出は「その他」に計上））。

木材需給情報-1　木材供給の動向（2020年木材需給表）

- 木材の総供給量は、74,439千㎥で前年に比べ7,466千㎥（9.1%）減少。用材は61,392千㎥となり、前年に比べ9,877千㎥（13.9%）減少。しいたけ原木も242千㎥で前年に比べ9千㎥（3.6%）減少。燃料材は12,805千㎥となり、前年に比べ2,419千㎥（23.3%）増加。
- 国内生産量は、31,149千㎥で前年に比べ161千㎥（0.5%）増加。この中で、前年に比べて増加したのは、燃料材の1,995千㎥（28.8%）であり、その他は減少。
- 輸入量は、43,290千㎥で前年に比べ7,627千㎥（15.0%）減少。この中で、前年に比べ増加量が最も大きかったものは燃料材の424千㎥（12.3%）。

木　材　供　給　の　動　向

区分				2020年 数量（千m³）	2020年 構成比（%）	2019年 数量（千m³）	2019年 構成比（%）	対前年増減量（千m³）	対前年増減率（%）
総供給量	用材	丸太		25,180	33.8	27,804	33.9	△ 2,624	△ 9.4
		林地残材		106	0.1	119	0.1	△ 13	△ 10.9
		輸入木材製品		36,106	48.5	43,346	52.9	△ 7,240	△ 16.7
		小計		61,392	82.5	71,269	87.0	△ 9,877	△ 13.9
	しいたけ原木			242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6
	燃料材			12,805	17.2	10,386	12.7	2,419	23.3
	計			74,439	100.0	81,905	100.0	△ 7,466	△ 9.1
国内生産	用材	丸太		21,874	70.2	23,686	76.4	△ 1,812	△ 7.7
		林地残材		106	0.3	119	0.4	△ 13	△ 10.9
		小計		21,980	70.6	23,805	76.8	△ 1,825	△ 7.7
	しいたけ原木			242	0.8	251	0.8	△ 9	△ 3.6
	燃料材			8,927	28.7	6,932	22.4	1,995	28.8
	計			31,149	100.0	30,988	100.0	161	0.5
輸入	用材	丸太		3,306	7.6	4,118	8.1	△ 812	△ 19.7
		木材製品	製材品等	10,121	23.4	11,345	22.3	△ 1,224	△ 10.8
			木材パルプ	4,997	11.5	5,580	11.0	△ 583	△ 10.4
			木材チップ等	16,646	38.5	21,347	41.9	△ 4,701	△ 22.0
			合板等	4,293	9.9	5,026	9.9	△ 733	△ 14.6
			その他	49	0.1	47	0.1	2	4.3
			細計	36,106	83.4	43,346	85.1	△ 7,240	△ 16.7
		小計		39,412	91.0	47,464	93.2	△ 8,052	△ 17.0
	燃料材			3,878	9.0	3,454	6.8	424	12.3
	計			43,290	100.0	50,917	100.0	△ 7,627	△ 15.0

資料：林野庁「木材需給表」

注：１）林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

２）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

３）輸入の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

４）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※　2020年から、輸入の「木材製品」について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材品等」に、再生木材の数量は「木材チップ等」に計上することとした。なお、比較のため2019年の数値についても同様の再集計を行った（従来はいずれも「その他」に計上）。

木材需給情報-1　木材自給率の動向（2020年木材需給表）

- 用材の自給率は、35.8%で前年に比べて2.4ポイント上昇し、2011年から10年連続の上昇。
- 用材にしいたけ原木及び燃料材を加えた総量の自給率は、41.8%で前年に比べて4.0ポイント上昇し、2011年から10年連続の上昇。1972年の42.7%以来、48年ぶりに40%台に回復。

【参考】木材自給率（%）＝ 国内生産量÷総需要量（※）×100
※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出量」を加えたもの。

木　材　自　給　率　の　動　向

区分				2020年 数量（千m³）	2019年 数量（千m³）	対前年増減量（千m³）	対前年増減率（%）
建築用材等			国内生産	15,810	17,620	△ 1,810	△ 10.3
			輸入	17,706	20,473	△ 2,767	△ 13.5
			総需要量	33,516	38,093	△ 4,577	△ 12.0
			自給率	47.2%	46.3%	0.9ﾎﾟｲﾝﾄ	
	用材	製材用材	国内生産	11,615	12,875	△ 1,260	△ 9.8
			輸入	12,982	14,744	△ 1,762	△ 12.0
			総需要量	24,597	27,619	△ 3,022	△ 10.9
			自給率	47.2%	46.6%	0.6ﾎﾟｲﾝﾄ	
		合板用材	国内生産	4,195	4,745	△ 550	△ 11.6
			輸入	4,724	5,729	△ 1,005	△ 17.5
			総需要量	8,919	10,474	△ 1,555	△ 14.8
			自給率	47.0%	45.3%	1.7ﾎﾟｲﾝﾄ	
非建築用材等			国内生産	15,339	13,368	1,971	14.7
			輸入	25,584	30,444	△ 4,860	△ 16.0
			総需要量	40,923	43,812	△ 2,889	△ 6.6
			自給率	37.5%	30.5%	7.0ﾎﾟｲﾝﾄ	
	用材	ﾊﾟﾙﾌﾟ・ﾁｯﾌﾟ用材	国内生産	4,420	4,651	△ 231	△ 5.0
			輸入	21,644	26,927	△ 5,283	△ 19.6
			総需要量	26,064	31,579	△ 5,515	△ 17.5
			自給率	17.0%	14.7%	2.3ﾎﾟｲﾝﾄ	
		その他用材	国内生産	1,750	1,534	216	14.1
			輸入	62	63	△ 1	△ 1.6
			総需要量	1,812	1,597	215	13.5
			自給率	96.6%	96.0%	0.6ﾎﾟｲﾝﾄ	
	しいたけ原木		国内生産	242	251	△ 9	△ 3.6
			輸入	－	－	－	－
			総需要量	242	251	△ 9	△ 3.6
			自給率	100.0%	100.0%	0.0ﾎﾟｲﾝﾄ	
	燃料材		国内生産	8,927	6,932	1,995	28.8
			輸入	3,878	3,454	424	12.3
			総需要量	12,805	10,386	2,419	23.3
			自給率	69.7%	66.7%	3.0ﾎﾟｲﾝﾄ	
総数			国内生産	31,149	30,988	161	0.5
			輸入	43,290	50,917	△ 7,627	△ 15.0
			総需要量	74,439	81,905	△ 7,466	△ 9.1
			自給率	41.8%	37.8%	4.0ﾎﾟｲﾝﾄ	
	うち用材の計		国内生産	21,980	23,805	△ 1,825	△ 7.7
			輸入	39,412	47,464	△ 8,052	△ 17.0
			総需要量	61,392	71,269	△ 9,877	△ 13.9
			自給率	35.8%	33.4%	2.4ﾎﾟｲﾝﾄ	

資料：林野庁「木材需給表」
注）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。
※　2020年から、「用材」の内訳について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材用材」に、再生木材の数量は「パルプ・チップ用材」に計上することとした。なお、比較のため2019年の数値についても同様に再集計を行った（従来はいずれも「その他用材」に計上）。

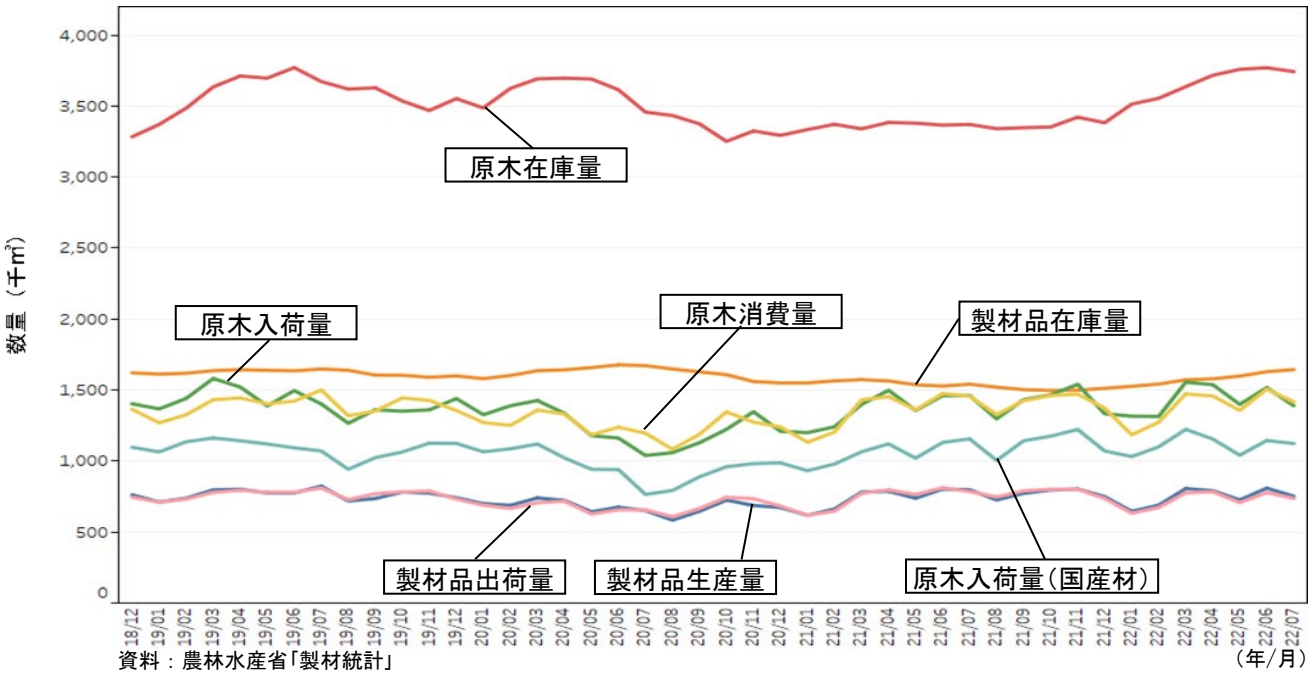
木材需給情報-2　地域の木材需給動向【8月】（各森林管理局からの報告）

局	概況	主な地区の原木価格・出入荷量の動向					
北海道	・カラマツについては、合板向け原木需要が依然として旺盛なため、製材工場や梱包材工場の仕入れ環境は厳しく、慢性的な原木不足が続いている。 ・トドマツについては、特に建築材、産業資材の引き合いが強いが、住宅用製材の動きが鈍くなっている。 ・8月期の国有林材の素材委託販売におけるトドマツ及びカラマツの単価は高値を維持している。	原木価格	樹種	価格（円/m3）	前月比（%）	前年比（%）	前前年比（%）
			カラマツ（北海道）（14～28cm）	15,700	101%	123%	133%
		出入荷量	区分	材積（千m3）	前月比（%）	前年比（%）	前前年比（%）
			素材入荷量（北海道）	180	136%	96%	186%
			製品出荷量（北海道）	82	99%	112%	164%
東北	・スギ原木は、製材・合板工場等の在庫が潤沢にあるため、先月まで高値を維持してきた秋田県北ブロックの中目材についても弱含みに転じた。しかし、夏の大雨の影響で民国とも林道被害が著しく、今後出材量が大きく低下することにより需給が再び引き締まっていくと見込まれる。 ・カラマツは、高値で推移していた岩手県内の荷動きが急激に鈍くなり、価格が弱含んでいる。合板用の需要はあるが、製材との競合が緩んできたこと等もあり、他地域における価格も弱含んでいる。しかし、依然として高水準にある。 ・広葉樹は、出材後の材が傷みやすい時期であるため、引き合い、価格ともに落ち着きが見られる。一部の外材の代替として需要がある材については引き合いが強く、特にナラ、クリ等は尺上材を中心に高値での取引が続いている。 ・低質材は、バイオマス向けの需要は安定しており、価格も横ばいで推移している。また、製紙用の需要があるものの、広葉樹低質材の出材量が少ない状況が続いており、在庫が少ない。 ・高品質材は、近畿・東海地方の市場では良材への手当が一部で見られるものの、季節的な要因と実需の少なさから需給は一服している。価格も高値のものは少ない。	原木価格	樹種	価格（円/m3）	前月比（%）	前年比（%）	前前年比（%）
			スギ（秋田県）（14～22cm）	15,200	101%	119%	143%
			カラマツ（岩手県）（14～28cm）	30,500	95%	152%	170%
		出入荷量	区分	材積（千m3）	前月比（%）	前年比（%）	前前年比（%）
			素材入荷量（秋田県）	49	102%	117%	144%
			製品出荷量（秋田県）	17	89%	81%	89%
関東	・出材はお盆休みの影響で一時的に減少。取引は、製材工場の丸太在庫過多や虫害の懸念から鈍化している。	原木価格	樹種	価格（円/m3）	前月比（%）	前年比（%）	前前年比（%）
			スギ（栃木県）（14～22cm）	15,400	100%	100%	127%
			ヒノキ（栃木県）（14～22cm）	26,400	92%	92%	171%
		出入荷量	区分	材積（千m3）	前月比（%）	前年比（%）	前前年比（%）
			素材入荷量（栃木県）	42	91%	89%	150%
			製品出荷量（栃木県）	24	96%	86%	100%
中部	・原木価格は、ヒノキは9月期の動向に注視が必要。スギは地域によっては若干の下落も見られるが、全体的には高値保合で推移。カラマツは、合板用材等の需要により高値保合での推移となっている。 ・製品価格は、スギでは地域よって若干値を下げているところも見られるが、全体的には高値保合での推移。ヒノキは若干値を下げつつも前月と同程度での推移となっている。	原木価格	樹種	価格（円/m3）	前月比（%）	前年比（%）	前前年比（%）
			スギ（岐阜県）（14～22cm）	18,300	100%	114%	138%
			ヒノキ（岐阜県）（14～22cm）	25,600	96%	83%	158%
		出入荷量	区分	材積（千m3）	前月比（%）	前年比（%）	前前年比（%）
			素材入荷量（岐阜県）	26	104%	118%	163%
			製品出荷量（岐阜県）	14	88%	108%	140%
近畿中国	・原木については、各ブロックにおいて、前月の水準を維持又は下落。 ・製品の市況動向については、山陰ブロックで前月の水準を維持、その他のブロックで前月より下落。	原木価格	樹種	価格（円/m3）	前月比（%）	前年比（%）	前前年比（%）
			スギ（岡山県）（14～22cm）	14,000	98%	98%	141%
			ヒノキ（岡山県）（14～22cm）	22,500	94%	73%	108%
		出入荷量	区分	材積（千m3）	前月比（%）	前年比（%）	前前年比（%）
			素材入荷量（岡山県）	24	92%	96%	120%
			製品出荷量（岡山県）	14	100%	93%	108%
四国	・スギは大きな変動もなく3m材を中心に買い意欲旺盛で全体に好調を維持しているが、一部で中目以外のところで買い控えも見られている。 ・ヒノキは製品需要に先行き不透明感があること等から、全体的に弱含みで推移している。	原木価格	樹種	価格（円/m3）	前月比（%）	前年比（%）	前前年比（%）
			スギ（愛媛県）（14～22cm）	20,800	100%	104%	178%
			ヒノキ（高知県）（14～22cm）	26,500	99%	78%	167%
		出入荷量	区分	材積（千m3）	前月比（%）	前年比（%）	前前年比（%）
			素材入荷量（高知県）	23	46%	62%	100%
			製品出荷量（高知県）	18	90%	100%	120%
九州	・8月の原木出材状況は、盆休み等の影響もあり全体的に少ない傾向。価格は7月は下落基調だったが、出材が少なかったこともありスギは強含み、ヒノキは横這い。 ・合板用の4m曲・大曲が強含み、燃料用材は不足感から引き合いが強い状況。 ・製材品は手当買いが中心で荷動きが鈍く、相場は弱含み。原木輸出は、円安やフレートが下がったことなどもあり輸出量は増加傾向。	原木価格	樹種	価格（円/m3）	前月比（%）	前年比（%）	前前年比（%）
			スギ（※）	17,958	99%	94%	132%
			ヒノキ（※）	21,158	98%	67%	137%
		出入荷量	区分	材積（千m3）	前月比（%）	前年比（%）	前前年比（%）
			素材入荷量	319	90%	92%	128%
			製品出荷量	165	90%	91%	109%

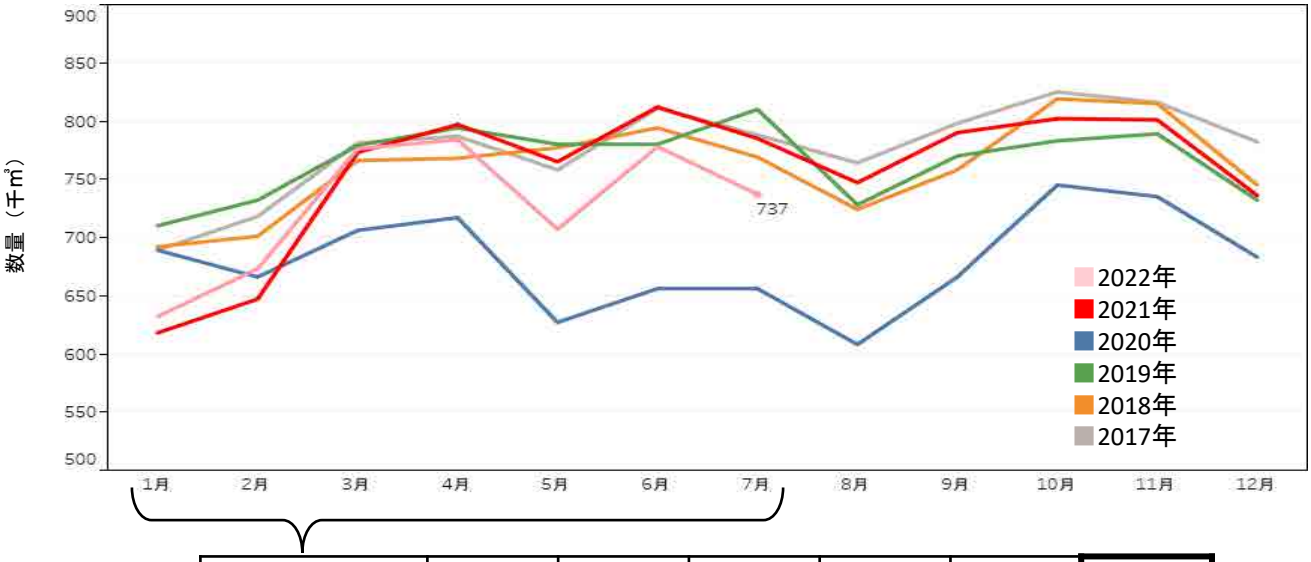
資料：農林水産省「木材価格」「製材統計」
※1 九州地区のスギ及びヒノキの原木価格は、九州管内６市場の3m16～18cm直材及び4m18～22cm直材の平均単価。
※2 九州地区の素材入荷量及び製品出荷量は、福岡県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の合計。

木材需給情報-3　製材工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2022年１～７月の原木の入荷量は10,028千㎥（2019年比98%）。
- 同様に製材品の出荷量は5,087千㎥（2019年比94%）。



○製材品出荷量の月別推移（全国）

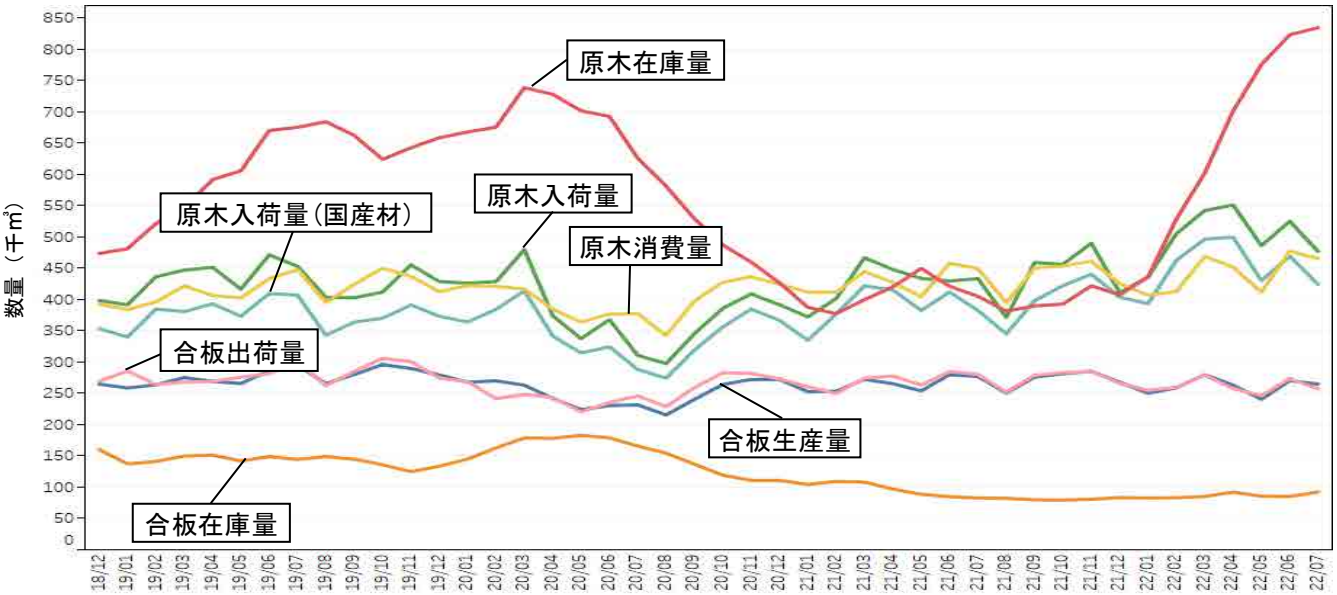


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～7月原木入荷量合計（千m3）	9,738	9,702	10,196	8,857	9,617	10,028
2019年との比較※	96%	95%	—	87%	94%	98%
1～7月出荷量合計（千m3）	5,332	5,267	5,385	4,717	5,197	5,087
2019年との比較※	99%	98%	—	88%	97%	94%

※2019年の数値を100%とした比較

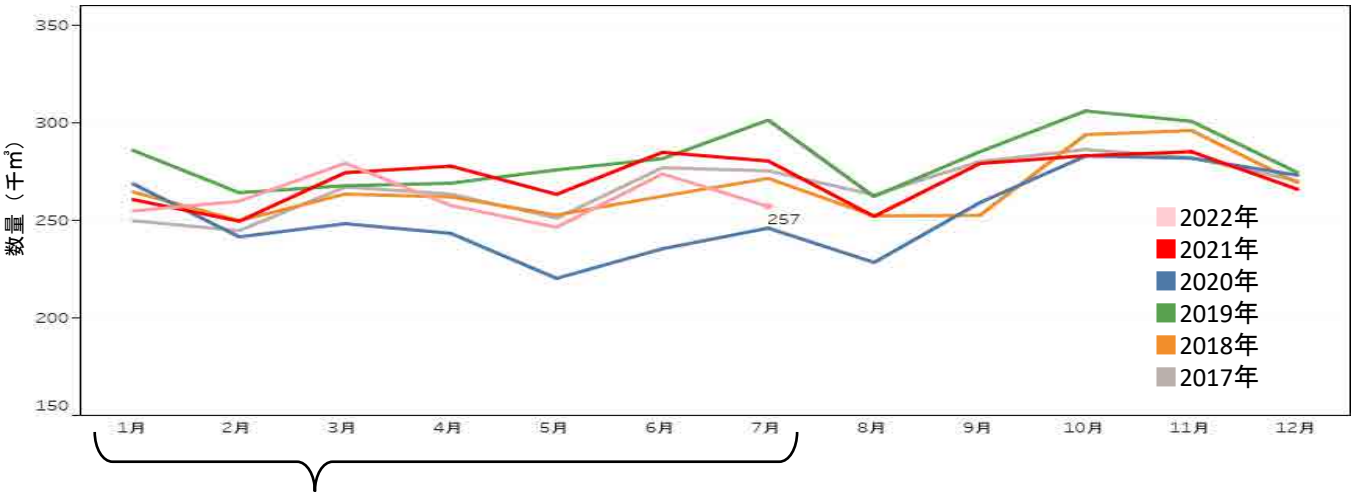
木材需給情報-4　合板工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2022年１～7月の原木の入荷量は3,522千㎥（2019年比115%）。現在の原木在庫量は高い水準になっている。
- 同様に合板の出荷量は1,828千㎥(2019年比94%)。合板在庫量は2020年５月から減少傾向に転じ、現在は低い水準で推移。



資料：農林水産省「合板統計」

○合板出荷量の月別推移（全国）

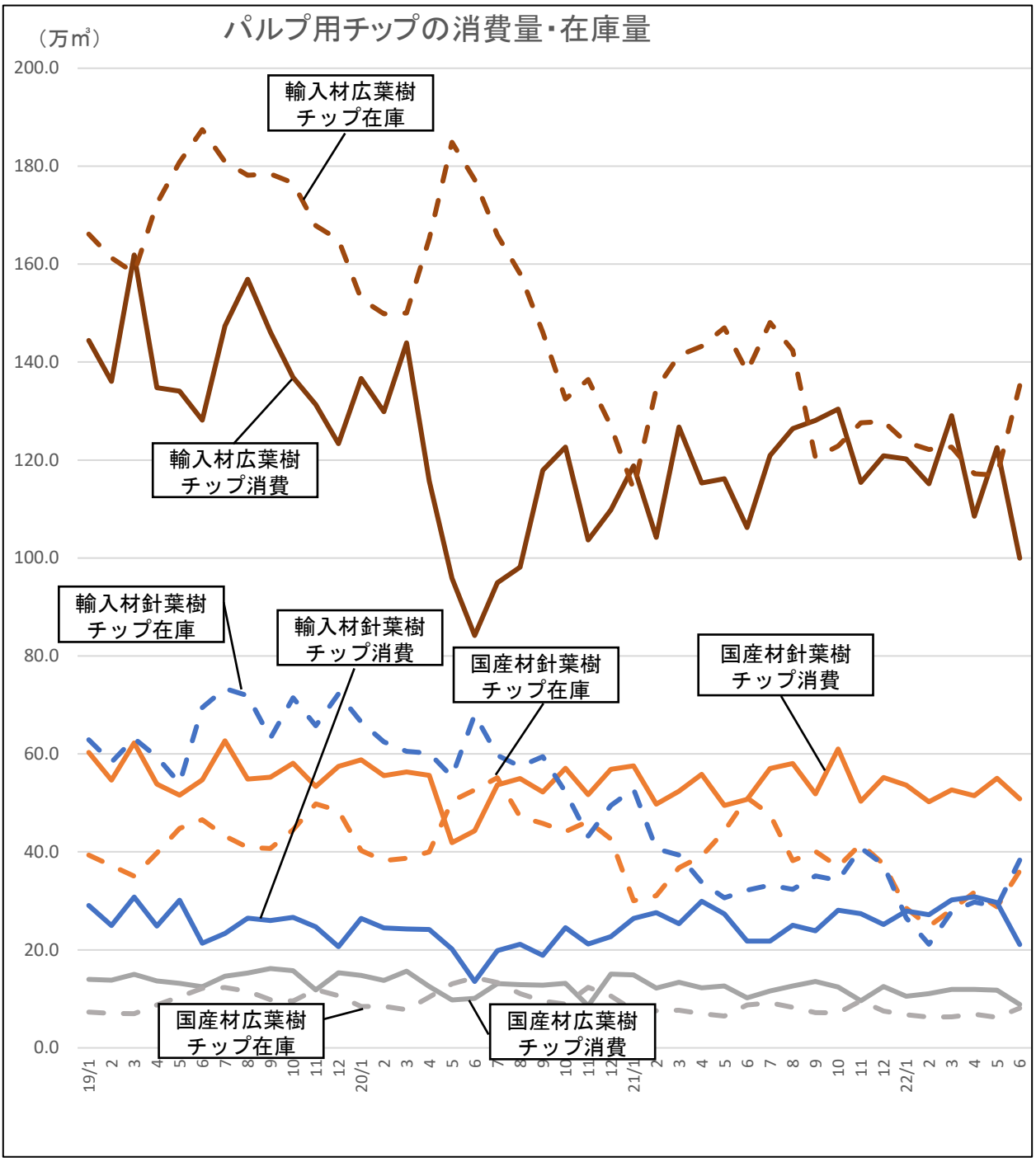


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～7月原木入荷量合計(千m3)	2,677	2,931	3,067	2,724	2,985	3,522
2019年との比較※	87%	96%	—	89%	97%	115%
1～7月出荷量合計(千m3)	1,828	1,826	1,945	1,703	1,890	1,828
2019年との比較※	94%	94%	—	88%	97%	94%

※2019年の数値を100%とした比較

木材需給情報-5　チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向

- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年４月から６月まで激減した。その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年５月に大きく減少したが、その後回復した。

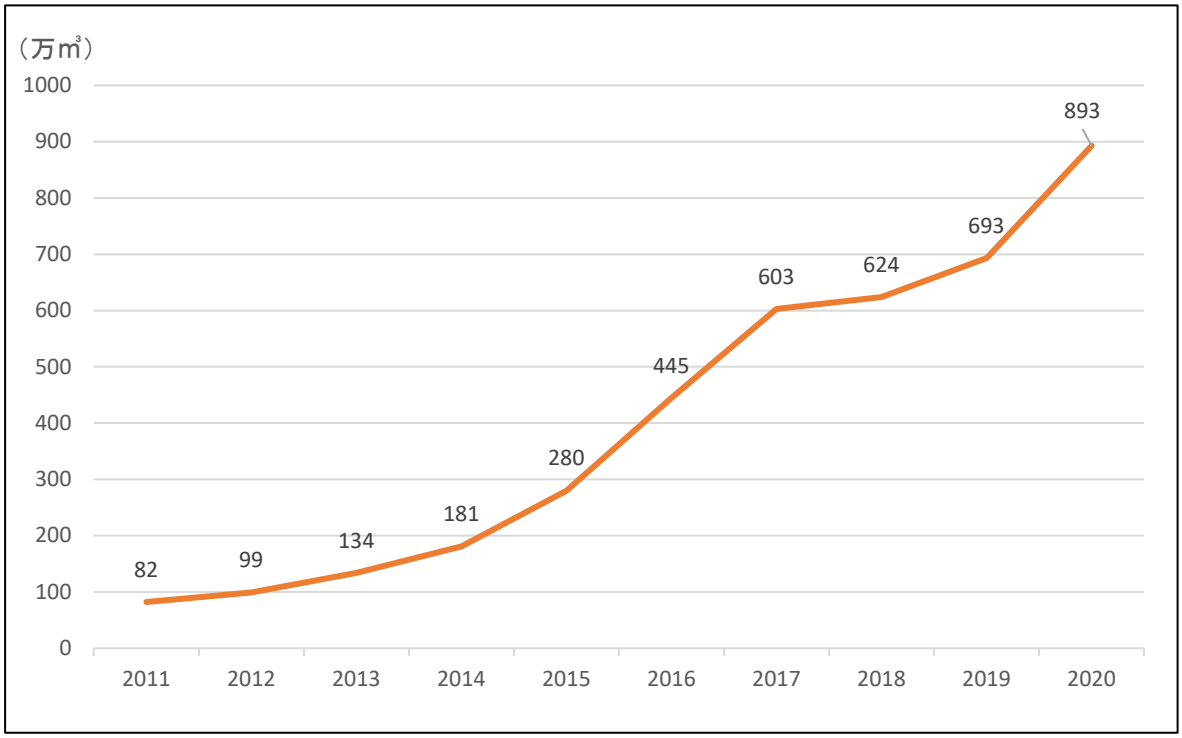


資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報　紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

木材需給情報-6　木質バイオマス燃料利用量、紙品種別生産高

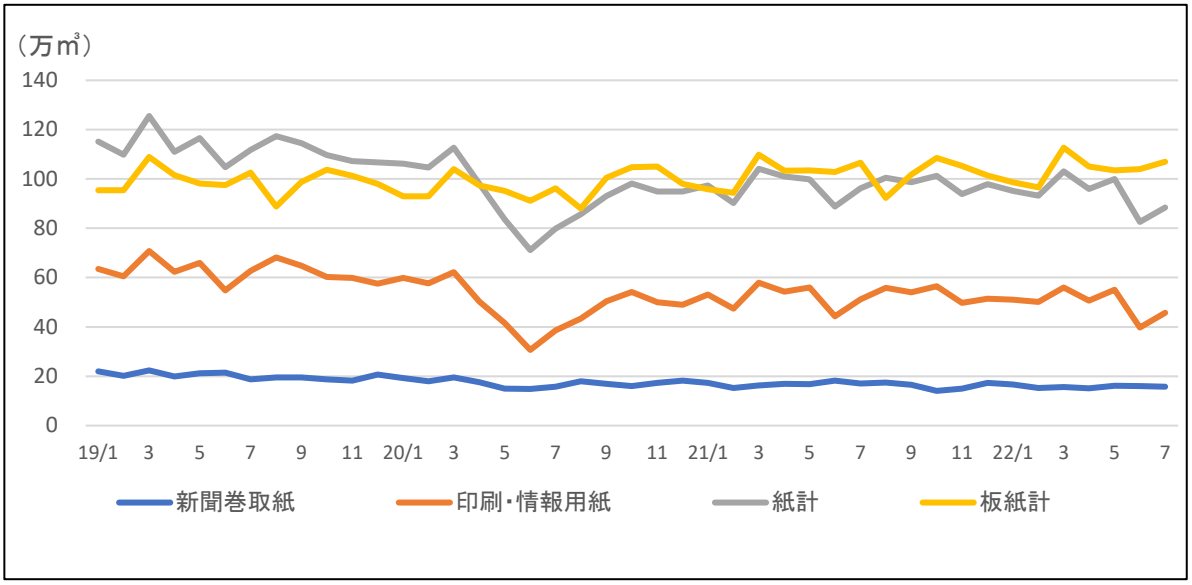
- 木質バイオマス燃料利用量は、主として発電向けで増加傾向が続いている。
- 紙の生産高は2020年６月に減少したが、その後一定程度回復している。

○木質バイオマス燃料利用量（国産未利用材）



資料：木材利用課調べ（～平成26年）、林野庁「木材需給表」（平成27年～）

○紙品種別生産高



資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報　紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

木材需給情報-7　素材生産量（2021年）

- 2021年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量は2,185万m3。

単位：千m^3

全国・都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹	スギ	広葉樹
全国	21,847	12,861	4,661	4,325	20,088	12,917	1,759
北海道	3,163	1,630	652	881	2,615	63	548
青森	971	360	397	214	924	812	47
岩手	1,431	525	547	359	1,228	770	203
宮城	627	218	292	117	588	538	39
秋田	1,183	486	554	143	1,109	1,095	74
山形	305	223	75	7	302	291	3
福島	890	444	64	382	756	568	134
茨城	401	320	4	77	374	254	27
栃木	658	463	5	190	571	396	87
群馬	252	162	31	59	240	179	12
埼玉	67	31	x	x	43	25	24
千葉	50	16	4	30	35	28	15
東京	64	17	8	39	58	37	6
神奈川	10	8	x	x	9	6	1
新潟	119	81	23	15	112	111	7
富山	112	57	21	34	96	90	16
石川	108	52	37	19	98	85	10
福井	122	57	30	35	120	114	2
山梨	125	27	x	x	104	27	21
長野	460	188	207	65	453	106	7
岐阜	385	256	80	49	381	211	4
静岡	608	199	99	310	608	248	0
愛知	139	96	28	15	127	76	12
三重	277	189	81	7	276	122	1
滋賀	72	15	14	43	57	40	15
京都	159	51	41	67	140	98	19
大阪	x	7	−	x	10	6	x
兵庫	301	98	143	60	287	189	14
奈良	125	107	x	x	125	67	0
和歌山	206	138	24	44	201	129	5
鳥取	232	83	101	48	211	163	21
島根	346	120	124	102	289	204	57
岡山	427	348	23	56	389	100	38
広島	347	152	81	114	267	136	80
山口	221	123	46	52	198	135	23
徳島	333	175	x	x	321	263	12
香川	13	5	−	8	8	1	5
愛媛	563	528	3	32	563	342	−
高知	519	x	x	94	516	254	3
福岡	402	343	7	52	395	353	7
佐賀	130	109	1	20	119	66	11
長崎	139	77	12	50	120	59	19
熊本	938	752	123	63	907	686	31
大分	1,129	892	210	27	1,116	929	13
宮崎	2,042	1,830	164	48	2,026	1,931	16
鹿児島	664	417	132	115	596	514	68
沖縄	x	x	−	x	0	−	x

資料：農林水産省「令和３年木材統計」
「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの

木材需給情報-8　木材生産の産出額（2020年）

- 2020年の木材生産の都道府県別木材生産の産出額の合計は1,944億円。

単位：1,000万円

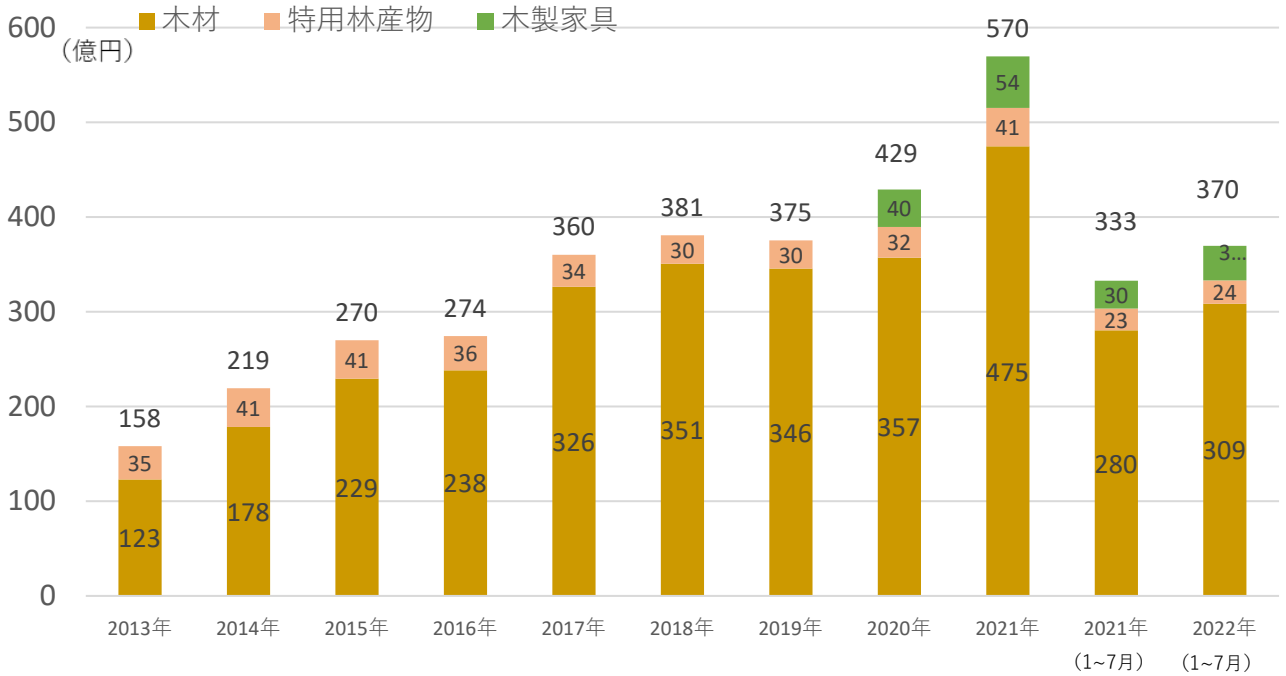
都道府県	木材生産	針葉樹	スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ	広葉樹	竹材
北海道	2,793	2,318	30	－	－	2,260	475	－
青森	744	679	540	0	43	60	65	－
岩手	1,307	1,035	551	0	155	329	259	－
宮城	438	406	375	4	21	4	30	2
秋田	1,002	905	871	－	2	28	95	－
山形	245	240	228	0	2	9	5	0
福島	688	606	478	71	26	28	80	－
茨城	392	368	252	114	1	0	24	－
栃木	587	551	363	185	1	1	30	2
群馬	172	168	115	19	1	31	4	－
埼玉	45	28	18	10	0	0	17	－
千葉	41	26	21	4	－	－	12	3
東京	19	16	7	9	－	0	2	－
神奈川	11	10	5	5	－	0	1	－
新潟	103	96	96	0	0	0	6	0
富山	71	67	64	1	1	1	4	－
石川	132	115	93	6	8	1	16	0
福井	102	97	94	1	1	0	5	0
山梨	104	86	21	9	15	34	13	－
長野	463	436	59	95	32	240	17	－
岐阜	456	444	250	179	3	11	11	－
静岡	307	304	135	165	1	2	2	－
愛知	208	207	99	90	0	15	2	－
三重	320	316	131	182	0	－	4	－
滋賀	44	36	26	10	0	0	7	1
京都	116	94	66	23	0	－	17	5
大阪	5	5	3	2	0	－	0	－
兵庫	204	193	124	65	1	0	11	0
奈良	147	147	72	74	0	－	0	0
和歌山	140	134	73	61	0	－	4	2
鳥取	226	211	167	39	4	0	16	－
島根	397	321	255	52	14	0	76	－
岡山	446	435	68	363	3	－	8	3
広島	274	232	115	106	11	0	41	－
山口	230	209	140	67	2	－	20	1
徳島	281	275	214	60	1	－	6	0
香川	8	7	2	5	0	－	－	1
愛媛	550	549	260	287	2	－	－	0
高知	500	496	243	250	3	－	3	1
福岡	187	177	128	48	1	－	9	1
佐賀	125	115	67	48	0	－	9	0
長崎	100	81	30	52	－	－	18	－
熊本	1,142	1,108	739	366	3	－	26	8
大分	1,038	1,020	833	186	0	－	7	5
宮崎	1,977	1,950	1,814	131	4	－	26	－
鹿児島	548	475	405	62	1	－	58	15
沖縄	2	0	－	－	－	－	2	－
合計	19,437	17,796	10,739	3,506	364	3,055	1,541	49

資料：農林水産省「令和２年林業産出額」
注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場に直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。
また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

林産物輸出入情報- 1　林産物輸出額

- 令和４年７月の林産物の輸出額は58億円（前年同月比111%）となった。
- 内訳としては木材が48億円（同107%）、特用林産物が４億円（同119%）、木製家具が７億円（同155%）となった。
- １～７月の累計は、370億円（対前年同期比111%）となった。

○林産物輸出の推移



資料：財務省「貿易統計」

※特用林産物には、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。

※2020年の（388）は品目の見直しによる追加品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を含まない数字。

※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

（億円）

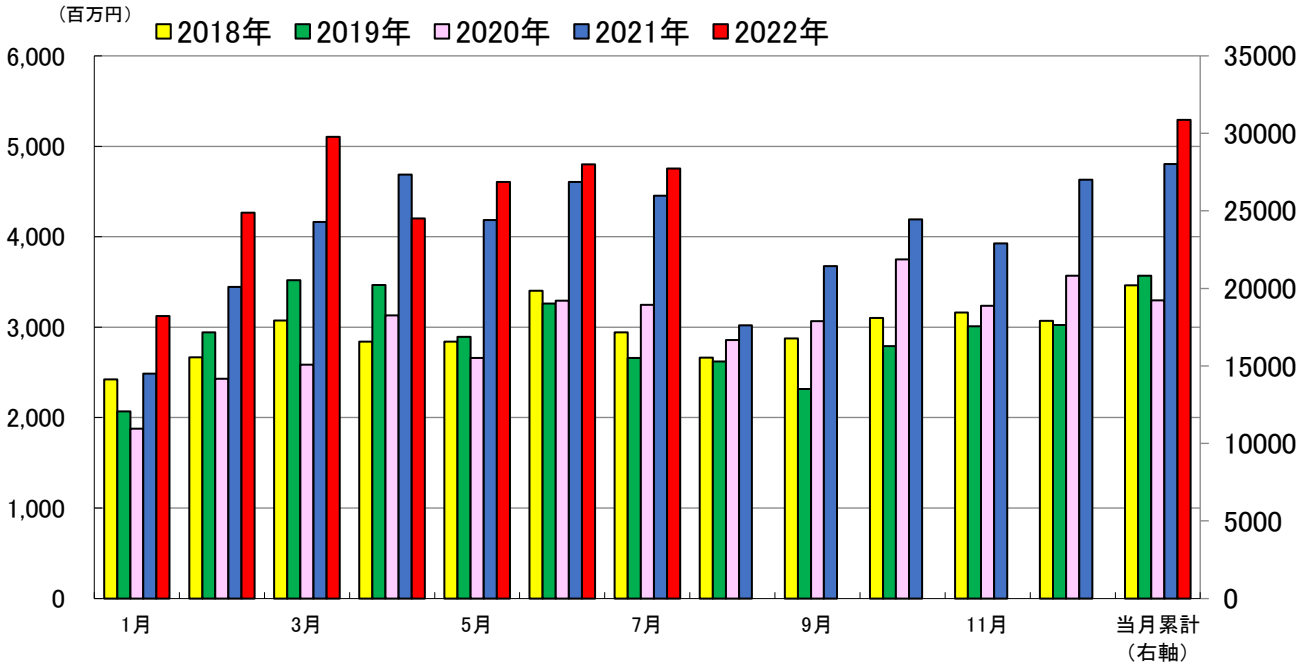
	2021年				2022年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	31	25	3	3	37	119%	157%	31	3	4
2月	41	34	4	3	50	121%	164%	43	3	4
3月	51	42	4	5	61	121%	192%	51	4	6
4月	55	47	3	5	51	92%	138%	42	3	5
5月	49	42	3	4	55	113%	176%	46	3	5
6月	54	46	3	5	58	107%	154%	48	4	6
7月	52	45	3	4	58	111%	156%	48	4	7
8月	37	30	3	5						
9月	45	37	3	5						
10月	52	42	4	5						
11月	48	39	4	5						
12月	55	46	4	5						
7月累計	**333**	**280**	**23**	**30**	**370**	**111%**	**161%**	**309**	**24**	**37**

資料：財務省貿易統計

林産物輸出入情報-２　木材輸出額

- 令和４年（2022年）7月の輸出額は47.6億円（前年同月比107%）となった。2022年（１～7月）の累計は309億円（前年同月比110%）となった。
- 特に丸太輸出額については、中国向けが前年同期と比較して減少する一方で台湾向けが伸びている。また、米国向け製材が減少し、フィリピン向け合板の輸出額が増加している。

○木材輸出額の推移（月別）



○木材輸出額の推移（主な国別・品目別）

輸出先	単月　7月					累計1～7月				
	輸出額	前年比	主要品目内訳（百万円）前年比（%）			輸出額	前年比	主要品目内訳（百万円）前年比（%）		
	（百万円）	（%）	丸太	製材	合板	（百万円）	（%）	丸太	製材	合板
中国	2,194	101%	1,680 97%	187 151%	36 59%	12,692	92%	9,715 88%	984 108%	232 70%
韓国	340	80%	197 76%	57 91%	4 59%	2,312	102%	1,342 101%	366 91%	26 105%
台湾	286	167%	137 161%	106 200%	0 0%	1,781	125%	981 115%	433 124%	2 11%
米国	539	120%	0 —	172 56%	0 —	3,567	111%	0 —	1,997 85%	11 156%
フィリピン	1,103	115%	0 —	215 87%	761 121%	8,322	157%	0 —	2,170 185%	5,438 141%
その他	294	105%	32 73%	57 152%	0 8%	2,187	108%	181 57%	349 152%	24 46%
総計	4,756	107%	2,046 97%	794 95%	802 114%	30,861	110%	12,218 91%	6,299 116%	5,733 134%

※資料：財務省貿易統計（第４４類を集計）
※四捨五入により、数値が合わないことがある。

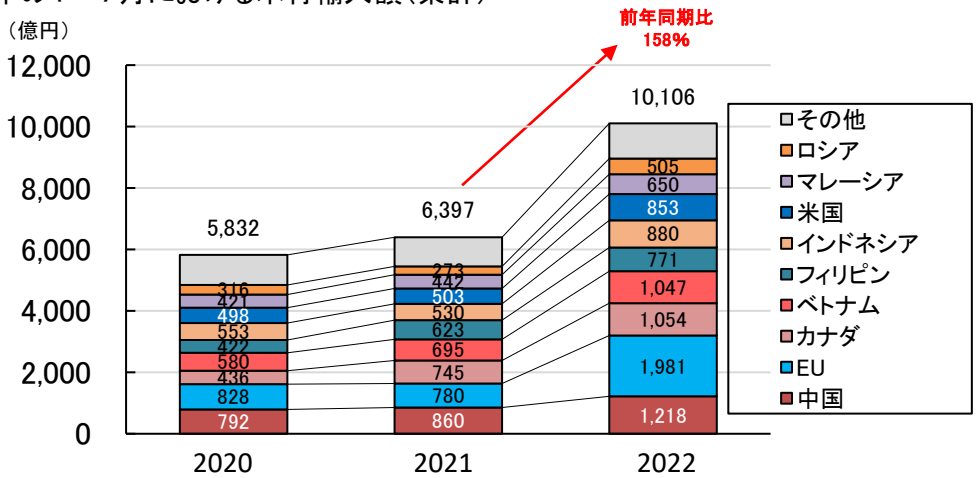
林産物輸出入情報-３　木材輸入額

- 2022年７月の木材輸入額は、前月比102%、前年同月比149%の1,578億円となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国（前年輸入額に占めるシェア14%）が97%、カナダ（同12%）が82%、米国（同7%）が93%と減少する一方、ＥＵ（同14%）が110%、ベトナム（同10%）が110%、フィリピン（同9%）が102%、インドネシア（同8%）が125%と増加した。
- 前年同月比で見ると、カナダが88%と減少する一方、ＥＵが219%、中国が148%、ベトナムが168%、フィリピンが123%、インドネシアが159%、米国が214%など軒並み増加した。

（億円）

年 / 国名	2021年（1月～12月）	月別金額 2022年6月	2022年7月	前月比	前年同月比	累計金額 2021年1～7月	2022年1～7月	前年同期比
世界計	12,291	1,548	1,578	102%	149%	6,397	10,106	158%
ＥＵ	1,712	272	300	110%	219%	780	1,981	254%
（フィンランド）	557	74	88	118%	210%	247	636	257%
（スウェーデン）	399	74	62	83%	191%	168	449	268%
中　国	1,663	214	207	97%	148%	860	1,218	142%
カナダ	1,514	175	144	82%	88%	745	1,054	141%
ベトナム	1,268	171	188	110%	168%	695	1,047	151%
フィリピン	1,123	116	118	102%	123%	623	771	124%
インドネシア	1,029	117	146	125%	159%	530	880	166%
米　国	914	154	143	93%	214%	503	853	170%
マレーシア	769	85	105	123%	154%	442	650	147%
ロシア	634	72	67	93%	138%	273	505	185%
その他	1,664	172	160	93%	116%	946	1,148	121%
我が国の総輸入額	845,898	100,189	101,892	102%	147%	458,020	640,625	140%
我が国の総輸入額に占める木材輸入額の割合	1.45%	1.54%	1.55%			1.40%	1.58%	

○2020～2022年の１～７月における木材輸入額（累計）

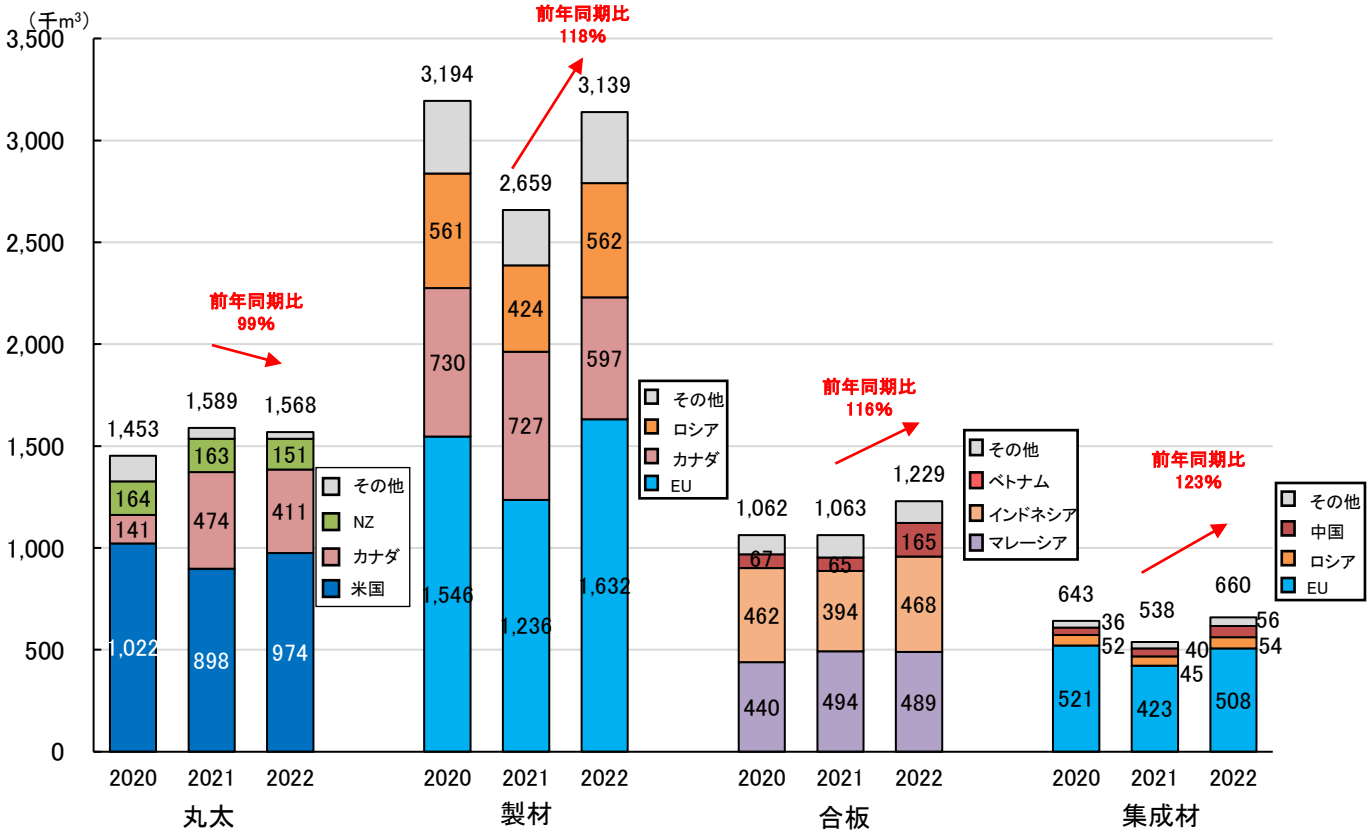


資料：財務省貿易統計
注１：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。
　２：EUに英国は含まない。
　３：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

林産物輸出入情報- 3　木材輸入量（累計）

- 2022年1～7月における品目別の輸入量は、前年同期比で丸太が99%と減少する一方で、製材が118%、合板が116%、集成材が123%と、増加した。
- なお、2020年同期と比較すると、丸太が108%、製材が98%、合板が116%、集成材が103%。

〇2020～2022年の1～7月における品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計

（注）2022年2月のエクアドルからの丸太（4403.99-990号）輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

林産物輸出入情報-4　木材輸入量（丸太）

- 2022年７月の丸太輸入量は、前月比59%、前年同月比76%の16万m3となった。
- 国別に、前月比で見ると、米国（前年輸入量に占めるシェア57%）が66%、カナダ（同28%）が44%、ニュージーランド（同12%）が57%と軒並み減少した。
- 前年同月比で見ると、カナダが42%、ニュージーランドが75%と減少する一方、米国が109%と増加した。

（単位：千m³）

年 / 材種 国名	2021年（1月～12月）	月別数量 2022年6月	月別数量 2022年7月	月別数量 前月比	月別数量 前年同月比	累計数量 2021年1～7月	累計数量 2022年1～7月	累計数量 前年同期比
合　計	[100%] 2,639	[100%] 274	[100%] 163	59%	76%	[100%] 1,589	[100%] 1,568	99%
米　材	[86%] 2,257	[89%] 244	[90%] 146	60%	81%	[86%] 1,372	[88%] 1,385	101%
米国	[57%] 1,511	[63%] 172	[70%] 114	66%	109%	[57%] 898	[62%] 974	108%
カナダ	[28%] 746	[26%] 72	[20%] 32	44%	42%	[30%] 474	[26%] 411	87%
南洋材	[1%] 21	[0%] 0	－	0%	0%	[1%] 14	[0%] 7	54%
インドネシア	[0%] 0	[0%] 0	－	0%	－	[0%] 0	[0%] 0	皆増
マレーシア	[0%] 8	－	－	－	0%	[1%] 8	[0%] 7	92%
パプアニューギニア	[0%] 13	－	－	－	－	[0%] 6	－	0%
ロシア材	[1%] 35	－	－	－	0%	[2%] 25	[0%] 7	27%
ニュージーランド材	[12%] 306	[10%] 26	[9%] 15	57%	75%	[10%] 163	[10%] 151	92%
欧州材	[1%] 13	[1%] 2	[1%] 2	79%	238%	[1%] 10	[1%] 13	128%
EU　計	[1%] 13	[1%] 2	[1%] 2	76%	237%	[1%] 10	[1%] 13	127%
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	64%	277%	[0%] 1	[0%] 1	123%
中　国	[0%] 1	[0%] 1	[0%] 0	4%	34%	[0%] 1	[0%] 1	211%
その他	[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0	49%	129%	[0%] 2	[0%] 2	140%

資料：財務省貿易統計
注１：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。
　２：米材は米国、カナダより輸入された材。
　３：南洋材はｲﾝﾄﾞﾈｼｱ、ﾏﾚｰｼｱ、ﾊﾟﾌﾟｱﾆｭｰｷﾞﾆｱ、ｿﾛﾓﾝ諸島、ﾌｨﾘﾋﾟﾝ、ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ、ﾌﾞﾙﾈｲの７か国より輸入された材。
　４：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。
　５：数量の上段の[　]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
　６：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。
　７：「－」は輸入実績なし等。
　８：EUに英国は含まない。
　９：2022年2月のエクアドルからの丸太（4403.99-990号）輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

林産物輸出入情報-4　木材輸入量（製材）

- 2022年７月の製材輸入量は、前月比97%、前年同月比101%の43万m3となった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア25%）が81%、ロシア（同18%）が84%と減少する一方、EU（同44%）が103%と増加した。
- 前年同月比で見ると、カナダが52%と減少する一方、ロシアが115%、EUが121%と増加した。

（単位：千m³）

年 / 材種 国名	2021年（1月～12月）	月別数量 2022年6月	2022年7月	前月比	前年同月比	累計数量 2021年1～7月	2022年1～7月	前年同期比
合　計	[100%] 4,830	[100%] 442	[100%] 429	97%	101%	[100%] 2,659	[100%] 3,139	118%
米　材	[28%] 1,361	[21%] 94	[18%] 78	82%	57%	[30%] 804	[21%] 674	84%
米国	[3%] 135	[3%] 13	[3%] 12	91%	113%	[3%] 78	[2%] 77	99%
カナダ	[25%] 1,226	[18%] 82	[15%] 66	81%	52%	[27%] 727	[19%] 597	82%
南洋材	[1%] 56	[1%] 5	[1%] 4	84%	101%	[1%] 33	[1%] 36	110%
インドネシア	[0%] 20	[0%] 1	[0%] 1	105%	79%	[0%] 11	[0%] 12	108%
マレーシア	[1%] 34	[1%] 3	[1%] 3	78%	126%	[1%] 20	[1%] 23	113%
パプアニューギニア	[0%] 0	[0%] 0	－	0%	－	[0%] 0	[0%] 0	65%
ロシア材	[18%] 846	[20%] 89	[18%] 75	84%	115%	[16%] 424	[18%] 562	132%
ニュージーランド材	[1%] 57	[1%] 5	[1%] 3	61%	56%	[1%] 30	[1%] 28	94%
チリ材	[5%] 226	[3%] 14	[5%] 23	170%	188%	[4%] 101	[5%] 164	161%
欧州材	[46%] 2,210	[51%] 228	[55%] 236	104%	121%	[46%] 1,236	[52%] 1,632	132%
EU　計	[44%] 2,148	[51%] 225	[54%] 230	103%	121%	[45%] 1,205	[51%] 1,595	132%
（スウェーデン）	[16%] 756	[22%] 95	[17%] 73	76%	103%	[16%] 422	[18%] 563	134%
（フィンランド）	[15%] 729	[14%] 63	[17%] 74	116%	126%	[15%] 402	[16%] 504	125%
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	102%	225%	[0%] 1	[0%] 1	86%
中　国	[1%] 64	[1%] 7	[2%] 8	128%	171%	[1%] 24	[1%] 36	150%
その他	[0%] 9	[0%] 1	[0%] 1	98%	66%	[0%] 5	[0%] 5	106%

資料：財務省貿易統計
注１：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。
　２：米材は米国、カナダより輸入された材。
　３：南洋材はｲﾝﾄﾞﾈｼｱ、ﾏﾚｰｼｱ、ﾊﾟﾌﾟｱﾆｭｰｷﾞﾆｱ、ｿﾛﾓﾝ諸島、ﾌｨﾘﾋﾟﾝ、ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ、ﾌﾞﾙﾈｲの７か国より輸入された材。
　４：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。
　５：数量の上段の[　　]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
　６：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。
　７：「－」は輸入実績なし等。
　８：EUに英国は含まない。

林産物輸出入情報-4　木材輸入量（合板、木材チップ）

- 2022年７月の合板輸入量は、前月比106%、前年同月比114%の18万m3となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国（前年輸入量に占めるシェア7%）が74%と減少する一方、マレーシア（同43%）が115%、インドネシア（同38%）が130%と増加した。
- 前年同月比で見ると、マレーシアが95%と減少する一方、インドネシアが119%、中国が238%と増加した。

（単位：千m³）

国名＼年	2021年（1月～12月）	月別数量 2022年6月	2022年7月	前月比	前年同月比	累計数量 2021年1～7月	2022年1～7月	前年同期比
総輸入量	[100%] 1,865	[100%] 171	[100%] 182	106%	114%	[100%] 1,063	[100%] 1,229	116%
マレーシア	[43%] 795	[36%] 61	[39%] 71	115%	95%	[46%] 494	[40%] 489	99%
インドネシア	[38%] 715	[31%] 52	[37%] 68	130%	119%	[37%] 394	[38%] 468	119%
ベトナム	[11%] 207	[11%] 18	[8%] 15	83%	93%	[10%] 102	[8%] 97	95%
中　国	[7%] 133	[22%] 37	[15%] 28	74%	238%	[6%] 65	[13%] 165	254%
EU	[0%] 6	[0%] 0	[0%] 1	118%	135%	[0%] 4	[0%] 4	90%
その他	[0%] 9	[1%] 1	[0%] 1	44%	124%	[0%] 4	[0%] 6	138%

注１：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。
　２：数量の上段の[　　]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
　３：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。
　４：EUに英国は含まない。

- 2022年７月の木材チップ輸入量は、前月比99%、前年同月比98%の90万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、オーストラリア（前年輸入量に占めるシェア18%）が73%、チリ（同10%）が46%と減少する一方、ベトナム（同38%）が111%と増加した。
- 前年同月比で見ると、チリが21%と減少する一方、ベトナムが106%、オーストラリアが103%と増加した。

（単位：千トン）

国名＼年	2021年（1月～12月）	月別数量 2022年6月	2022年7月	前月比	前年同月比	累計数量 2021年1～7月	2022年1～7月	前年同期比
総輸入量	[100%] 10,996	[100%] 910	[100%] 898	99%	98%	[100%] 6,479	[100%] 6,529	101%
ベトナム	[38%] 4,132	[38%] 350	[43%] 389	111%	106%	[37%] 2,387	[38%] 2,506	105%
オーストラリア	[18%] 1,947	[21%] 190	[16%] 140	73%	103%	[19%] 1,218	[18%] 1,163	96%
チ　リ	[10%] 1,060	[7%] 63	[3%] 29	46%	21%	[11%] 704	[9%] 571	81%
南アフリカ共和国	[9%] 1,026	[11%] 97	[10%] 88	91%	92%	[9%] 559	[9%] 590	106%
米　国	[7%] 811	[7%] 61	[11%] 103	169%	202%	[7%] 468	[8%] 553	118%
その他	[18%] 2,020	[16%] 149	[17%] 150	100%	115%	[18%] 1,144	[18%] 1,146	100%

注１：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。
　２：数量の上段の[　　]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
　３：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。
資料：財務省貿易統計

林産物輸出入情報-4　木材輸入量（集成材）

- 2022年７月の集成材輸入量は、前月比110%、前年同月比109%の9.6万m3となった。構造用集成材に限ると、前月比112%、前年同月比111%の8.4万m3となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国(前年輸入量に占めるシェア10%)が99%と減少する一方、EU（同76%）が112%、ロシア（同9%）が103%と増加した。EUの国別内訳では、フィンランド（同36%）が118%、ルーマニア（同15%）が116%、オーストリア(同13%)が125%と増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが105%、中国が121%、ロシアが116%と軒並み増加した。

（単位：千m³）

国名＼年		2021年（1月～12月）	月別数量 2022年6月	月別数量 2022年7月	月別数量 前月比	月別数量 前年同月比	累計数量 2021年1～7月	累計数量 2022年1～7月	累計数量 前年同期比
総輸入量		[100%] 967	[100%] 87	[100%] 96	110%	109%	[100%] 538	[100%] 660	123%
	うち構造用集成材	[100%] 832	[100%] 75	[100%] 84	112%	111%	[100%] 471	[100%] 576	122%
ＥＵ		[76%] 733	[75%] 66	[77%] 74	112%	105%	[79%] 423	[77%] 508	120%
	うち構造用集成材	[85%] 709	[85%] 64	[85%] 72	112%	106%	[87%] 409	[86%] 494	121%
フィンランド		[36%] 349	[28%] 25	[30%] 29	118%	91%	[38%] 205	[34%] 223	109%
	うち構造用集成材	[41%] 345	[33%] 25	[34%] 29	116%	90%	[43%] 203	[38%] 221	109%
ルーマニア		[15%] 148	[20%] 18	[21%] 20	116%	146%	[15%] 78	[18%] 118	151%
	うち構造用集成材	[17%] 139	[23%] 17	[23%] 20	112%	152%	[16%] 73	[19%] 112	153%
オーストリア		[13%] 126	[11%] 9	[12%] 12	125%	91%	[14%] 74	[11%] 72	97%
	うち構造用集成材	[14%] 116	[11%] 8	[13%] 11	134%	94%	[15%] 68	[12%] 67	98%
中国		[10%] 93	[11%] 9	[10%] 9	99%	121%	[7%] 40	[8%] 56	138%
	うち構造用集成材	[6%] 52	[7%] 6	[7%] 6	112%	155%	[5%] 24	[6%] 34	145%
ロシア		[9%] 84	[7%] 6	[7%] 6	103%	116%	[8%] 45	[8%] 54	121%
	うち構造用集成材	[9%] 71	[7%] 6	[7%] 6	108%	135%	[8%] 38	[8%] 47	123%
その他		[6%] 57	[7%] 6	[7%] 7	103%	137%	[6%] 31	[7%] 43	140%
	うち構造用集成材	[0%] 0	－	[0%] 0	皆増	皆増	[0%] 0	[0%] 0	207%

資料：財務省貿易統計
注１：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。
２：数量の上段の[　]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
３：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。
４：「－」は輸入実績なし等。
５：EUに英国は含まない。
６：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

林産物輸出入情報-4　木材輸入量（木質ペレット、LVL）

- 2022年７月の木質ペレット輸入量は、前月比115%、前年同月比142%の42万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、カナダ（前年輸入量に占めるシェア34%）が95%と減少する一方、ベトナム（同53%）が100%と微増した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが127%、カナダが104%と増加した。

（単位：千トン）

国名＼年	2021年（1月～12月）	月別数量 2022年6月	2022年7月	前月比	前年同月比	累計数量 2021年1～7月	2022年1～7月	前年同期比
総輸入量	[100%] 3,117	[100%] 362	[100%] 415	115%	142%	[100%] 1,704	[100%] 2,412	142%
ベトナム	[53%] 1,647	[50%] 181	[44%] 182	100%	127%	[50%] 855	[53%] 1,279	150%
カナダ	[34%] 1,058	[37%] 134	[31%] 128	95%	104%	[37%] 636	[32%] 773	121%
マレーシア	[5%] 156	[0%] 1	[1%] 3	226%	30%	[5%] 91	[2%] 57	63%
その他	[8%] 256	[12%] 44	[25%] 103	231%	621%	[7%] 121	[13%] 303	250%

資料：財務省貿易統計
注１：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。
　２：数量の上段の[　]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
　３：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2022年７月のLVL輸入量は、前月比88%の4.2万m3となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国が87%と減少した。

（単位：千m³）

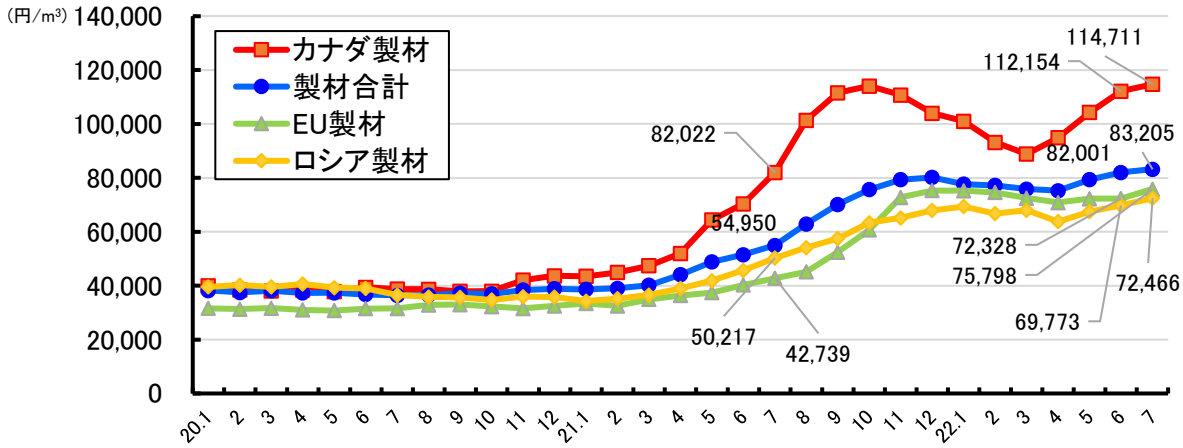
国名＼年	2021年（1月～12月）	月別数量 2022年6月	2022年7月	前月比	前年同月比	累計数量 2021年1～7月	2022年1～7月	前年同期比
総輸入量		[100%] 47	[100%] 42	88%			[100%] 300	
中　国		[78%] 37	[77%] 32	87%			[76%] 228	
ベトナム		[18%] 9	[20%] 8	95%			[19%] 58	
インドネシア		[4%] 2	[3%] 1	73%			[4%] 11	
その他		[0%] 0	[0%] 0	92%			[1%] 3	

資料：財務省貿易統計
注１：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。
　２：LVLは、HSコードの改定に伴い、2022年1月1日より集計可能となったため、2021年以前のデータは存在しない。
　３：数量の上段の[　]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
　４：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

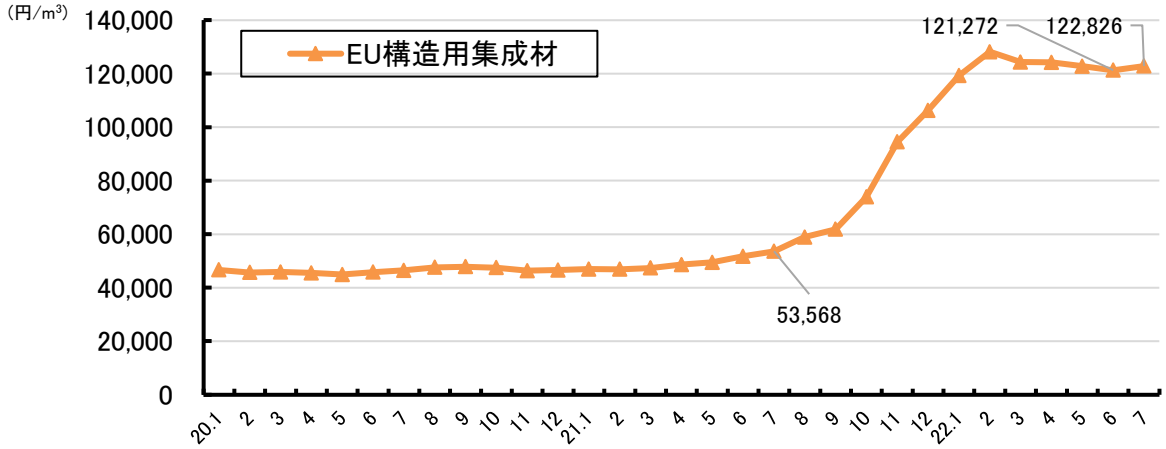
林産物輸出入情報-５　製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価

- 2022年７月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比101%の83,205円/m³（前年同月比151%）。うち、カナダの製材は、前月比102%の114,711円/m³（前年同月比140%）、EUの製材は、前月比105%の75,798円/m³（前年同月比177%）、ロシアの製材は、前月比104%の72,466円/m³（前年同月比144%）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比101%の122,826円/m³（前年同月比229%）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比112%の108,333円/m³（前年同月比159%）。

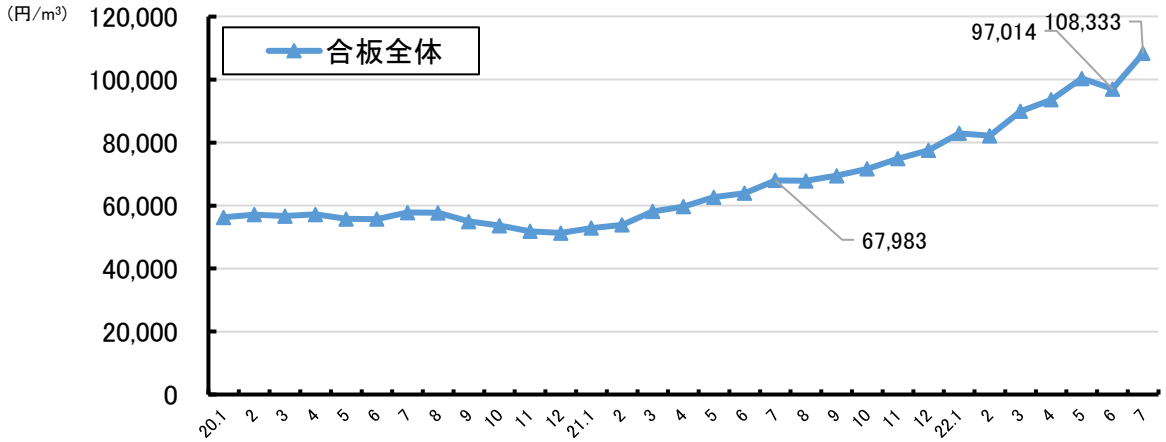
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。
資料：財務省貿易統計

特用林産情報-1　特用林産物の国内生産量

- 2021年の食用きのこ類の生産量は46万2,021t（対前年比99.9%）となった。
- たけのこの生産量は1万9,917t（対前年比75.3%）となった。
- 木炭の生産量は1万1,806t（対前年比91.2%）となった。

○きのこ類

単位：t

年次	品目	しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ（生換算値）	生しいたけ	原木栽培	菌床栽培	なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
		き の こ 類													
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	**3**	**86,573**	**2,216**	**15,514**	**71,058**	**4,981**	**66,078**	**24,063**	**129,587**	**4,463**	**119,545**	**54,521**	**38,344**	**3,031**	**39**

注：まつたけの1972年までの生産量は、『農林省統計表』による。

○その他食品

単位：t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび（根茎＋葉柄）
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	**3**	**15,700**	**19,917**	**1,886**

注：くりの2010年～2020年の生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和２年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

○非食品

年次	品目	生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		非 食 用																
		kg	t	千束	㎥	t	t	t	t	層積㎥	t	kl	千本、t	千本、t	t	t	kl	kl
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151
2021	**3**	**2,036**	**22**	**916**	**187**	**11,806**	**459**	**5,156**	**19**	**91,791**	**155,836**	**78**	**1,865**	**1,075**	**3,972**	**5,123**	**1,708**	**192**

注：1　木炭、薪の昭和47年までの生産量は『農林省統計表』による。
　　2　木炭は平成３年から粉炭を含み、平成９年から竹炭を除く。
　　3　煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。
　　4　しきみ、さかきの単位を平成22年より千本からｔに変更した。

資料：特用林産基礎資料（第一報）

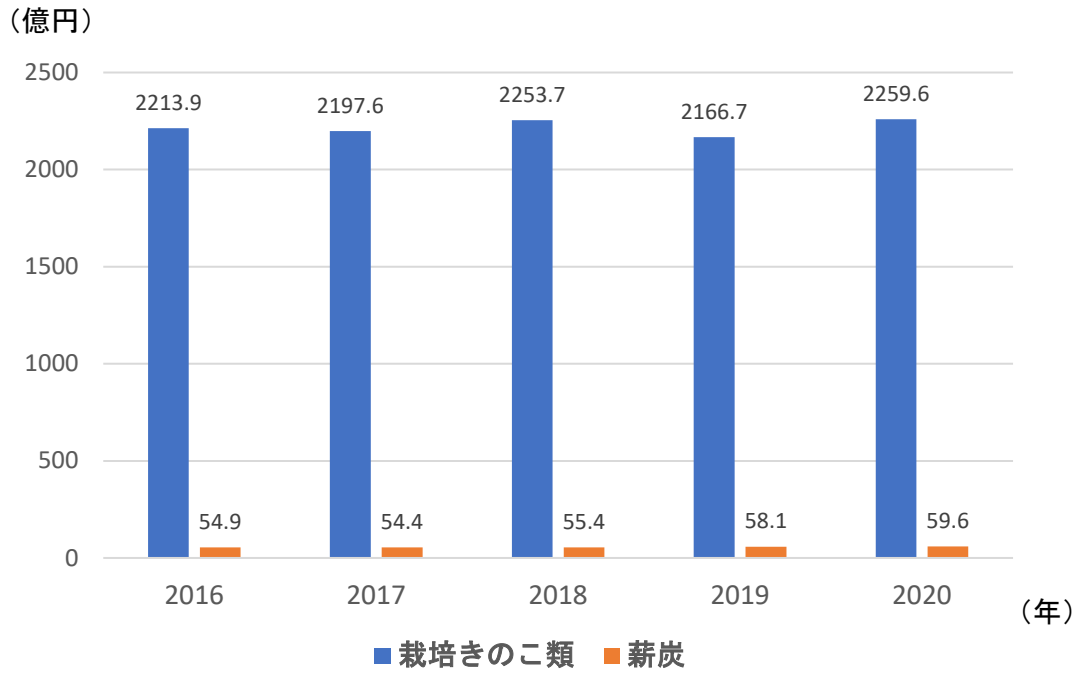
特用林産情報-2　特用林産物の産出額

- 2020年のきのこ類の林業産出額は2，259.6億円（対前年比104.3%）となった。
- 薪炭の林業産出額は59.6億円（対前年比102.6%）となった。

（単位：億円）

	2016	2017	2018	2019	2020
栽培きのこ類	2,213.9	2,197.6	2,253.7	2,166.7	2,259.6
薪炭	54.9	54.4	55.4	58.1	59.6

資料：農林水産省「令和2年林業産出額」



特用林産情報-3　特用林産物の輸出入量

- 2021年の乾しいたけの輸出量は41トン（対前年比124.2%）、輸入量は4,575トン（対前年比105.1%）。
- 2021年の木炭の輸出量は270トン（対前年比61.5%）、輸入量は84,224トン（対前年比105.6%）。

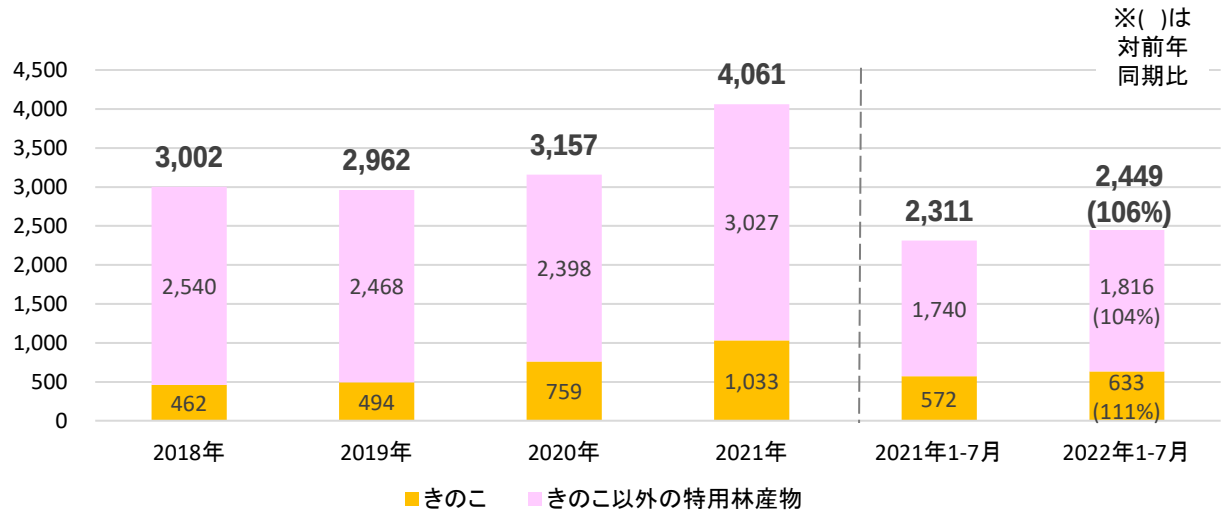
品目	単位	2017		2018		2019		2020		2021	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	26	5,050	24	4,998	33	4,869	33	4,354	41	4,575
生しいたけ	トン	…	2,108	…	1,942	…	1,835	…	1,785	…	1,988
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	28	24,735	46	26,696	89	25,320	14	23,190	66	22,058
まつたけ	トン	…	787	…	798	…	849	…	629	…	524
くり	トン	…	10,837	…	9,781	…	9,019	…	7,371	…	8,401
くるみ	トン	…	57,536	…	56,389	…	52,236	…	56,478	…	67,581
たけのこ	トン	…	172,499	…	167,868	…	157,296	…	142,544	…	149,780
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	14	…	3	19	7	10	4	9	5	11
生うるし	ｋｇ	…	40,925	…	35,879	…	36,254	…	30,165	…	21,910
つばき油	ｋｌ	…	154	…	177	…	180	…	220	…	224
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	…	244	1	251	0	215	0	194	0	191
桐材	m^3	…	12,527	…	10,750	…	10,099	…	9,726	…	9,871
木炭	トン	521	141,662	442	144,462	460	143,953	439	79,739	270	84,224
竹炭	トン	0	8,061	0	8,744	0	9,414	12	7,605	2	6,790
木酢液	Kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	Kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m^3	753	351	833	476	788	1,830	468	2,326	490	7,099
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	56,135	…	53,679	…	54,183	…	44,499	…	37,584
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

資料：財務省貿易統計
「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

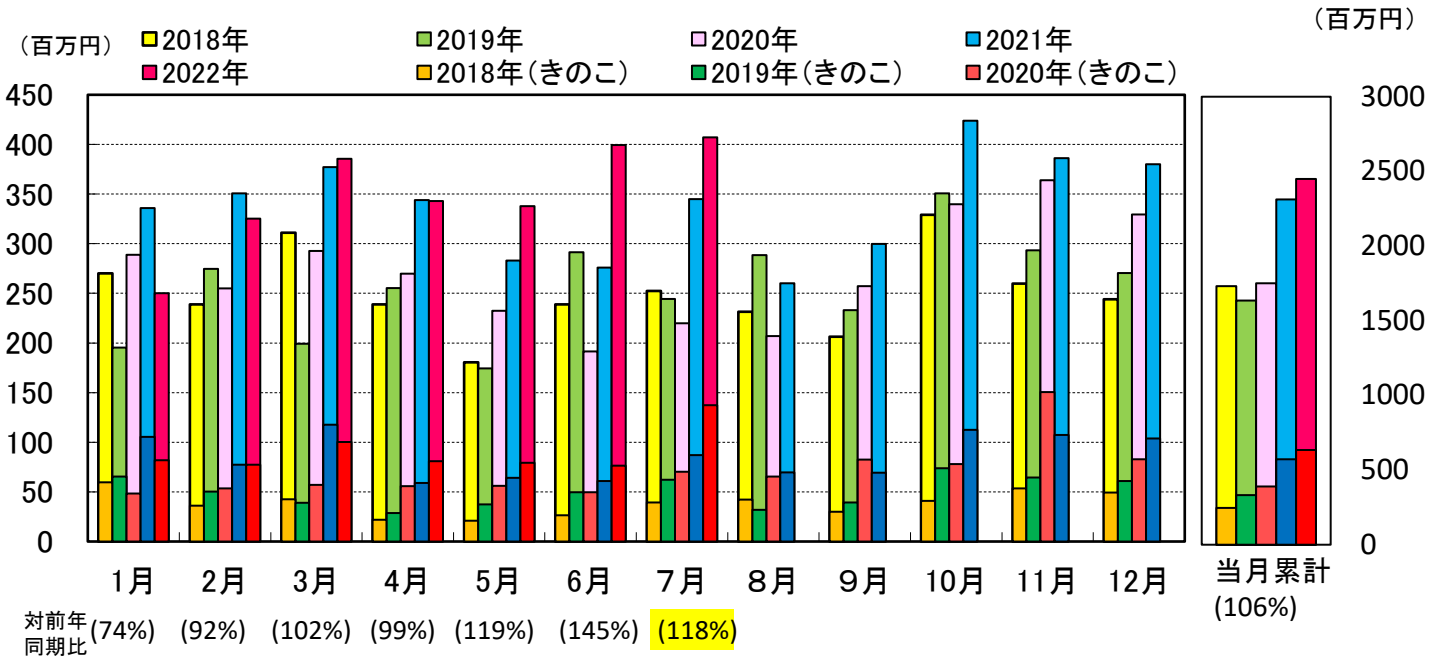
特用林産情報-4　特用林産物の輸出額①

- 2022年(1～7月）での特用林産物輸出額は2,449百万円（前年同期比106%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は、633百万円（対前年同期比111%）、きのこ以外は、1,816百万円（対前年同期比104%）となった。
- ７月輸出額は407百万円（対前年同月比118%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は137百万円（対前年同月比158%）、きのこ以外の特用林産物は270百万円（対前年同月比158%）となった。

〇特用林産物輸出額全体の推移（累計）



〇特用林産物輸出額全体の推移（月別）

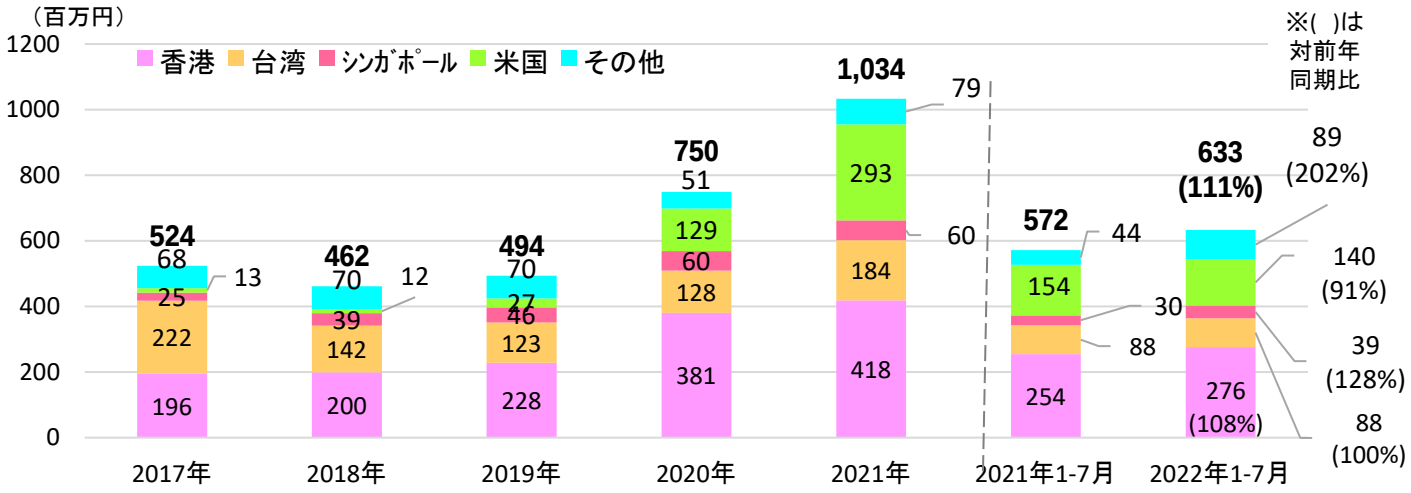


資料：財務省貿易統計
※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。
※令和２年の定義見直しにより，令和３年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

特用林産情報-4　特用林産物の輸出額②

- 2022年（1～7月）のきのこの輸出額は633百万円で、対前年同期比111%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比108%、台湾が100%、シンガポールが128%、米国が91%となっている。
- 同年同期の輸出量は835トンで、対前年同期比117%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比110%、台湾が112%、シンガポールが97%、米国が131%となっている。

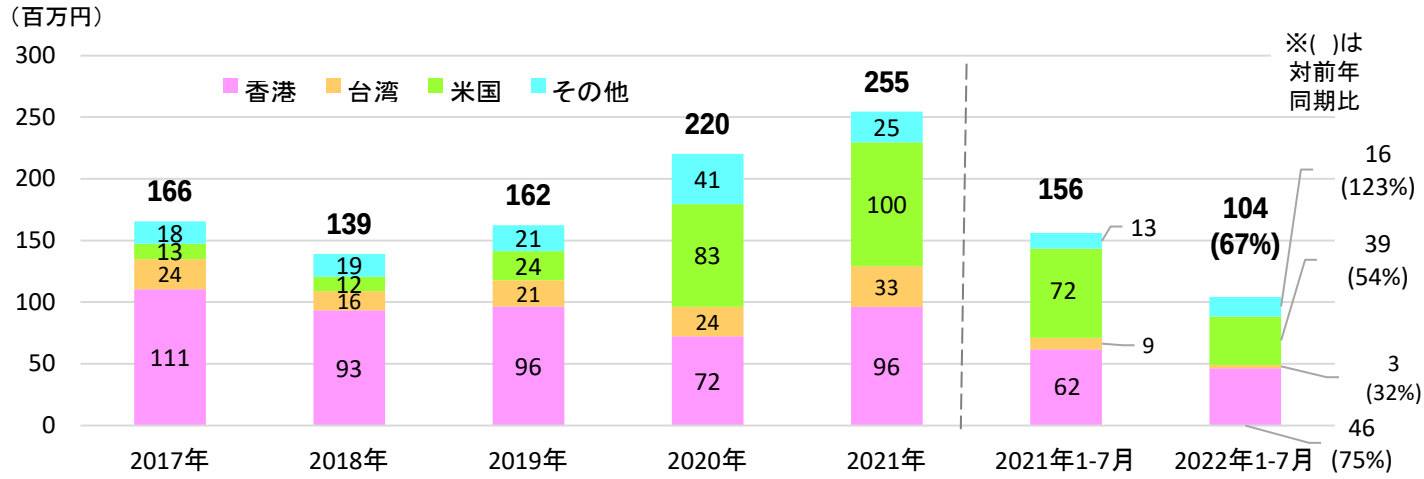
〇きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



※令和２年の定義見直しにより、令和３年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

- 2022年（1～7月）の乾しいたけの輸出額は104百万円で、対前年同期比67%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比75%、台湾は32%、米国は54%となっている。
- 同年同期の輸出量は22トンで、対前年同期比92%となっている。主要な輸出先では、対前年同期比は香港が73%、台湾が31%、米国が111%となっている。

〇乾しいたけ輸出額の推移（累計）

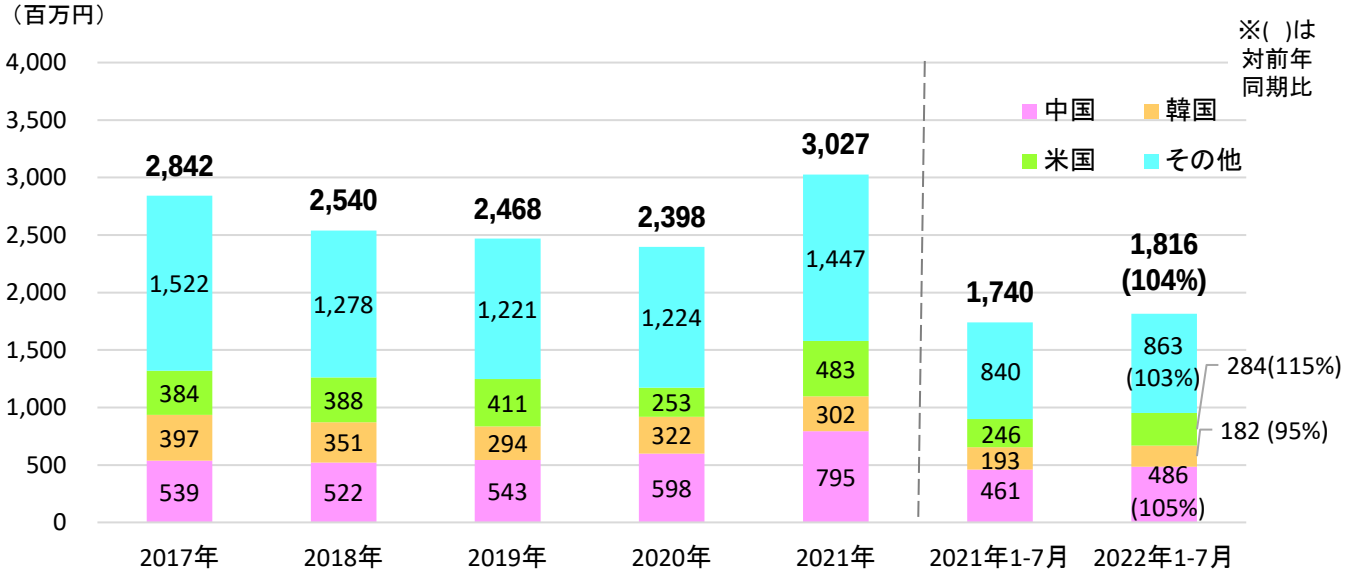


資料：財務省貿易統計

特用林産情報-4　特用林産物の輸出額③

- 2022年（1～7月）のきのこ以外の特用林産物の輸出額は1,816百万円で、対前年同期比104%となっている。国別には,中国が対前年同期比105%、韓国が95%、米国が115%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比102%、植物性ろうが107%、テルペン油が113%となっている。
- 同年同期の1,619トンで、対前年同期比95%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比98%、韓国が70%、米国が101%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計

特用林産情報-5　きのこ類の卸売量・価格

- 2020年のきのこ類の卸売量は、226,240トン（対前年比95.4%）となった。
- 2020年のきのこ類の卸売価額は、生しいたけやえのきだけ等の卸売価格上昇により、106,143,929千円（対前年比102.2%）となった。

きのこ類の卸売量

単位：トン

	2016	2017	2018	2019	2020
生しいたけ	47,880	48,399	49,391	49,121	48,466
なめこ	15,993	15,549	16,143	16,193	16,889
えのきだけ	111,255	117,251	111,238	106,291	98,312
しめじ	75,164	72,518	68,505	65,619	62,573
合計	250,292	253,717	245,277	237,224	226,240

きのこ類の卸売価額

単位：千円

	2016	2017	2018	2019	2020
生しいたけ	45,972,664	46,171,290	44,690,633	43,515,380	43,780,628
なめこ	7,049,789	6,914,944	7,348,774	7,248,066	7,430,921
えのきだけ	27,160,745	25,534,311	26,329,886	24,221,698	26,244,760
しめじ	32,380,595	31,033,202	30,829,573	28,912,378	28,687,620
合計	112,563,793	109,653,747	109,198,866	103,897,522	106,143,929

きのこ類の卸売価格

単位：円／kg

	2016	2017	2018	2019	2020
生しいたけ	960	954	905	886	903
なめこ	441	445	455	448	440
えのきだけ	244	218	237	228	267
しめじ	431	428	450	441	458

資料：青果物卸売市場調査

セミナー・イベント情報

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

■９月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
第57回 全国漆器展	9月16日（金） ～29日（木）	伝統工芸 青山 スクエア	全国の産地の日常から使える漆器を展示し、特に優れたものを評価、表彰します。 事前申込：不要 主催：日本漆器協同組合連合会 詳細：http://www.shikki.or.jp/exhibition/
森林の仕事 ガイダンス	（中央ガイダンス） 9月23日（金） 10月8日（土） 10月22日（土） 11月5日（土） （エリアガイダンス） 全国各地で順次開催	全国33会場 （詳細はHP参照）	森林・林業に関心を持つ方や就業を考える方を対象に実施する説明会・相談会です。 主催：全国森林組合連合会　他 事前申込：要の場合あり（詳細はHP参照） 参加費：無料 詳細：https://www.ringyou.net/guidance/
CLTセミナー、 共育共創 コモンズ 構造見学会 CLT建築と ありたい未来 ～地域と企業、 人材育成～	9月26日(月)	セミナー： 岡山大学 自然科学 研究科棟2Ｆ 大講義室 構造見学会： 岡山大学 共育共創 コモンズ 建設現場	学生も含む施主・建築技術者・木材関係者の皆様に、建築の第一線で活躍する技術者や研究者の講演と実際の建設現場の見学を通じて、木造建築物の素晴らしさや可能性を学べます。 事前申込：要（9月21日まで） 参加費：無料 主催：岡山市・真庭市 詳細： https://clta.jp/event/detail/20220926cltseminar_commonstour/
2022年度 シンポジウム 「地域が育てる・地域を育てる ー地方留学と 農山漁村の 未来ー」	10月1日（土）	オンライン	地方留学に取り組む高校の現場で奮闘する方々をお招きし、「地域を育てる」側面にも注目しつつ、課題と展望を共有し、地方留学と農山漁村の未来について議論します。 事前申込：要（9月28日まで） 参加費：無料 主催：「森林・林業・山村問題を考える」シンポジウム実行委員会 詳細：http://www.foeri.org/
木づかい シンポジウム 2022	10月7日（金）	室町三井 ホール	中高層ビルを含む建築物等への国産材利用促進に関する基調講演や、様々な角度から木材利用について議論する７つのパネルディスカッションを実施します。 事前申込：要 主催：株式気社Spero 株式会社GiveFirst （一社）全国木材組合連合会 詳細：https://symposium.sustainable-forest.com/

セミナー・イベント情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
Japan Home & Building Show 2022	10月26日（水） ～28日（金）	東京ビッグサイト （有明・東京国際展示場）	建築関連の製品・技術・サービスを一堂に集め、ビジネスと情報交流を促進する展示会です。 事前申込：要 参加費：無料 主催：（一社）日本能率協会 詳細： https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/
～美しい地球は、私達の心のハーモニーから～ 雨谷麻世環境チャリティコンサートvol.81,82	10月28日(金) 12月21日(水)	東京カテドラル聖マリア大聖堂　他	歌を通じて地球環境の大切さ、命の源である緑・森の大切さを伝えるコンサートです。 主催：（特非）太陽の会 （公社）国土緑化推進機構 Mayo Crystal Music 詳細：http://mayocrystalvoice.com/
令和4年度 川崎駅前 優しい木のひろば	10月28日(金) ～29日(土)	ラゾーナ川崎プラザルーファ広場・ラズーンテラス　他	森林が身近にない本市の市民に、木材利用の意義や木の良さ・効果を体感していただくため、公共空間等を活用したイベントを、森林環境譲与税を活用することで林産地と連携し、令和元年度から開催しています。 事前申込：一部要 主催：令和4年度川崎駅前 優しい木のひろば実行委員会 詳細： https://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000110705.html
第25回 「木のあるくらし」 作文コンクール	●表彰式 10月29日（土）	オンライン	日々の生活の中にある「木」から地球環境保護の大切さを理解してもらうために小学生を対象とした「木のあるくらし」作文コンクールです。 主催：（一社）日本木造住宅産業協会
木材利用 優良施設等 コンクール	●表彰式 10月31日（月）	木材会館	木材利用の推進に資する施設や取組を評価し、表彰するコンクールです。 主催：木材利用推進中央協議会 詳細：https://www.jcatu.jp/concours/
SUSTAINABLE FOREST ACTION（SFA）2022 デモデイ	11月5日（土）	CIC TOKYO （東京都港区・虎ノ門ヒルズビジネスタワー15階）	森林林業特化型事業開発プログラムSFA2022の参加チームが2ヶ月間にわたって検証した事業プランの審査会が行われます。 主催：㈱Spero 詳細：https://action.sustainable-forest.com/
第54回全国建具展示会	11月11日（金） ～12日（土）	東京都立産業貿易センター台東館6階	多様化する住宅の需要に適応するため、優良建具を一般に展示します。 主催：（一社）全国建具組合連合会 詳細：https://www.zenkokutategu.com/

セミナー・イベント情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
第4回純国産メンマサミット in淡路島	11月26日（土）	洲本市文化体育館文化ホール「しばえもん座」	″美味しく食べて竹林整備″の純国産メンマを始めとした″資源としての竹″の利活用に関するさまざまな取り組みを紹介します。 事前申込：要（準備中） 主催：純国産メンマプロジェクト 詳細：https://awaji-satoyama.com/4stmennmasummit/
ウッドデザイン賞2022	●表彰式 12月7日（水） ●受賞作品展示 12月7日（水） ～9日（金）	東京ビッグサイト（エコプロ2022）	木の良さや価値を再発見できる建築物、製品や取組について、特に優れたものを評価し、表彰します。 主催：（一社）日本ウッドデザイン協会 詳細：http://www.wooddesign.jp
第30回日本文化を担う・漆の美展	1月20日（金） ～26日（木）	東京都美術館ギャラリーB	「漆の美の今の姿」を広く社会に伝える作品を展示し、特に優れたものを評価、表彰します。 事前申込：不要 主催：（一社）日本漆工協会 入場料：無料 詳細：http://www.nihon-shikkou-kyokai.or.jp/

お知らせ

ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ（※）」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

（※）ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる**「伐って、使って、植えて、育てる」**という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として**「木づかい運動」**を展開しており、**「ウッド・チェンジ」**を合言葉に様々な取組を行っています。

【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

（注）使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。
例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。
なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓
http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html

お問合せ先：林野庁木材利用課 消費対策班（TEL：03-6744-2298）

お知らせ

令和４年度　国産材転換支援緊急対策事業
建築用木材の転換促進支援（林野庁補助事業）

建築用木材の
国産材への転換
を支援します

施工者や設計者を対象に、国産材など品質・性能の確かな木材への変更を支援します。

対象物件

○住宅（戸建て含む。1階建てから）・非住宅
○木造及び木造とその他構造との混構造
※戸建ても平屋も助成対象
※JAS材以外も可（製材は乾燥材が要件）

詳くはウェブサイトにて！

https://moku-tenkan.jp/tenkan/

転換促進支援　様式　Search

締め切り：令和4年9月30日（金）17時（必着）

※予算の都合で期日前に締め切る場合があります。

一般社団法人 全国木材組合連合会　補助事業事務局　TEL:03-6550-8540（平日10:00～17:30）

お知らせ

令和4年度　国産材転換支援緊急対策事業
建築用木材の転換促進支援（林野庁補助事業）

助成対象と支援内容（上限額）等

助成対象は2種類
施工者を対象とした「部材転換」
設計者を対象とした「設計転換」

助成対象	部材転換（施工者）	設計転換（設計者）
対象物件	住宅・非住宅 木造及び木造とその他構造との混構造	
支援額	横架材、下地材、面材 2.7万円/㎥ 主要構造部に使うCLT 6.6万円/㎥	設計費（意匠設計・構造設計）の1/2
上限	1棟当たり 1,500万円	木造部分の床面積（㎡） ×6,350円/㎡
申請件数について	1業者当たり　1都道府県で5件まで申請可	
助成対象について	令和4年4月28日以降の取組について申請可	

締め切り
令和4年9月30日（金）17時（必着）

※予算の都合で期日前に締め切る場合があります。

お問い合わせ先
一般社団法人全国木材組合連合会　補助事業事務局
〒107-0052　東京都港区赤坂2-12-13 UHA味覚糖赤坂ビル 3F
TEL:03-6550-8540(平日10:00～17:30)　FAX:03-6550-8541
mail:info@moku-tenkan.jp

詳くはウェブサイトにて！

https://moku-tenkan.jp/tenkan/

転換促進支援　様式　Search